

令和 7 年 5 月 2 1 日
政策経営部広報広聴課

令和 6 年度 区政モニターアンケート報告書について

令和 6 年度における区政モニターによるアンケート結果をとりまとめましたので、ご報告します。

1 調査項目

	内 容	所 管 課
第 1 回	区内の農業・農地に対する課題について	経済産業部 都市農業課
	区のおしらせ せたがや について	政策経営部 広報広聴課
	犯罪被害者等支援について	生活文化政策部 人権・男女共同参画課
第 2 回	世田谷区の風景づくりについて	都市整備政策部 都市デザイン課
	お問い合わせセンター せたがやコール について	政策経営部 広報広聴課
第 3 回	生涯の学びについて	教育政策・生涯学習部 生涯学習課
	思春期世代のこころとからだの健康につ いて	世田谷保健所 健康推進課
	区役所のカフェレストランについて	庁舎整備担当部 庁舎管理担当課
第 4 回	熱中症予防対策及び災害時医療救護対策 について	世田谷保健所 健康企画課
	世田谷区の多文化共生について	生活文化政策部 文化・国際課

2 今後の予定

令和 7 年 5 月 2 6 日 区政情報センター、区政情報コーナー、区ホームページで公表

令和6年度 区政モニターアンケート報告書

令和7年5月

世 田 谷 区

区政モニターアンケートについて

1. 目 的

区政モニターアンケートは、区民から、区政に対する意見、要望、提案等を収集し、区政の参考にすることを目的としています。

2. 特 徴

区政モニターによる調査は、数量分析による傾向を把握できるとともに、記述による具体的な意見や提案を把握することができます。

3. 区政モニター制度の開始

昭和 60 年 4 月 1 日。平成 14 年 9 月からウェブモニター開始。

4. 第 20 期区政モニターの概要

- (1) 定数：200 人（封書モニター16 人、ウェブモニター184 人）
- (2) 任期：2 年（令和 5 年 4 月～令和 7 年 3 月）
- (3) 募集及び選考
公募により募集し、地域、年齢、性別などを考慮し決定
応募資格：18 歳以上で区内在住の方
- (4) 活動内容
区政についてのアンケートやパブリックコメント、区民意見募集への協力
- (5) 区政モニターアンケート報告書の公表
 - ① 区のホームページへの掲載
 - ② 区政情報センター及び区政情報コーナーでの閲覧

この報告書の見方

- (1) 数値についてはすべて百分比(%)で表示する。
- (2) 百分比は回答者数(該当設問においては該当者数)を 100%として算出し、本文および図表の数字はすべて小数点第2位を四捨五入してある。したがって比率の合計が必ずしも 100%にならない場合がある。同様にいくつかの選択肢の小計が、本文中の数字と合致しない場合がある。
- (3) 複数回答の設問は、すべての比率が 100%を超えることがある。

目次

第1回区政モニターアンケート結果（令和6年5月実施）

1. 調査目的	- 2 -
2. 調査設計	- 2 -
3. 標本構成	- 3 -
4. 質問と回答	- 4 -
■「区内の農業・農地に対する課題について」	- 4 -
■「区のおしらせ せたがや について」	- 14 -
■「犯罪被害者等支援について」	- 19 -

第2回区政モニターアンケート結果（令和6年7月実施）

1. 調査目的	- 24 -
2. 調査設計	- 24 -
3. 標本構成	- 25 -
4. 質問と回答	- 26 -
■「世田谷区の風景づくりについて」	- 26 -
■「お問い合わせセンター せたがやコール について」	- 39 -

第3回区政モニターアンケート結果（令和6年9月実施）

1. 調査目的	- 46 -
2. 調査設計	- 46 -
3. 標本構成	- 47 -
4. 質問と回答	- 48 -
■「生涯の学びについて」	- 48 -
■「思春期世代のこころとからだの健康について」	- 57 -
■「区役所のカフェレストランについて」	- 66 -

第4回区政モニターアンケート結果（令和6年10月実施）

1. 調査目的	- 70 -
2. 調査設計	- 70 -
3. 標本構成	- 71 -
4. 質問と回答	- 72 -
■「熱中症予防対策について」	- 72 -
■「災害時医療救護対策について」	- 76 -
■「世田谷区の多文化共生について」	- 80 -

第1回区政モニターアンケート結果

令和6年5月実施

1. 調査目的

■「区内の農業・農地に対する課題について」 経済産業部 都市農業課

世田谷区は、東京 23 区で練馬区に次いで 2 番目に農地面積を有しています。農地は、新鮮な農作物の供給源だけでなく、教育分野での活用や災害時の避難場所等、多様な役割を有しています。この農地や農業に対して、区民の皆様がどのような認識を持っているか調査し、区の都市農業施策に反映するため、アンケートを実施しました。

■「区のおしらせ せたがや について」 政策経営部 広報広聴課

区のおしらせ「せたがや」は、日常を彩るイベント情報や暮らしに欠かせない情報をはじめ、今、世田谷区が何に取り組んでいるのかお届けする区の広報紙（区報）です。

区のおしらせ「せたがや」をもっと読みたくなる紙面にするため、アンケートを実施しました。

■「犯罪被害者等支援について」 生活文化政策部 人権・男女共同参画課

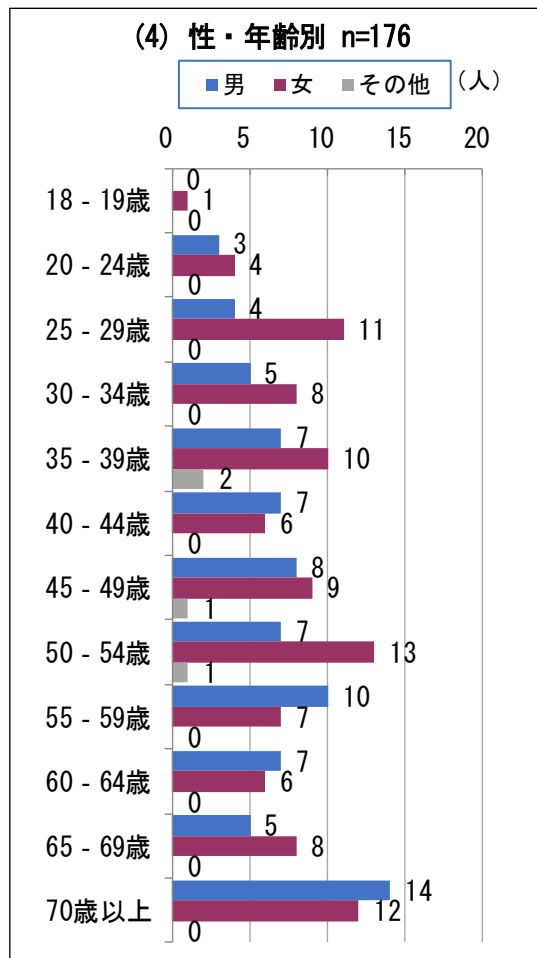
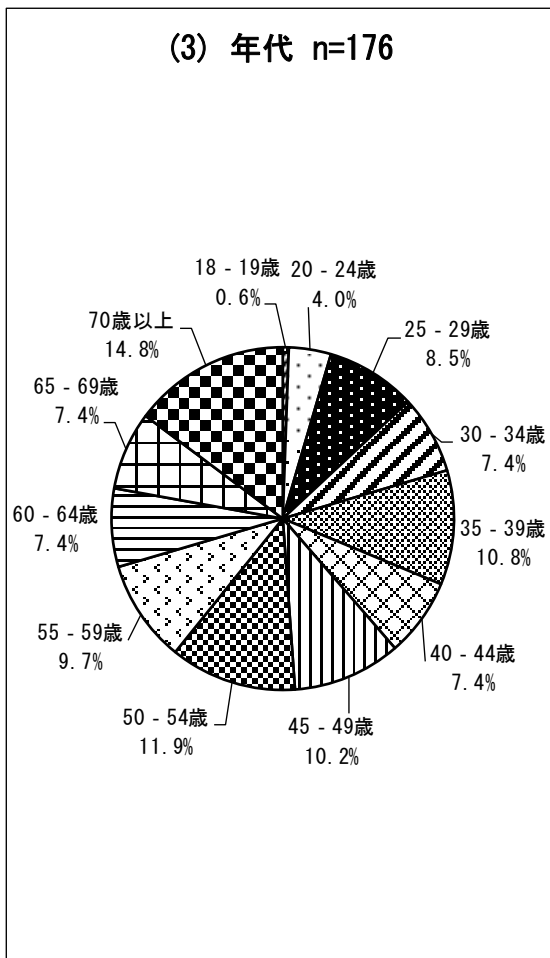
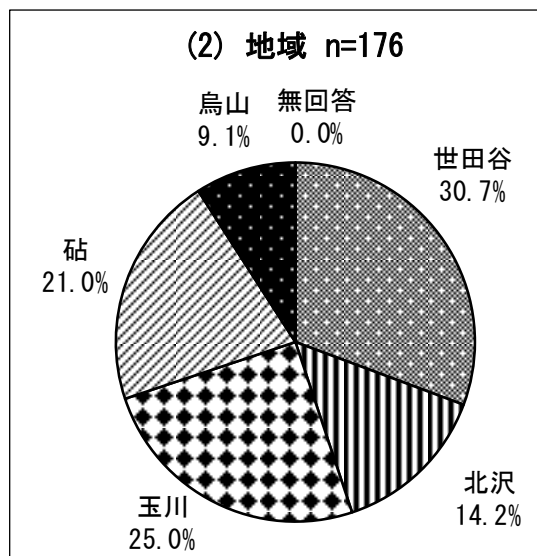
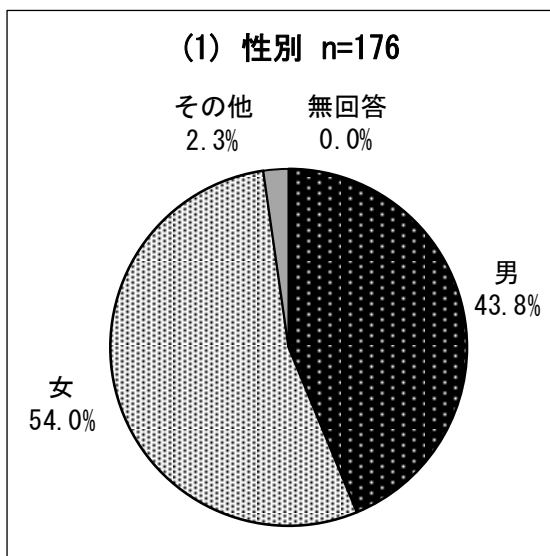
区では、令和 3 年 6 月から世田谷区役所梅丘分庁舎に専用の「犯罪被害者等相談窓口」を開設しました。また、犯罪被害を受けた方の相談窓口は、警察署や東京都など他にも複数あります。それぞれ、相談内容によって、必要な支援機関へ繋いでいます。

また、犯罪被害者等支援条例の新規制定に向け検討を進めているところですが、相談窓口の認知の深度と、今後の被害者支援施策充実への検討資料とするため、区政モニターアンケートを実施しました。

2. 調査設計

- (1) 調査対象 第 20 期区政モニター
- (2) 対象数 192 人
- (3) 調査方法 郵送配布、郵送回収法及び E メールによる送受信
- (4) 調査期間 令和 6 年 5 月 22 日から 6 月 5 日
- (5) 有効回答数 176 人（回収率 91.7%）
- (6) 数値の見方 特に断りがない場合、すべての設問の n 値は 176 である。
※n 値とはサンプル数（アンケート回答件数）

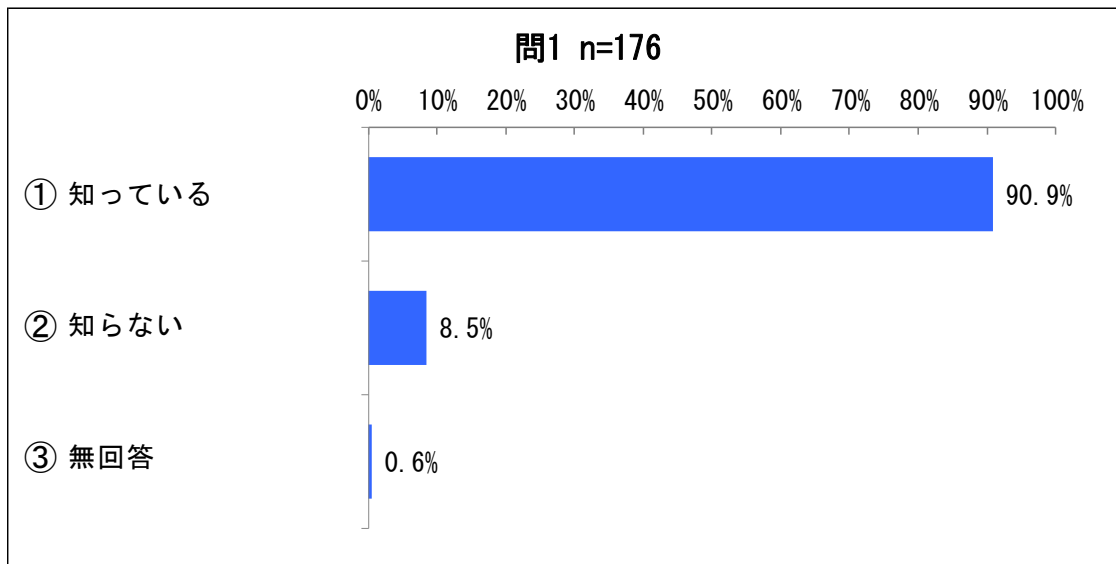
3. 標本構成



4. 質問と回答

■ 「区内の農業・農地に対する課題について」

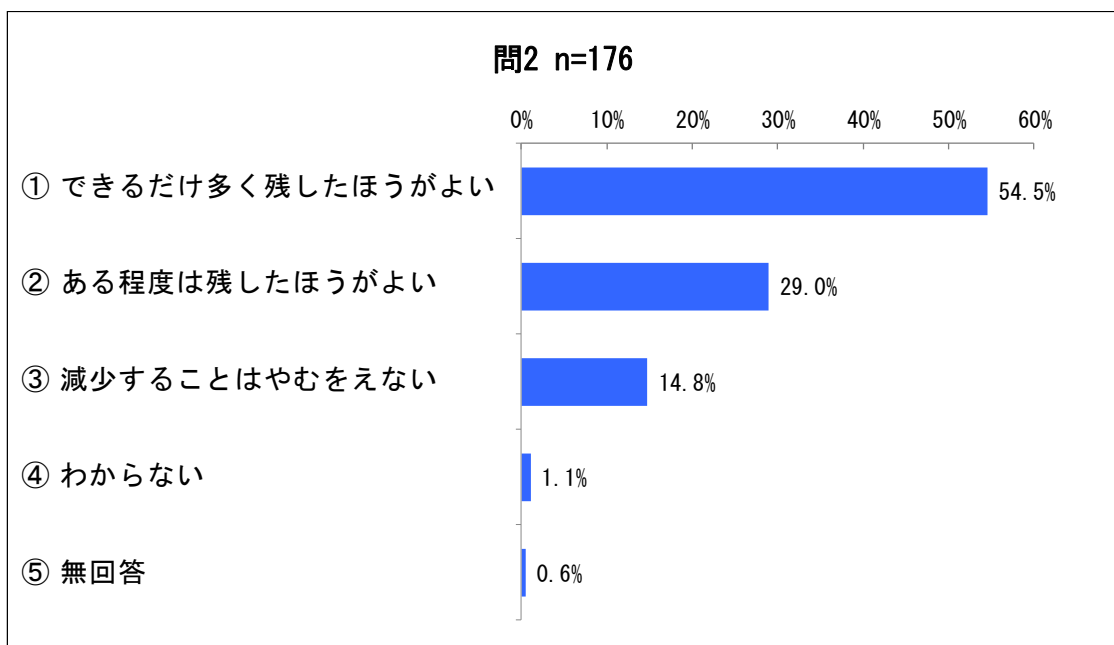
問1.あなたは、区内で農業が営まれていることを知っていますか。(○は1つ)



<調査結果>

区内で農業が営まれていることを知っているか聞いたところ、「知っている」(90.9%)がほぼ9割となり、「知らない」(8.5%)を上回った。

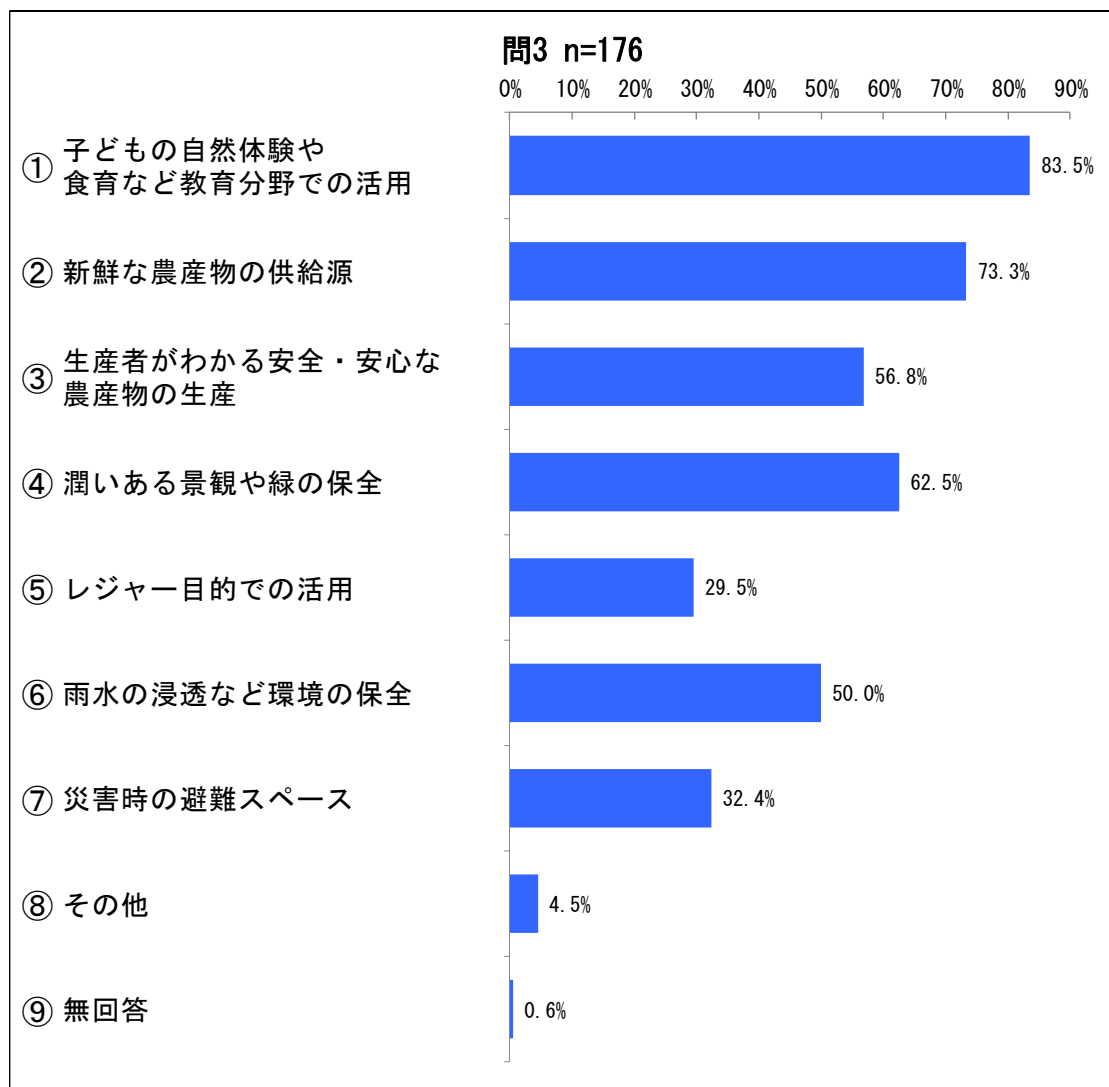
問2.区内には約75ヘクタールの農地がありますが、年々減少が続いています。
あなたは、区内の農地についてどう思いますか。(○は1つ)



<調査結果>

区内の農地についてどう思うか聞いたところ、「できるだけ多く残したほうがよい」(54.5%)が5割半ばと最も高く、以下、「ある程度は残したほうがよい」(29.0%)、「減少することはやむをえない」(14.8%)などと続く。

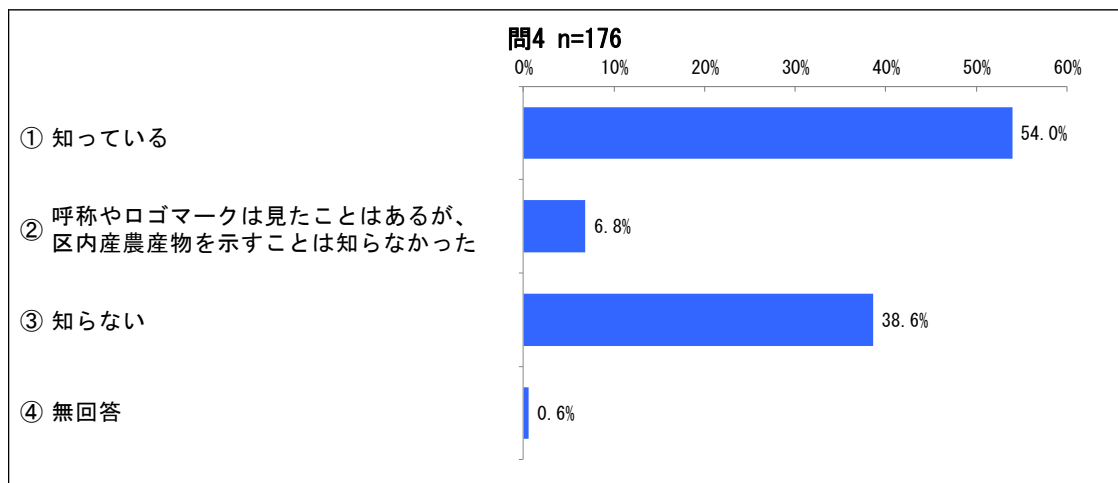
問3.あなたは、区内の農業・農地にどのようなことを期待しますか。
(○はいくつでも)



<調査結果>

区内の農業・農地にどのようなことを期待するかを聞いたところ、「子どもの自然体験や食育などの教育分野での活用」(83.5%)が8割を超え最も高く、以下、「新鮮な農産物の供給源」(73.3%)、「潤いある景観や緑の保全」(62.5%)などと続く。

問4.区ではPRのため、区内産農産物を「せたがやそだち」と呼び、
 ロゴマークを作成しています。あなたは、これを知っていますか。
 (○は1つ)



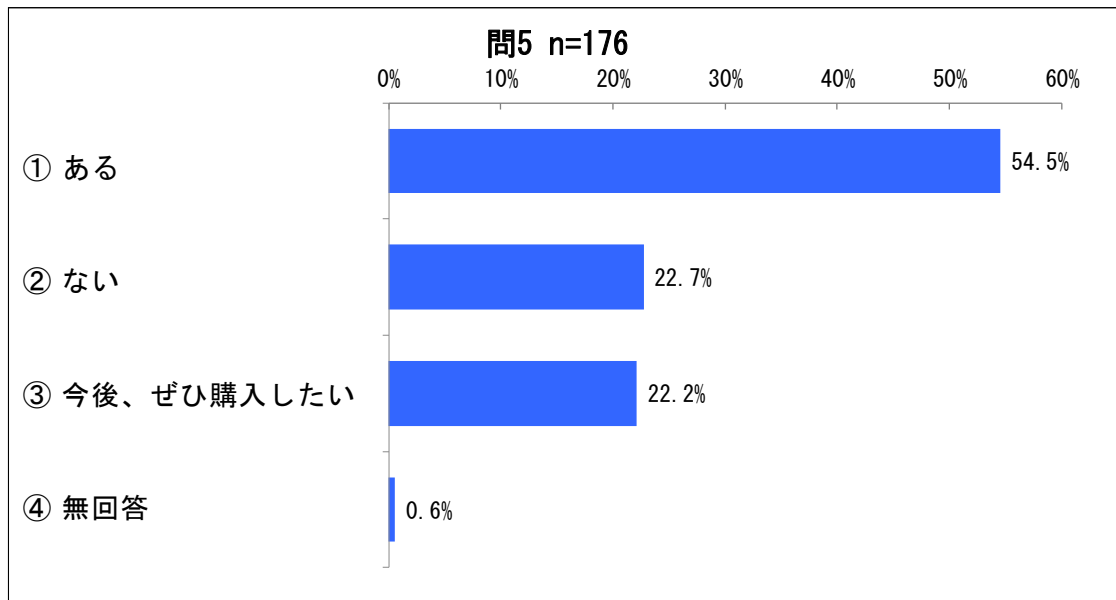
<調査結果>

区内産農産物を示す「せたがやそだち」というロゴマーク知っているか聞いたところ、「知っている」(54.0%)が5割半ばと最も高く、以下、「知らない」(38.6%)、「呼称やロゴマークは見たことはあるが、区内産農産物を示すことは知らなかった」(6.8%)となっている。

▼「せたがやそだち」ロゴマーク



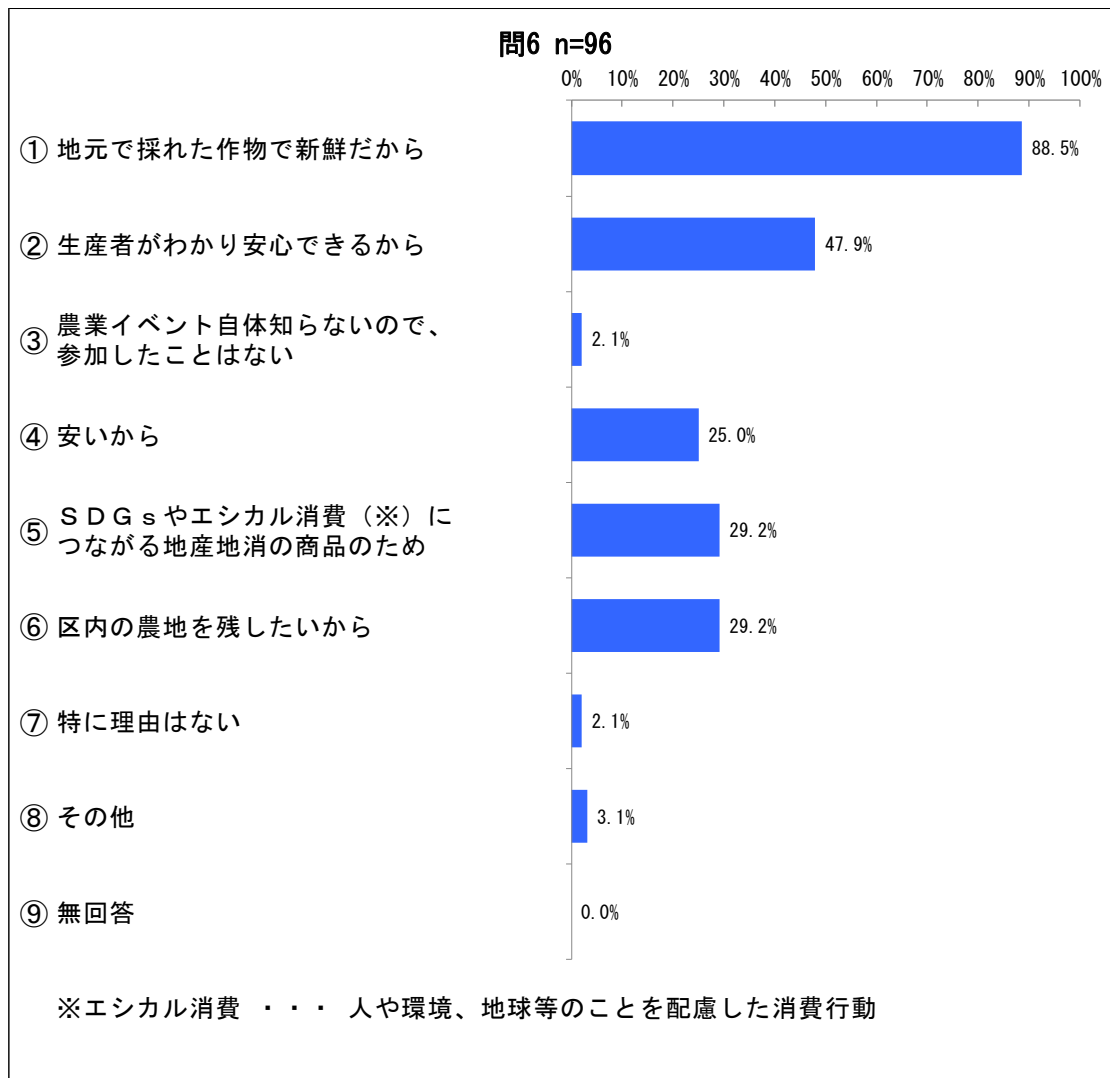
問5.あなたは、区内産農産物（野菜、果物、花等）「せたがやそだち」を購入したことはありますか。（○は1つ）



<調査結果>

区内産農産物（野菜、果物、花等）「せたがやそだち」を購入したことがあるか聞いたところ、「ある」(54.5%)が5割半ばと最も高く、以下、「ない」(22.7%)、「今後、ぜひ購入したい」(22.2%)となっている。

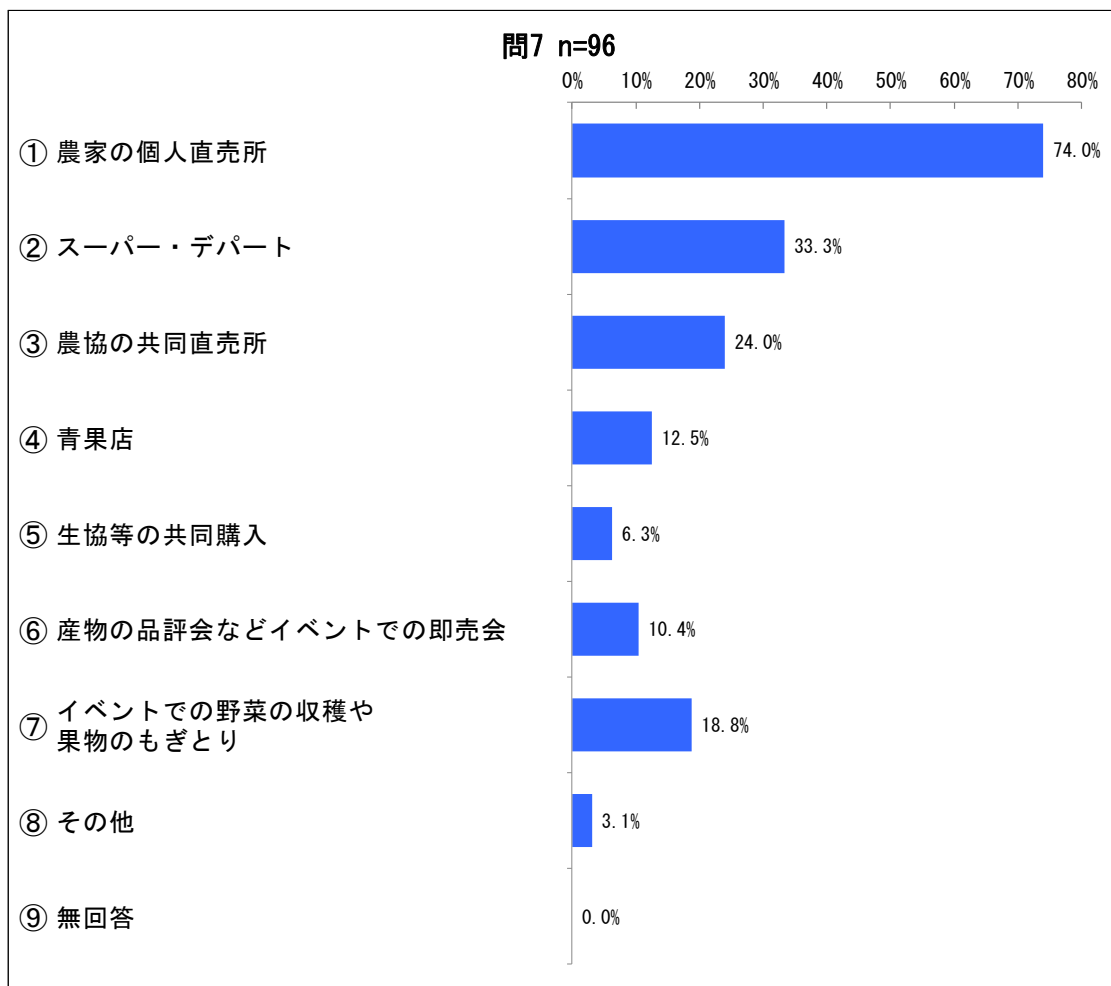
問6.問5で「1.ある」と回答された方に伺います。区内産農産物を購入したのはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)



<調査結果>

「せたがやそだち」を購入したことが「ある」と答えた方(96人)に、区内産農産物を購入したのはどのような理由からかを聞いたところ、「地元で採れた作物で新鮮だから」(88.5%)が9割近くと最も高く、以下、「生産者がわかり安心できるから」(47.9%)、「SDGsやエシカル消費につながる地産地消の商品のため」(29.2%)などと続く。

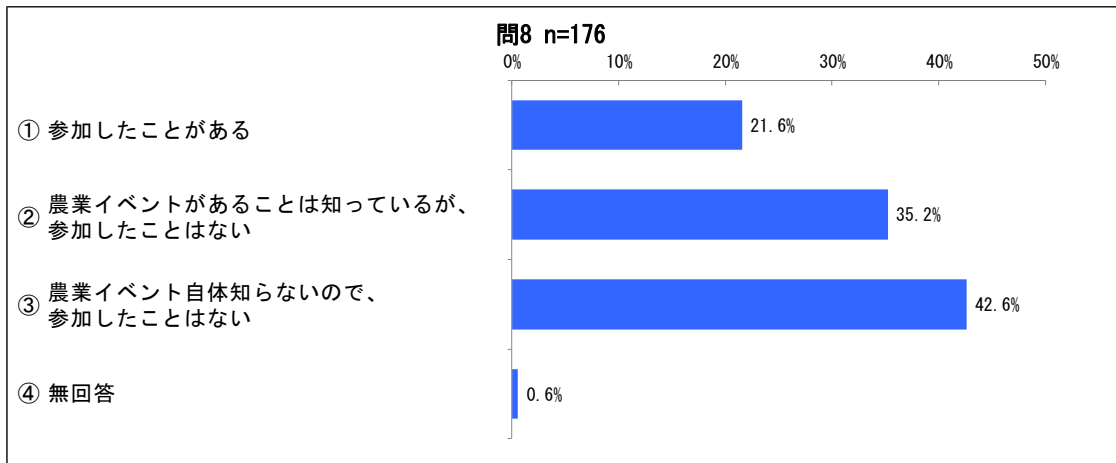
問7.問5で「1.ある」と回答された方に伺います。区内産農産物をどこで購入しましたか。(〇はいくつでも)



<調査結果>

「せたがやそだち」を購入したことが「ある」と答えた方(96 人)に、区内産農産物をどこで購入したか聞いたところ、「農家の個人直売所」(74.0%)が7割半ばと最も高く、以下、「スーパー・デパート」(33.3%)、「農協の共同直売所」(24.0%)などと続く。

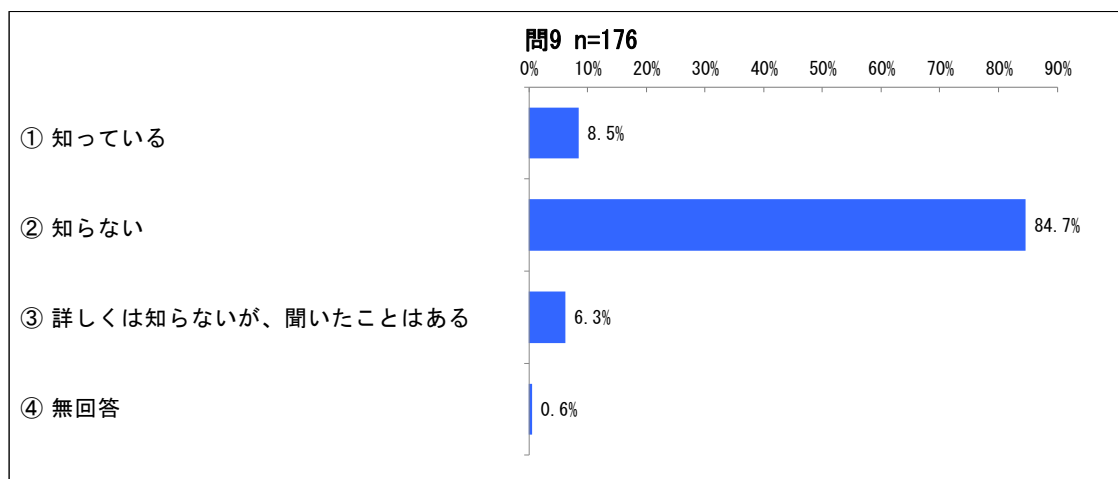
問8.あなたは、区の農業イベント（野菜や果樹の収穫体験や、展覧会・農業祭など）に参加したことがありますか。（○は1つ）



<調査結果>

区の農業イベント（野菜や果樹の収穫体験や、展覧会・農業祭など）に参加したことがあるか聞いたところ、「農業イベント自体知らないので、参加したことはない」(42.6%)が4割を超え最も高く、以下、「農業イベントがあることは知っているが、参加したことはない」(35.2%)、「参加したことがある」(21.6%)となっている。

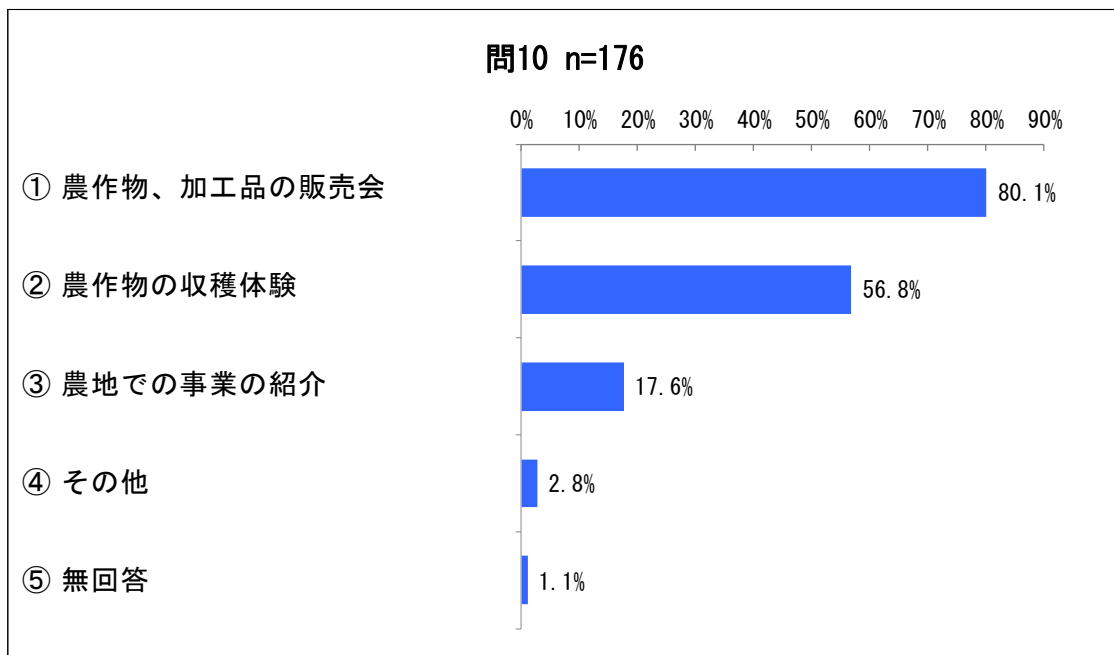
問9.区では、都市農地の保全とともに、障害のある方の就労促進、工賃向上を図るため、令和3年度より「農福連携事業」に取り組んでいます。あなたは、農福連携事業を知っていましたか。(〇は1つ)



<調査結果>

農福連携事業を知っていたか聞いたところ、「知らない」(84.7%)が8割半ばと最も高く、以下、「知っている」(8.5%)、「詳しくは知らないが、聞いたことはある」(6.3%)となっている。

問10.農福連携事業の活動を多くの方に知ってもらうため、今後イベントを実施する予定です。あなたは、どのようなイベントに参加してみたいですか。(〇はいくつでも)

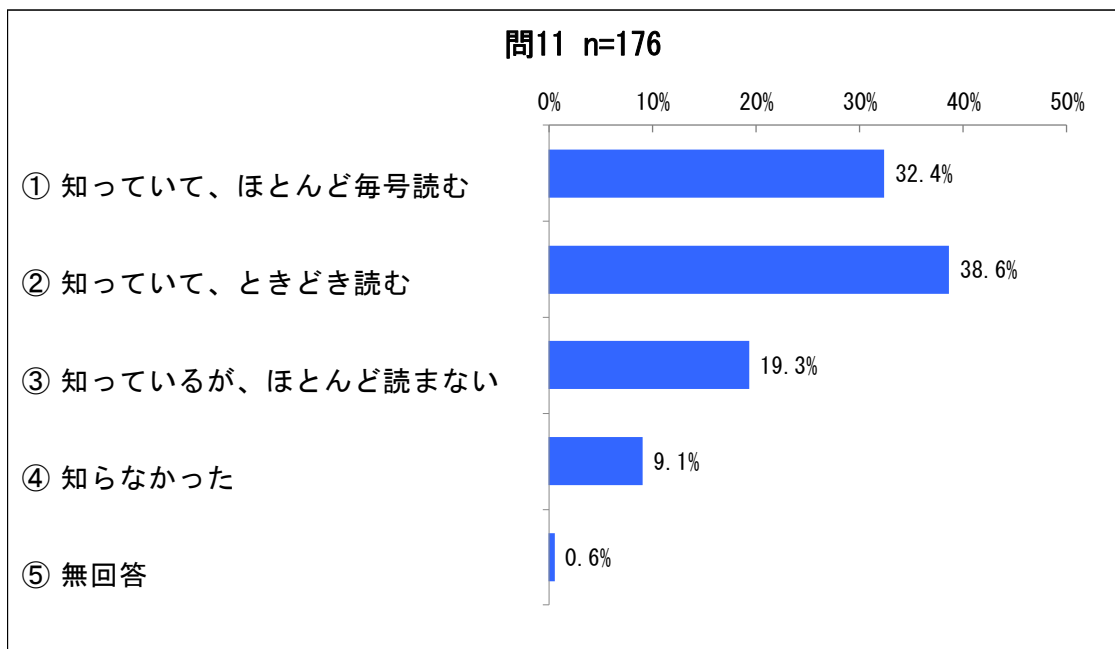


<調査結果>

農福連携事業の活動を多くの方に知ってもらうためのイベントとして、どんなイベントに参加してみたいか聞いたところ、「農作物、加工品の販売会」(80.1%)が8割と最も高く、以下、「農作物の収穫体験」(56.8%)、「農地での事業の紹介」(17.6%)などと続く。

■「区のおしらせ せたがや について」

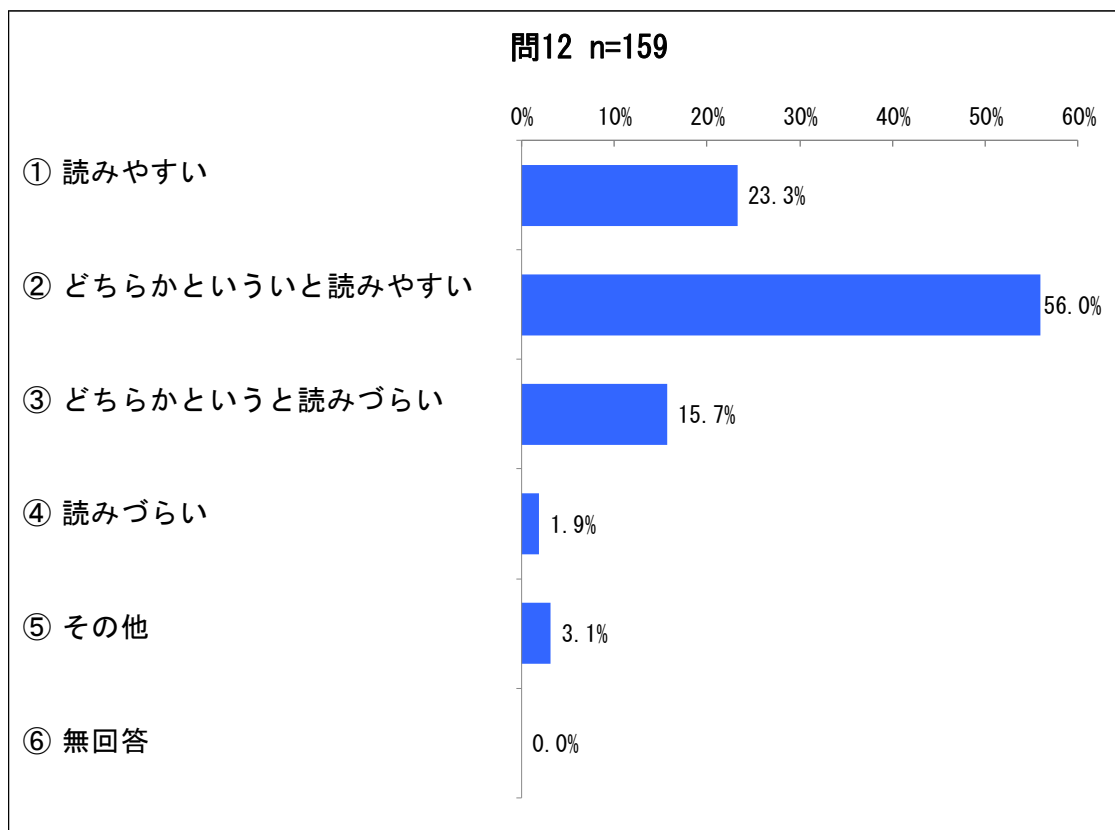
問11.区のおしらせ「せたがや」を知っていますか。(○は1つ)



<調査結果>

区のおしらせ「せたがや」を知っているか聞いたところ、「知っていて、ときどき読む」(38.6%)が4割近くと最も高く、以下、「知っていて、ほとんど毎号読む」(32.4%)、「知っているが、ほとんど読まない」(19.3%)などと続く。

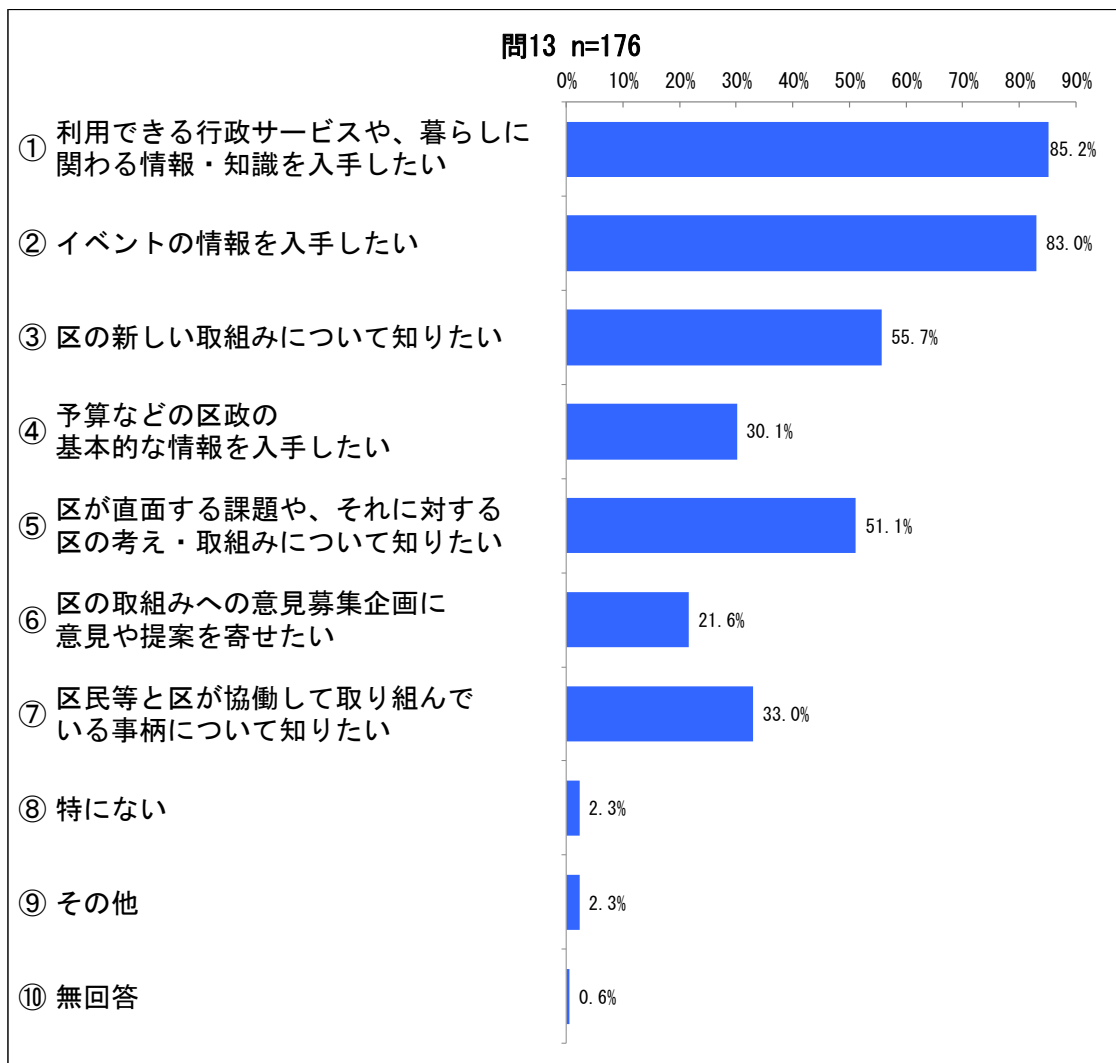
問12.問 11 で「1. 知っていて、ほとんど毎号読む」、「2.知っていて、ときどき読む」、「3.知っているが、ほとんど読まない」と回答された方にお聞きします。区のおしらせ「せたがや」は読みやすいですか。(○は1つ)



<調査結果>

問 11 で「知っていて、ほとんど毎号読む」、「知っていて、ときどき読む」、「知っているが、ほとんど読まない」と回答した方(159 人)に区のおしらせ「せたがや」は読みやすいか聞いたところ、「どちらかという読みやすい」(56.0%)が5割半ばと最も高く、以下、「読みやすい」(23.3%)、「どちらかという読みづらい」(15.7%)などと続く。

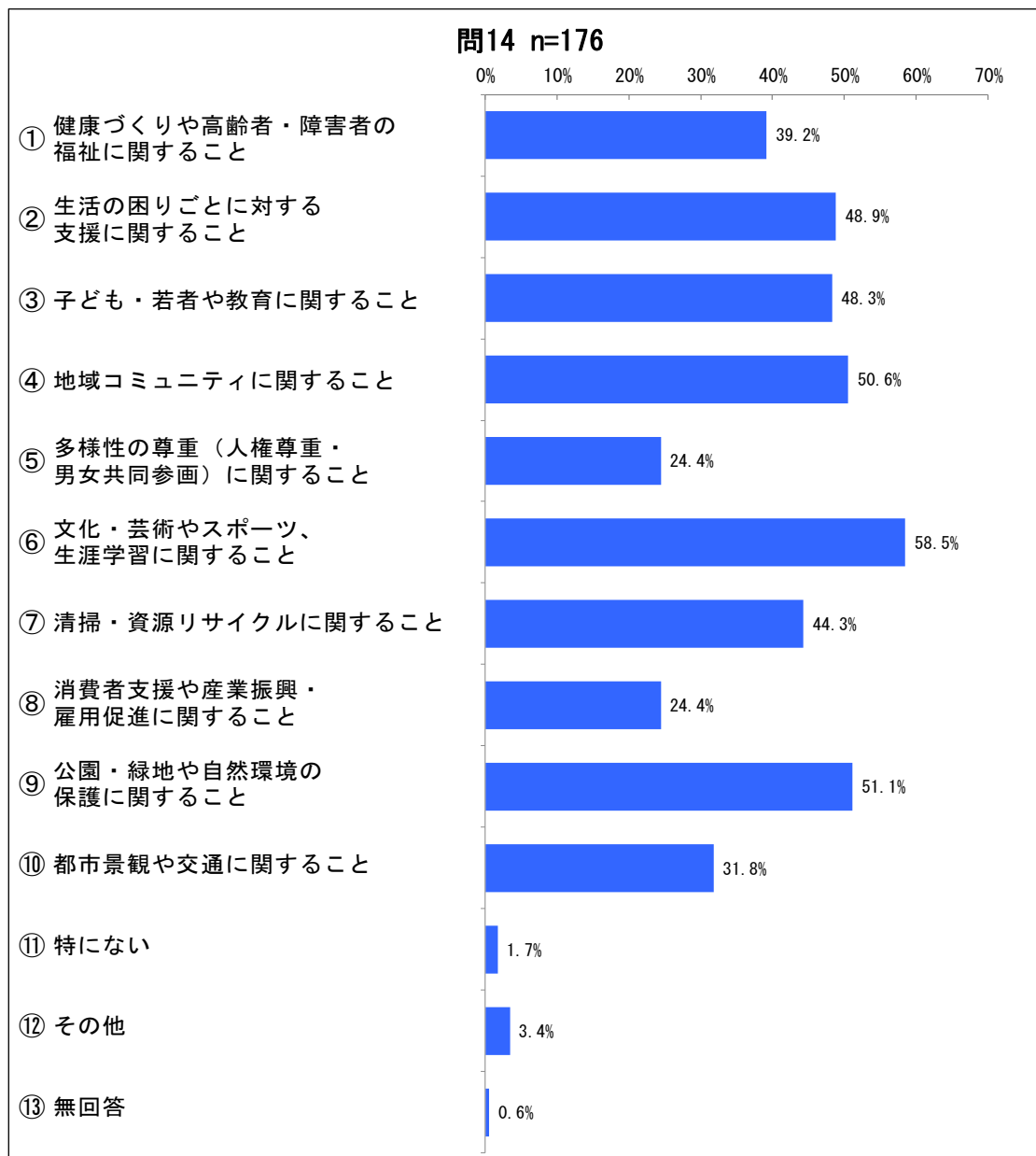
問13.区のおしらせ「せたがや」にどんなことを期待しますか。
(○はいくつでも)



<調査結果>

区のおしらせ「せたがや」にどんなことを期待するか聞いたところ、「利用できる行政サービスや、暮らしに関わる情報・知識を入手したい」(85.2%)が8割半ばと最も高く、以下、「イベントの情報を入手したい」(83.0%)、「区の新しい取組みについて知りたい」(55.7%)などと続く。

問14.区のおしらせ「せたがや」でどのようなテーマを特集してほしいですか。
(○はいくつでも)



<調査結果>

区のおしらせ「せたがや」でどのようなテーマを特集してほしいか聞いたところ、「文化・芸術やスポーツ、生涯学習に関すること」(58.5%)が6割近くと最も高く、以下、「公園・緑地や自然環境の保護に関すること」(51.1%)、「地域コミュニティに関すること」(50.6%)などと続く。

問15.区のおしらせ「せたがや」について、これからの紙面にどのようなことを望みますか。(改善すると良いと思う点や特集してほしい具体的なテーマなど)その他、区のおしらせ「せたがや」に関するご意見・ご提案をご記載ください。(自由記述)

現状の良いと思う点 (全 8 件)

(主な意見)

- 分かりやすい。(他 5 件)
- 今のスタイルのままでよい。(他 1 件)

改善すると良いと思う点 (全 69 件)

(主な意見)

- 紙面のレイアウトを見やすくしてほしい。(他 8 件)
- 電子化してほしい。(他 6 件)
- 配布場所を増設してほしい。(他 5 件)
- メール配信をしてほしい。(他 4 件)
- 文字のサイズを大きくしてほしい。(他 3 件)
- QR コード読み取り機能を追加してほしい。(他 3 件)
- SNS での配信をしてほしい。(他 3 件)
- 検索機能を追加してほしい。(他 1 件)
- 年代別に情報を発信してほしい。(他 1 件)
- 月別の情報を発信してほしい。(他 1 件)
- 情報量を増やしてほしい。(他 1 件)

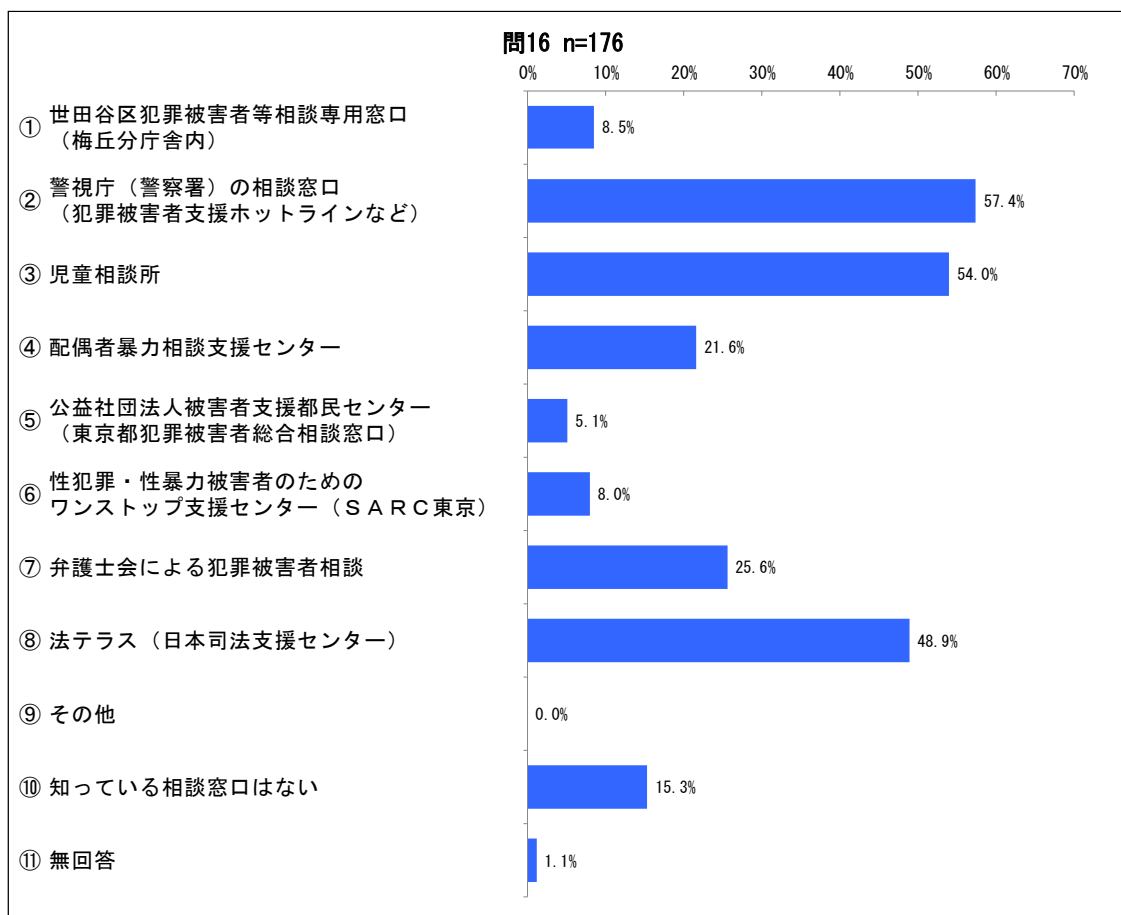
特集・掲載して欲しいテーマ (全 102 件)

(主な意見)

- 区内のイベント情報について。(他 11 件)
- 「せたがやそだち」の野菜のレシピについて。(他 4 件)
- 災害時の対策について。(他 3 件)
- 雇用に関する情報について。(他 2 件)
- 障害施策について。(他 2 件)
- 地域別の取り組みについて。(他 2 件)
- 区内のお店について。(他 2 件)
- ボランティア活動に関する情報について。(他 2 件)
- 区民のマナー向上について。(他 2 件)

■「犯罪被害者等支援について」

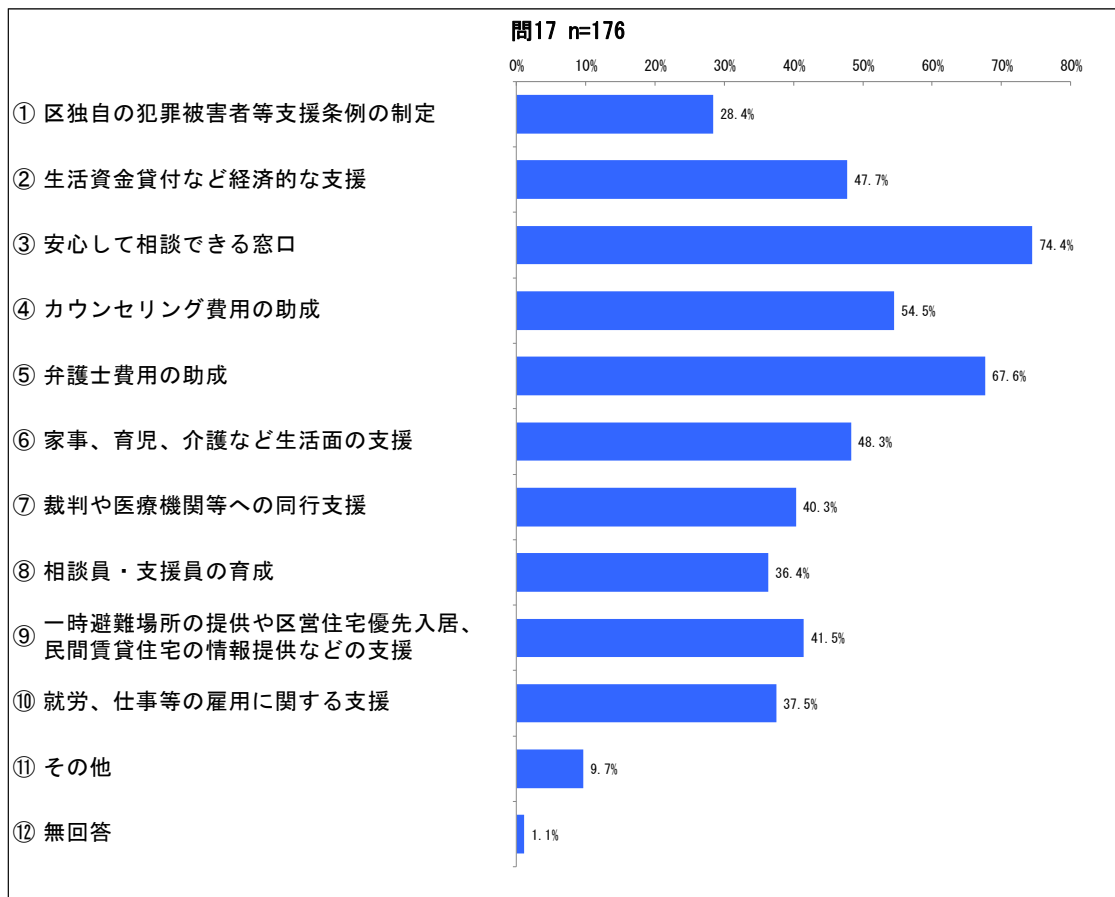
問16.あなたが、以下の犯罪被害者とその家族または遺族の支援のための相談窓口の中で、知っているものを選んでください。(〇はいくつでも)



<調査結果>

犯罪被害者とその家族または遺族の支援のための相談窓口の中で、知っているものを選んでくださいと聞いたところ、「警視庁(警察署)の相談窓口(犯罪被害者支援ホットラインなど)」(57.4%)が6割近くと最も高く、以下、「児童相談所」(54.0%)、「法テラス(日本司法支援センター)」(48.9%)などと続く。

問17.万が一、あなたが犯罪被害にあわれた場合、どのような支援が必要だと思うかお聞かせください。(〇はいくつでも)



<調査結果>

万が一、あなたが犯罪被害にあわれた場合、どのような支援が必要だと思うかを聞いたところ、「安心して相談できる窓口」(74.4%)が7割半ばと最も高く、以下、「弁護士費用の助成」(67.6%)、「カウンセリング費用の助成」(54.5%)などと続く。

問18.問 17 でその他と答えた方にお尋ねします。どのような支援が必要だと思いかお聞かせください。(自由記述)

被害者へのアフターケア (全 4 件)

- 被害にあった場合、過去に同じような被害にあった方々のお話を聞くことが出来たら支えになるように思います。
- どのような犯罪にあうかで変わるとは思いますが、現代ではネット環境を無視できないと思うので、電話番号や通信事業者を変えたい場合など手続きの代行や同行支援があるといいかもしれません。
- 就労先にて、犯罪のみならずハラスメント被害に遭ったことによる心身の疲労から退職する人がいます。退職した際に、若者のみならず中高年でも、自身の前職でのスキルを生かした仕事を斡旋していただけるサービスがあるとなお素晴らしいと思います。

支援体制の改善 (全 3 件)

- 犯罪被害にあった場合、ただでさえ精神的ダメージが大きく、被害者が能動的に必要な支援情報を調べて受けに行くことは困難と思います。行政サービスの多くは、受益者が自ら調べて申請しないと受けられないという印象がありますので、そうではなく、被害者に対して行政等の側から積極的に情報提供や支援をする体制をぜひ構築してほしいと思います。
(他 1 件)
- 犯罪の種類やその被害の程度によって、上記のどの項目が必要になるかは異なりますが、多くの場合複数の支援が必要になることと思います。その際に、被害者自身で複数の窓口をまわったり、支援の種類ごとに大量の申請書を提出したり、申請のたびにどのような被害にあったのか又なぜその支援が必要なのかなどを説明する必要が発生しないように、案件ごとの担当者（個人でもチームでも OK）を決め、被害者が支援にたどり着きやすいシステムを構築してほしいと思います。犯罪被害に遭い疲弊した被害者が、申請の煩雑さから支援を受けられないなどということが無いように、部署間の垣根を超えた被害者支援を期待します。

医療支援サービスの改善（全1件）

- 必要に応じて、精神科への紹介、受診の制度

犯罪予防対策の実施（全1件）

- 犯罪被害後の対策より、犯罪被害を受けない対策に予算も人も投入して欲しい。例えば防犯カメラ等設置についても『防犯カメラ設置業者』をnet 検索しても胡散臭い業者が多く発注できない。区と警察とで防犯カメラ取付要点等の講習会そして取付業者紹介もして欲しい。都内の個人宅防犯カメラを警視庁でネットワークし犯罪防止と検挙UPに繋げるべき。他自治体の状況を知ると、今やプライバシー保護など言っている場合では無いと感じる。

その他（全2件）

- 区独自の条例は全く必要ありませんので、施策を着実に進めることを優先していただきたいです。（他1件）
- 犯罪加害者が精神的治療を受けることの義務化、個人やグループによるカウンセリングや自助グループ参加の義務化と経費の支援。犯罪に至るまで、相応の孤立感や認知の歪みや依存症が生じて定着していることが多い。被害者と同じかそれ以上の治療をするのが、再犯防止には必須だと考えるため。

第2回区政モニターアンケート結果

令和6年7月実施

1. 調査目的

■「世田谷区の風景づくりについて」都市整備政策部 都市デザイン課

区では、地域の個性あふれる世田谷らしい風景を守り、育て、つくるため、景観法に基づく景観計画として「風景づくり計画」を策定し、風景づくりの理念や方向性を示すとともに、建設行為等に関する風景づくりの誘導、区民主体の協働による風景づくりの促進等、さまざまな取組みを進めています。

この度、「風景づくり計画」の見直しを実施するにあたり、区民の意識やニーズ、考えを把握し、計画見直しの検討資料とするため、アンケートを実施しました。

■「お問い合わせセンター せたがやコールについて」政策経営部 広報広聴課

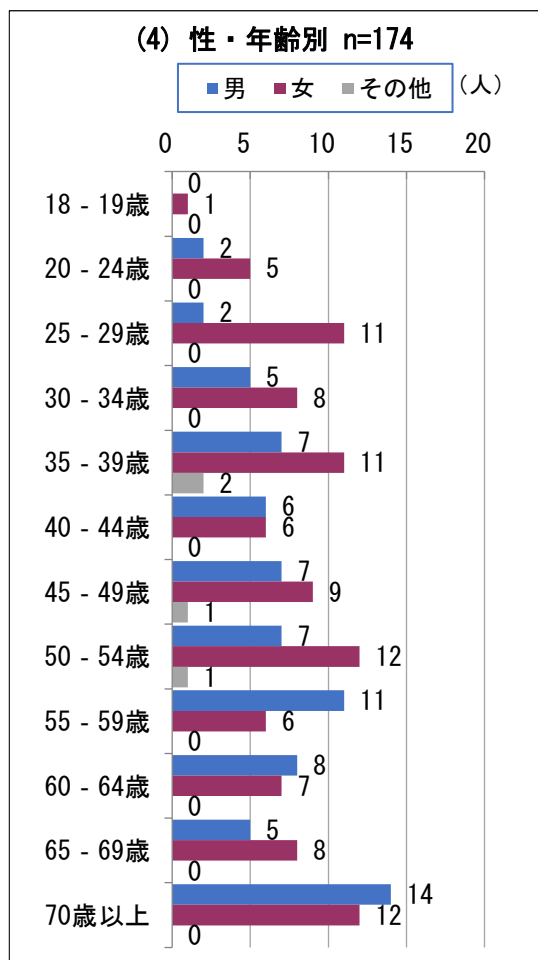
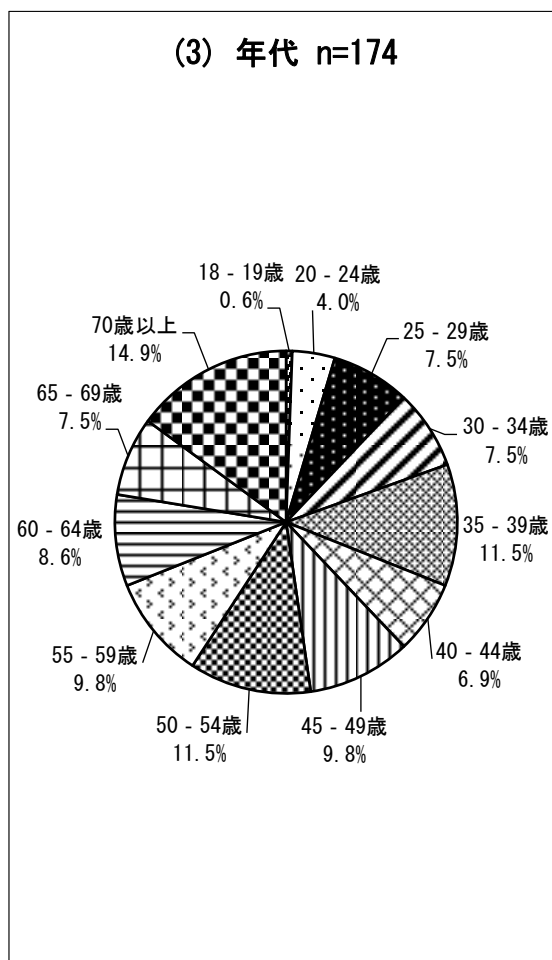
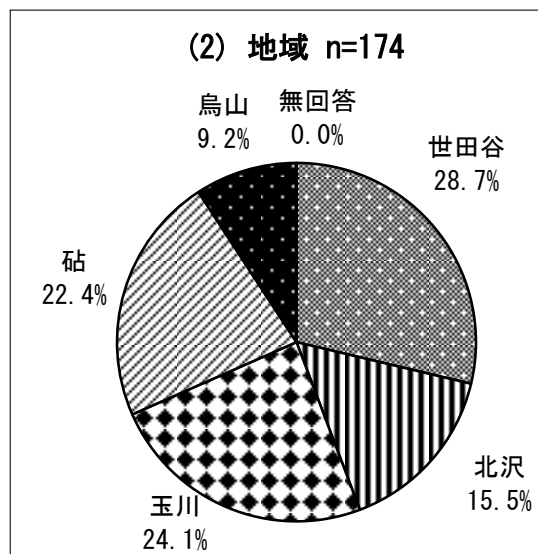
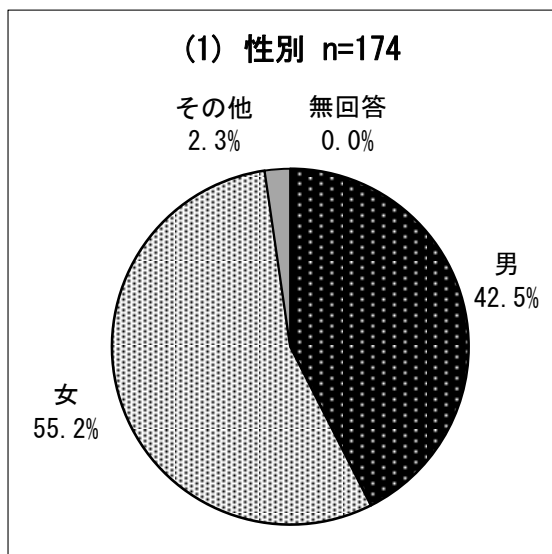
区では、お問い合わせセンター「せたがやコール」にて、区に関する手続きや制度、イベントや施設案内などのお問い合わせに、オペレーターがお答えしています。

区へのお問い合わせの状況等を把握し、お問い合わせセンター「せたがやコール」の運営に役立てるため、アンケートを実施しました。

2. 調査設計

- | | |
|-----------|--|
| (1) 調査対象 | 第20期区政モニター |
| (2) 対象数 | 192人 |
| (3) 調査方法 | 郵送配布、郵送回収法及びEメールによる送受信 |
| (4) 調査期間 | 令和6年7月3日から7月17日 |
| (5) 有効回答数 | 174人（回収率90.6%） |
| (6) 数値の見方 | 特に断りがない場合、すべての設問のn値は174である。
※n値とはサンプル数（アンケート回答件数） |

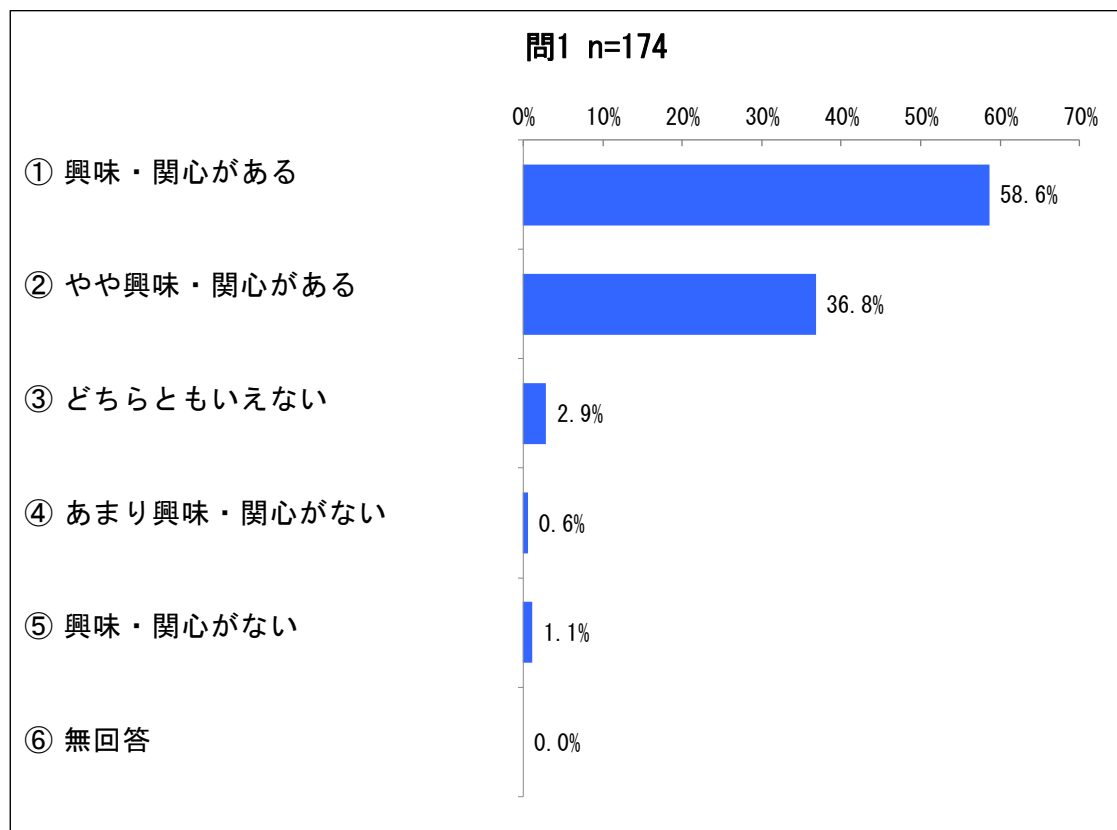
3. 標本構成



4. 質問と回答

■「世田谷区の風景づくりについて」

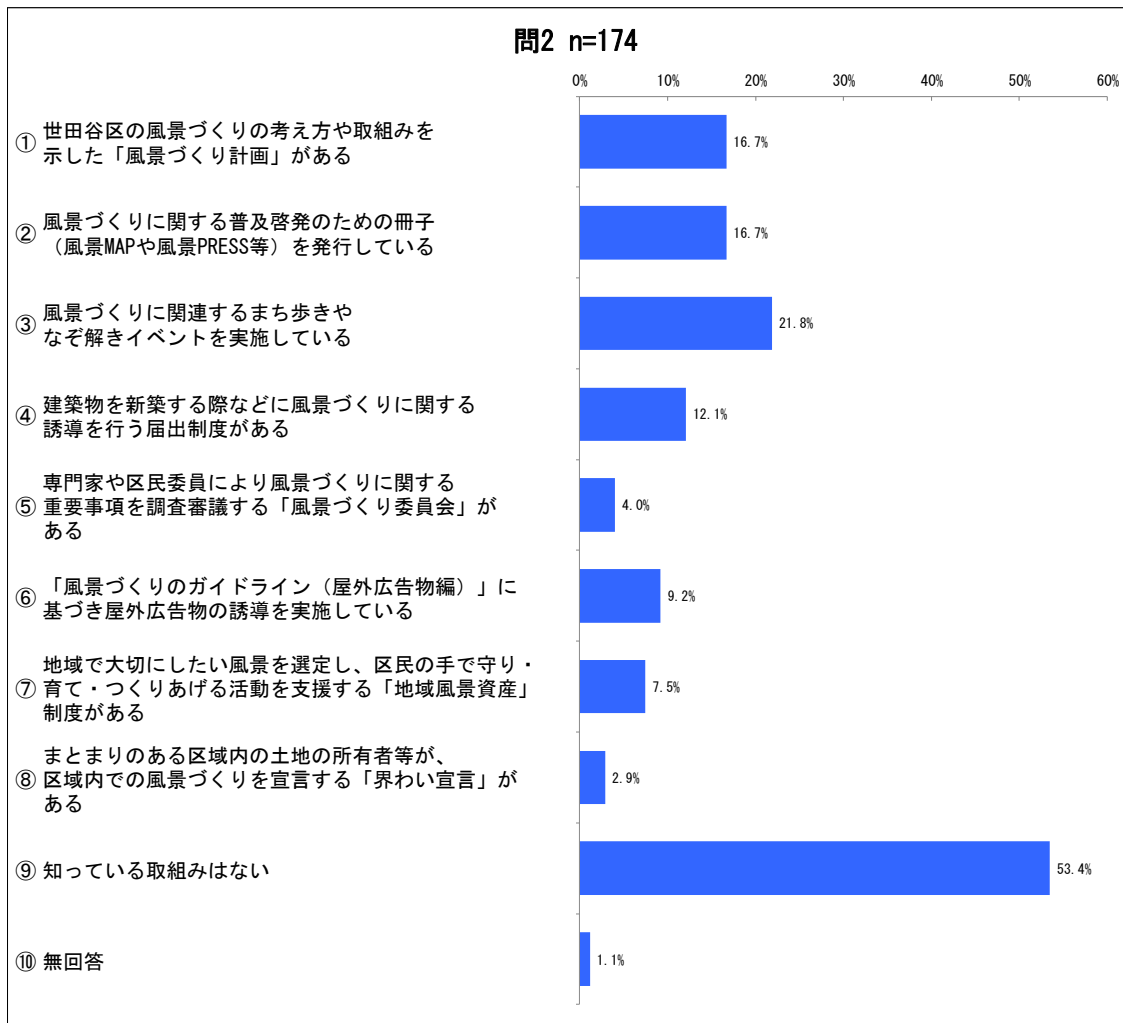
問1.あなたが住まいの街（世田谷区内）の風景（景観、景色、眺め、まちなみ等）に興味・関心がありますか。（○は1つ）



<調査結果>

現在住んでいる街（世田谷区内）の風景（景観、景色、眺め、まちなみ等）に興味・関心があるか聞いたところ、「興味・関心がある」（58.6%）と「やや興味・関心がある」（36.8%）と合わせて、「興味・関心がある」は95.4%と9割半ばとなっている。

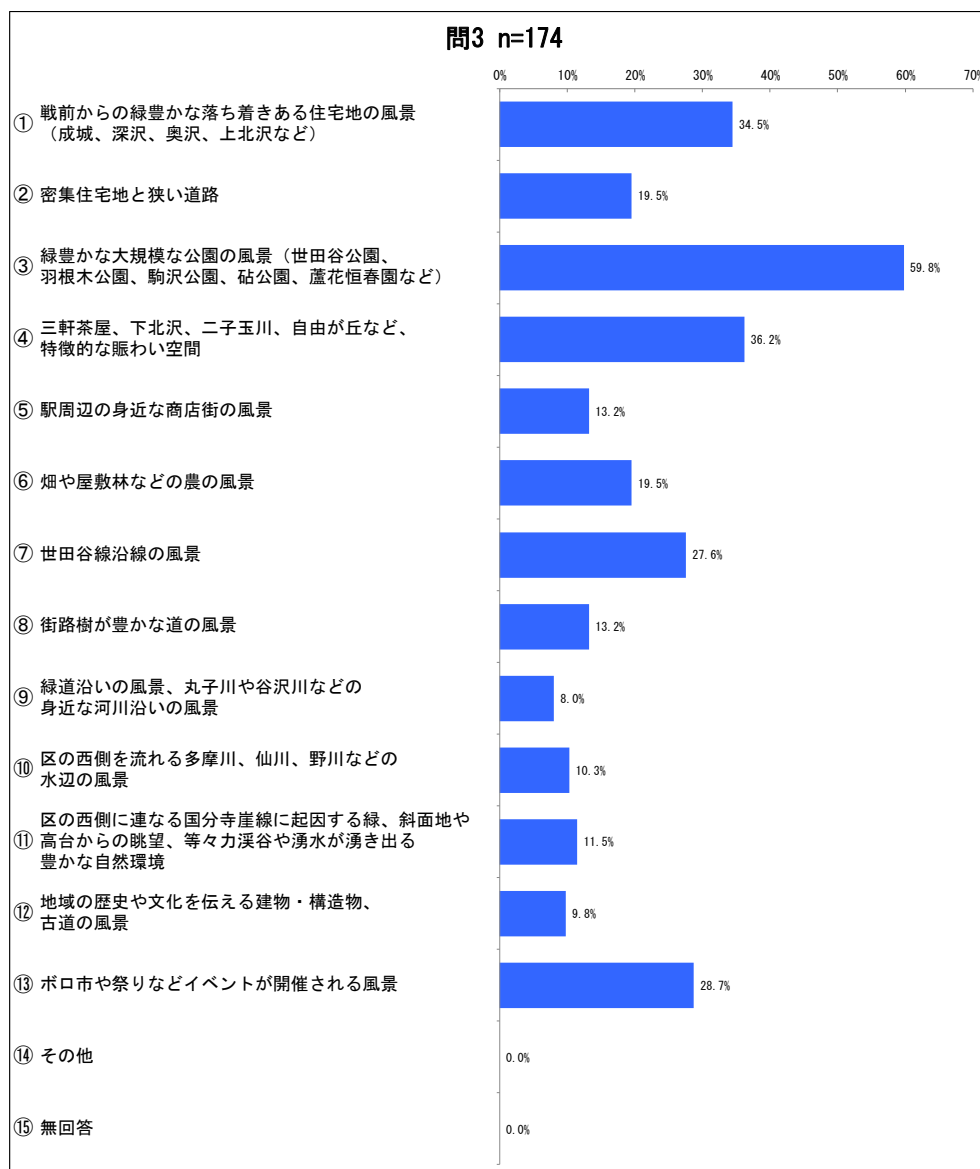
問2.区では、世田谷区の風景を守り育てるために様々な取り組みを実施しています。次の取り組みのうち、あなたが知っている取り組みを選択してください。
(○はいくつでも)



<調査結果>

世田谷区の風景を守り育てるための区の取り組みについて知っている取り組みを聞いたところ、「知っている取り組みはない」(53.4%)が5割を超え最も高く、以下、「風景づくりに関連するまち歩きやなぞ解きイベントを実施している」(21.8%)、「世田谷区の風景づくりの考え方や取り組みを示した「風景づくり計画」がある」(16.7%)、「風景づくりに関する普及啓発のための冊子（風景MAPや風景PRESS等）を発行している」(16.7%)などと続く。

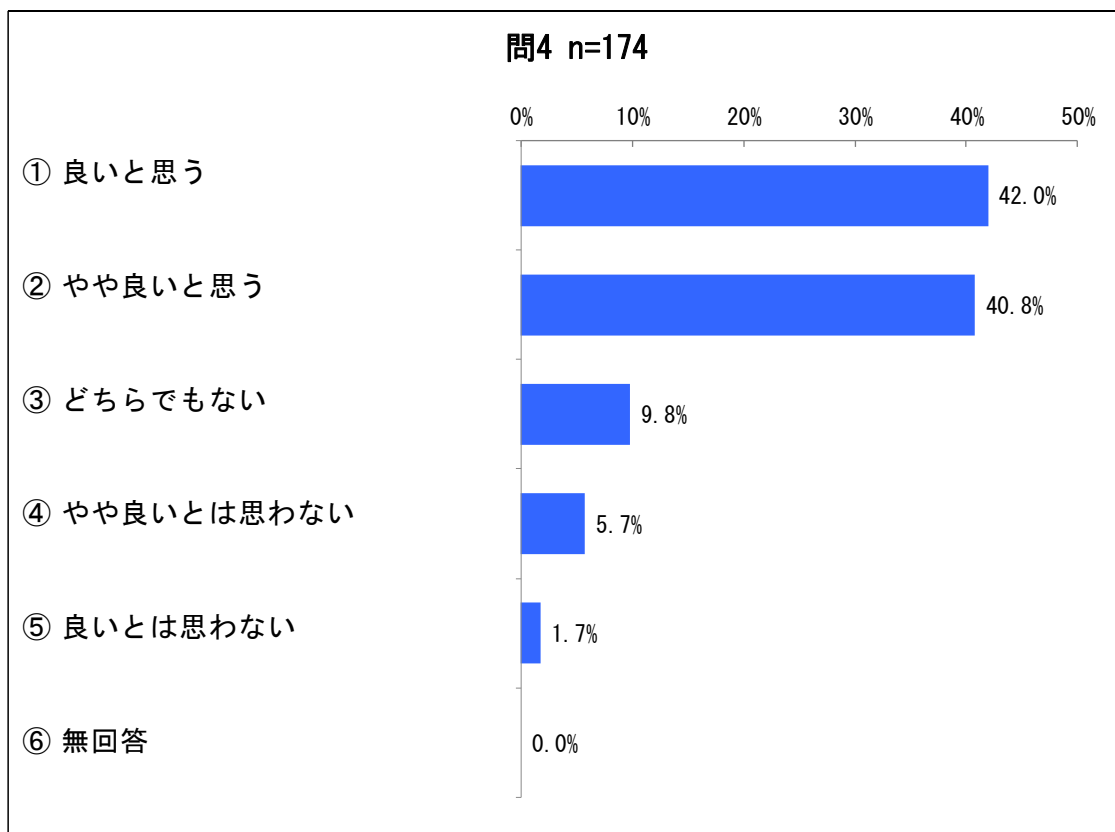
問3.あなたにとって「世田谷らしい」と思う風景を選択してください。
(○は3つまで)



<調査結果>

「世田谷らしい」と思う風景について聞いたところ、「緑豊かな大規模な公園の風景(世田谷公園、羽根木公園、駒沢公園、砧公園、蘆花恒春園など)」(59.8%)が6割と最も高く、以下、「三軒茶屋、下北沢、二子玉川、自由が丘など、特徴的な賑わい空間」(36.2%)、「戦前からの緑豊かな落ち着いた住宅地の風景(成城、深沢、奥沢、上北沢など)」(34.5%)などと続く。

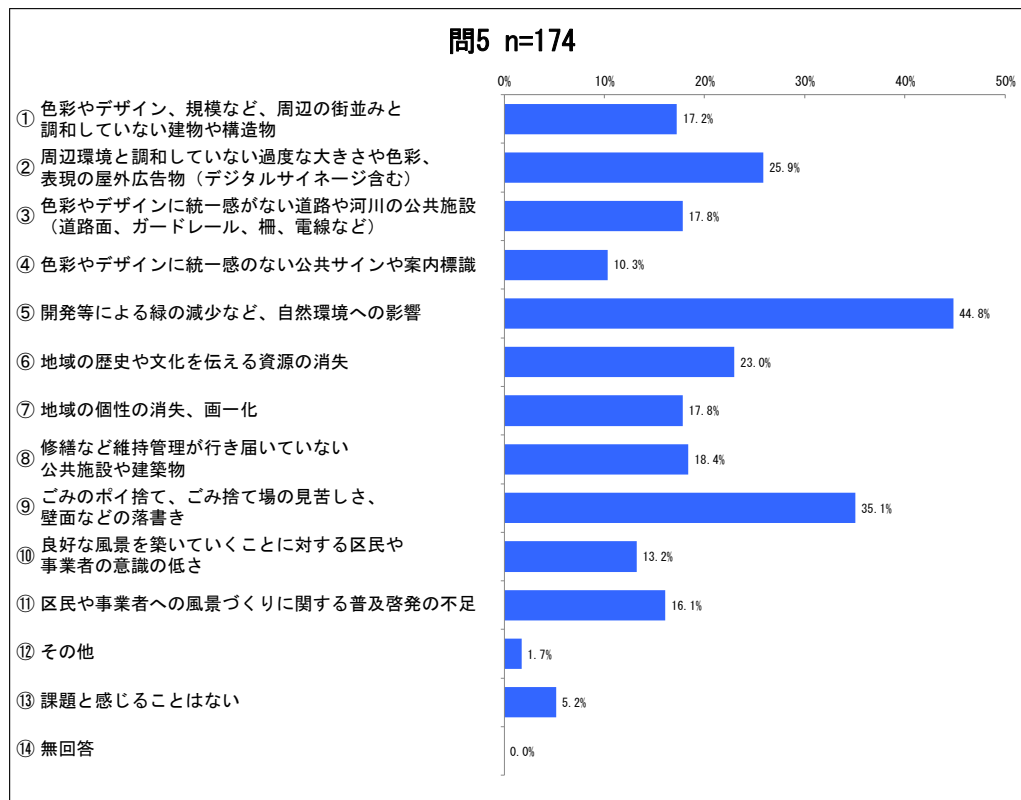
問4.あなたがお住まいの街（世田谷区内）の風景を良いと思いますか。
（○は1つ）



<調査結果>

現在住んでいる街（世田谷区内）の風景を良いと思うか聞いたところ、「良いと思う」（42.0%）と「やや良いと思う」（40.8%）とあわせて、「良いと思う」は82.8%と8割を超えている。

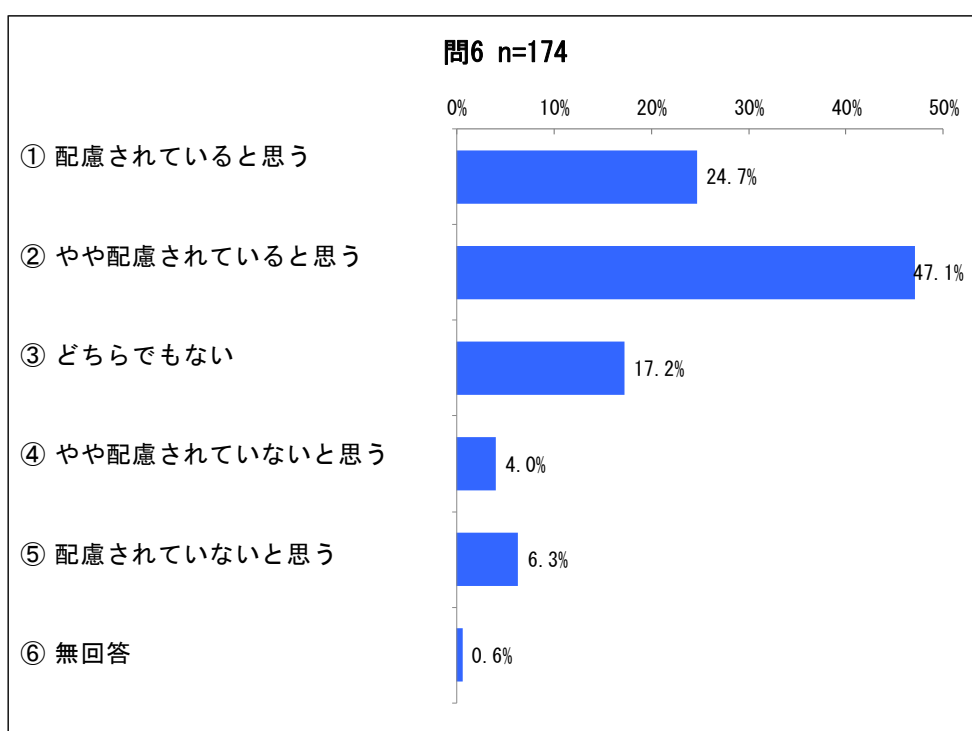
問5.世田谷らしい魅力がある良好な風景を築いていく上で、課題と感
 じることは何ですか。(○は3つまで)



<調査結果>

世田谷らしい魅力がある良好な風景を築いていく上で、課題と感ずることを聞いたところ、「開発等による緑の減少など、自然環境への影響」（44.8%）が4割半ばと最も高く、以下、「ごみのポイ捨て、ごみ捨て場の見苦しさ、壁面などの落書き」（35.1%）、「周辺環境と調和していない過度な大きさや色彩、表現の屋外広告物（デジタルサイネージ含む）」（25.9%）などと続く。

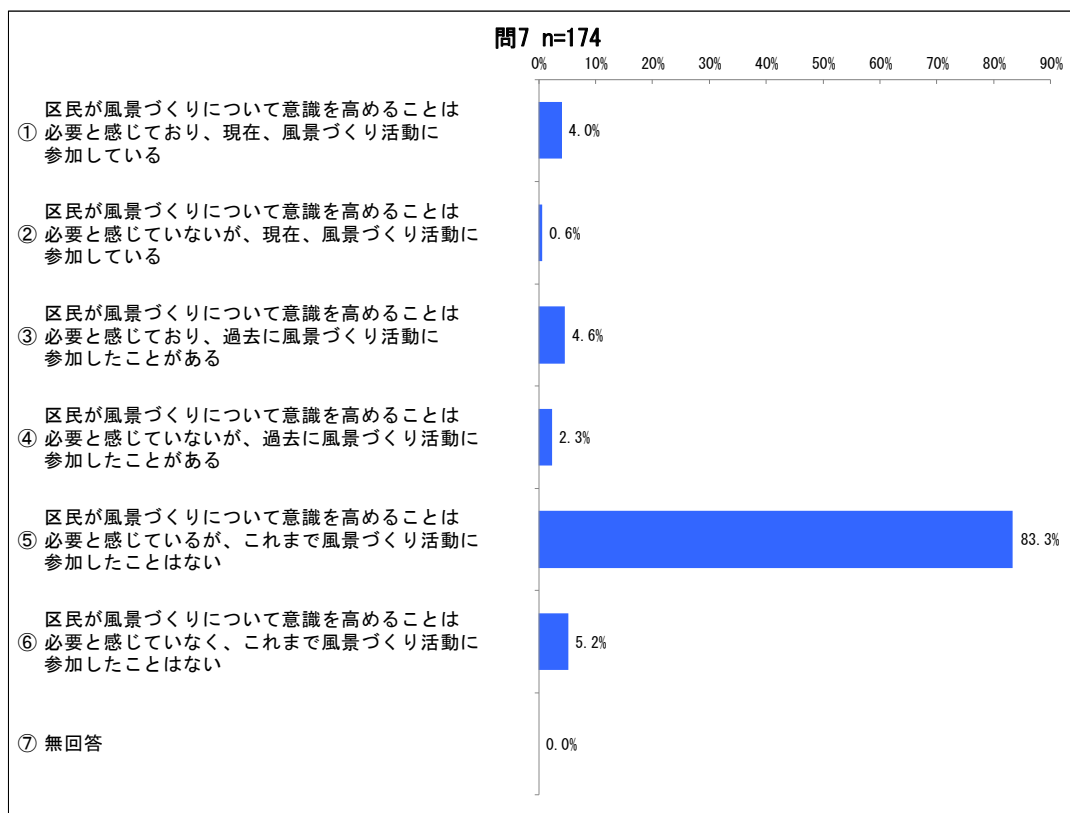
問6.区では、世田谷の良好な風景を築いていくため、一定規模以上の建築（集合住宅や大規模建築物等）の建設等に対して、工事前の届出制度により下に図示したような風景づくりに関する誘導を行っています。
この 10 年間に建てられた一定規模以上の建築物（集合住宅や大規模建築物等）やその外構植栽について、周辺風景に配慮されていると感じますか。
（○は 1 つ）
※「一定規模以上」とは、主に、住宅地では延床面積 1,500 m²以上、商業地では延床面積 3,000 m²以上の建築物を言います。



<調査結果>

この 10 年間に建てられた一定規模以上の建築物（集合住宅や大規模建築物等）やその外構植栽について、周辺風景に配慮されていると感じるか聞いたところ、「配慮されていると思う」（24.7%）と「やや配慮されていると思う」（47.1%）と合わせて、「配慮されていると思う」は 71.8%と 7 割を超えている。

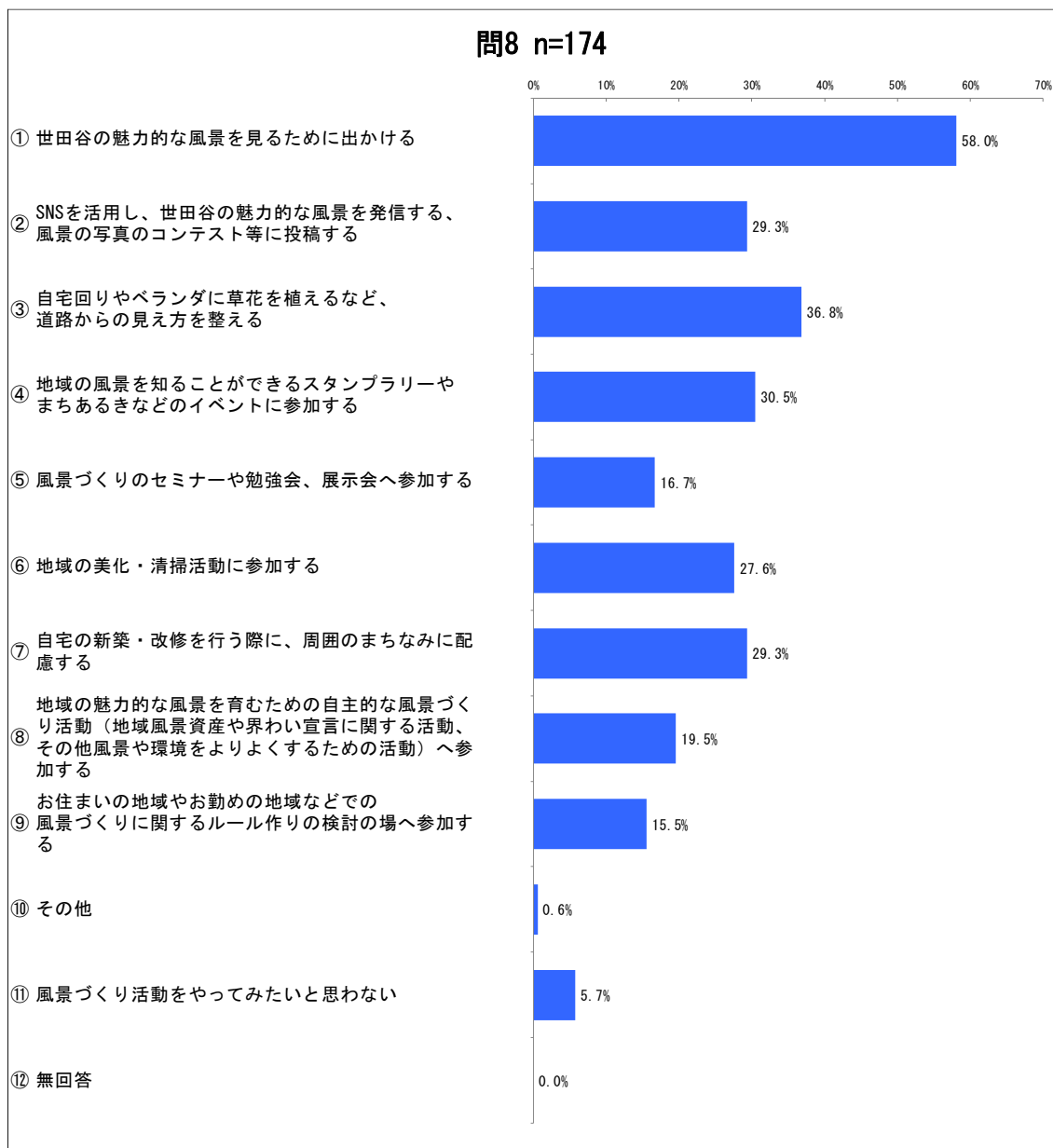
問7.世田谷らしい良好な風景を築いていくためには、区民、事業者、区が連携していくことが必要と考えています。風景づくりに関する講演会やまち歩きなどのイベントや、自主的な風景づくり活動（地域風景資産や界わい宣言に関する活動、その他風景や環境をよりよくするための活動）どの“風景づくり活動”への参加について、あなたの状況や考えに最も近いものはどれですか。（○は1つ）



<調査結果>

“風景づくり活動”への参加について、対象者の状況や考えに最も近いものは何か聞いたところ、「区民が風景づくりについて意識を高めることは必要と感じているが、これまで風景づくり活動に参加したことはない」（83.3%）が8割を超えている。

問8.区民による風景づくり活動が活発に行われるような施策を検討しています。あなたがやってみたいと思う風景づくり活動を選択してください。（○はいくつでも）



<調査結果>

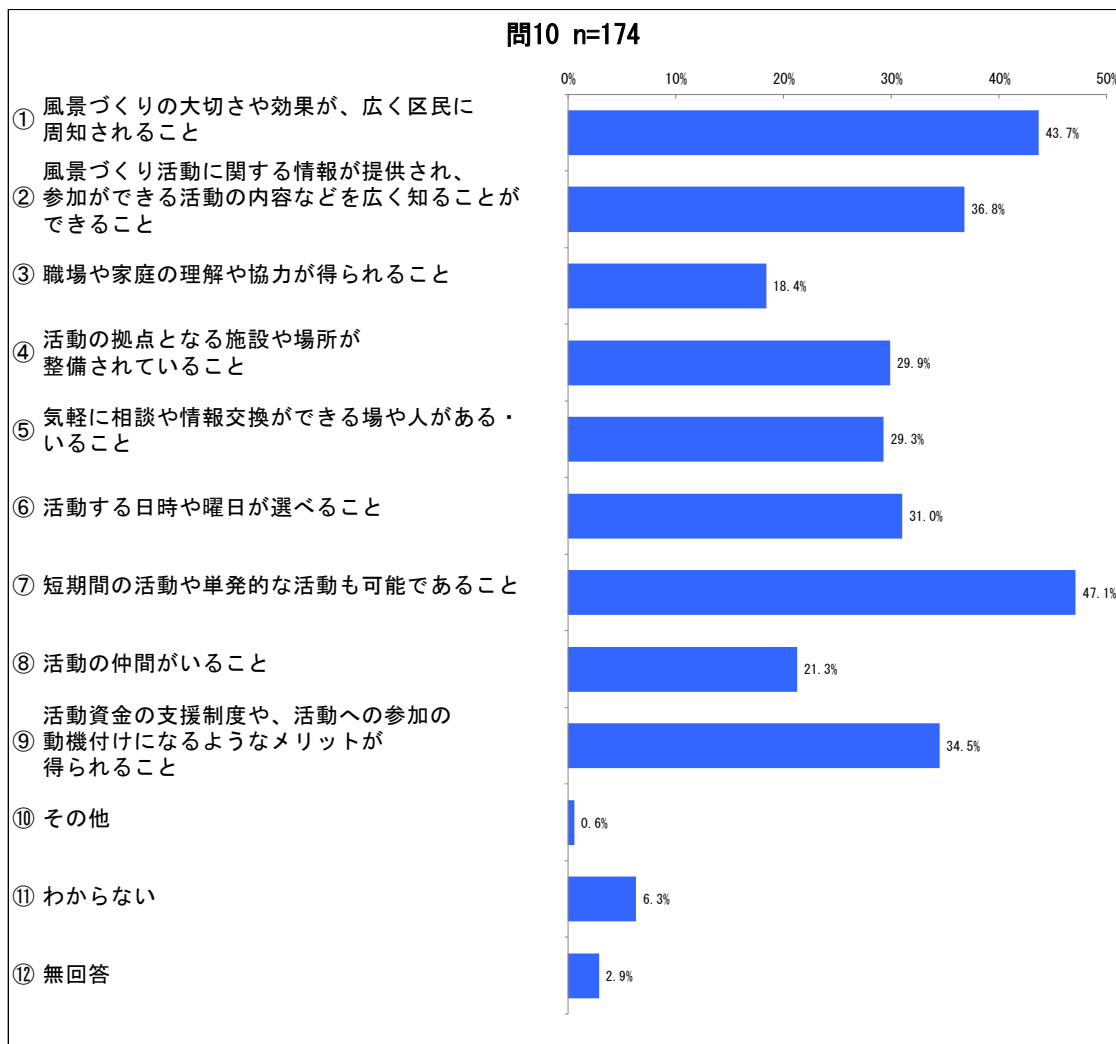
やってみたいと思う風景づくり活動について聞いたところ、「世田谷の魅力的な風景を見るために出かける」（58.0%）が6割近くと最も高く、以下、「自宅回りやベランダに草花を植えるなど、道路からの見え方を整える」（36.8%）、「地域の風景を知ることができるスタンプラリーやまちあるきなどのイベントに参加する」（30.5%）などと続く。

問9.問 8 で「10.その他」に○をされた方にお尋ねします。あなたがやってみたいと思う風景づくり活動はどんなものですか。(記述回答)

(全 1 件)

- 廃屋を DIY で改修することで、魅力的な住まいや居場所に変える。

問10.区民が風景づくり活動により参加しやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



<調査結果>

区民が風景づくり活動により参加しやすくなるためには、どのようなことが必要だと思うか聞いたところ、「短期間の活動や単発的な活動も可能であること」(47.1%)が5割近くと最も高く、以下、「風景づくりの大切さや効果が、広く区民に周知されること」(43.7%)、「風景づくり活動に関する情報が提供され、参加ができる活動の内容などを広く知ることができること」(36.8%)などと続く。

問11.今後の風景づくりについて、区に期待することがあれば記載してください。
(記述回答)

<自然> (全 21 件)

地形

- 農地、緑地や公園など、植物があり舗装されていない土面積の確保と維持。
- 調査権に基づく災害兼景観箇所に監督指導を積極的に行うよう要望します。

みどり・みず(他 16 件)

(主な意見)

- 住宅や公共施設の建て直しに際して、緑地面積が減る事がないよう、芝生や大木だけでなく、子どもたちが外遊びをする時に日除けになるような樹高のたかい木を積極的に配置して欲しい。
- 70 年鳥山在住です。町の変わりようは、すさまじいですが、これから駅周辺の踏切りなど、新道路が出来、交通の集合スペースが出来ることは、本当にうれしいのですが、駅ロータリーのシンボルツリー、など緑が多く感じられる、心がやすまる風景が欲しいです。
- ただ木の枝を切ればよいというのではなく、夏の強い日差しをさえぎる木陰ができるような剪定をすべきです。

<歴史・文化> (全 34 件)

地域の歴史・文化(全 18 件)

(主な意見)

- 世田谷百景（とくに寺院など史跡関連）のような企画は地域振興によいと思われるので、今後も、外国人観光客の観光事業ともからめつつ、行くとよいように思いました。
- 民間のボランティア的な活動が容易に回るような、しかも気楽に参加できるような仕組みを是非作っていただくと期待しております。

住宅地(全 11 件)

(主な意見)

- 空き家や放置されている土地について、そのままになっていることは風景に影響があると考えます。(空き家の放置は治安にも関わるため対応不可欠)
- 高さに関する制限も必要だと思います。影の問題などからも普通の住宅街に高層マンションは不要かと。
- 古い民家が、ワンルームマンション等に建て変わってしまうのが、さみしい気がする

<にぎわい> (全 23 件)

催し物(全 4 件)

- 記憶に残るイベントを各地域で工夫して実施してほしい。
- 1 番知ってほしいのは若い世代なので、街イベント、地元企業協賛によるスタンプラリーなどで気軽に家族や友人と気軽に参加できるような機会を作っていたらと思います。

みち(全 11 件)

(主な意見)

- 歩行者が安全に通行できるスペースを作って欲しいです。
- 建物の景観はもちろん、道路の車による景観保全も検討しては？狭い道路や商店街を朝だけでなく午後、夕方もスクールゾーンにしたり歩行者専用道路にして車を規制すべき
- 一休みできるベンチや木陰を街中に作ってほしいです

鉄道(全 3 件)

(主な意見)

- 駅前開発の見直し

<協働> (全 21 件)

(主な意見)

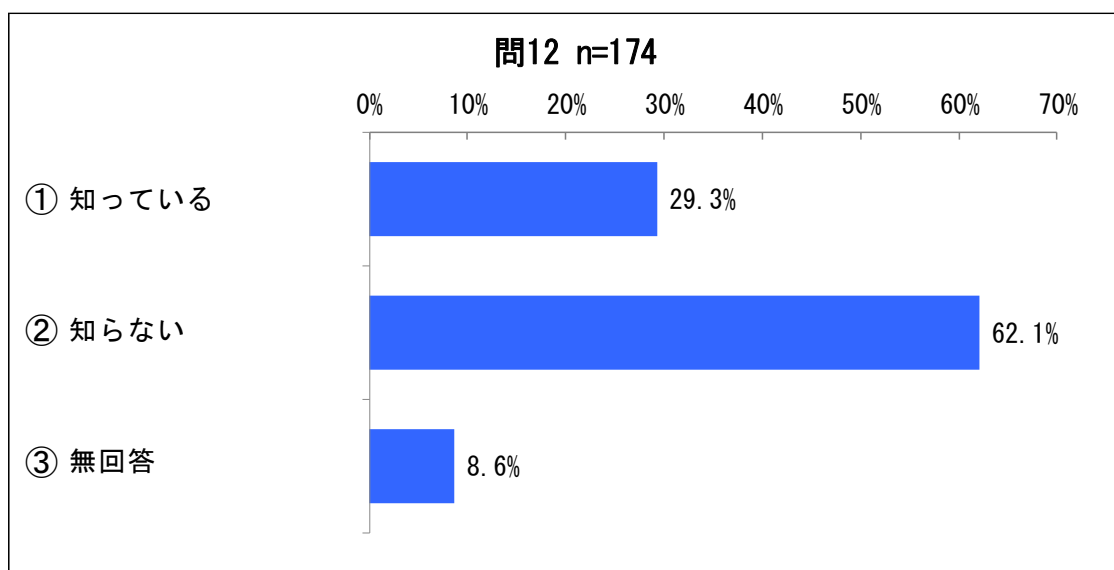
- 近隣の区との連帯(拡大)などを期待します。
- 風景を良くするために区民にはカラスに荒らされないごみの捨て方をよく考えて欲しい。
- 海外のようにアーティスティックなごみを捨てたくなるようなごみ箱の設置などはいかがでしょうか

<その他> (全 5 件)

- なぜ風景づくりをする必要があるのか(どういった社会課題を解決するために風景づくりをするのか) という課題感を特定していただきたいです。

■「お問い合わせセンター せたがやコール について」

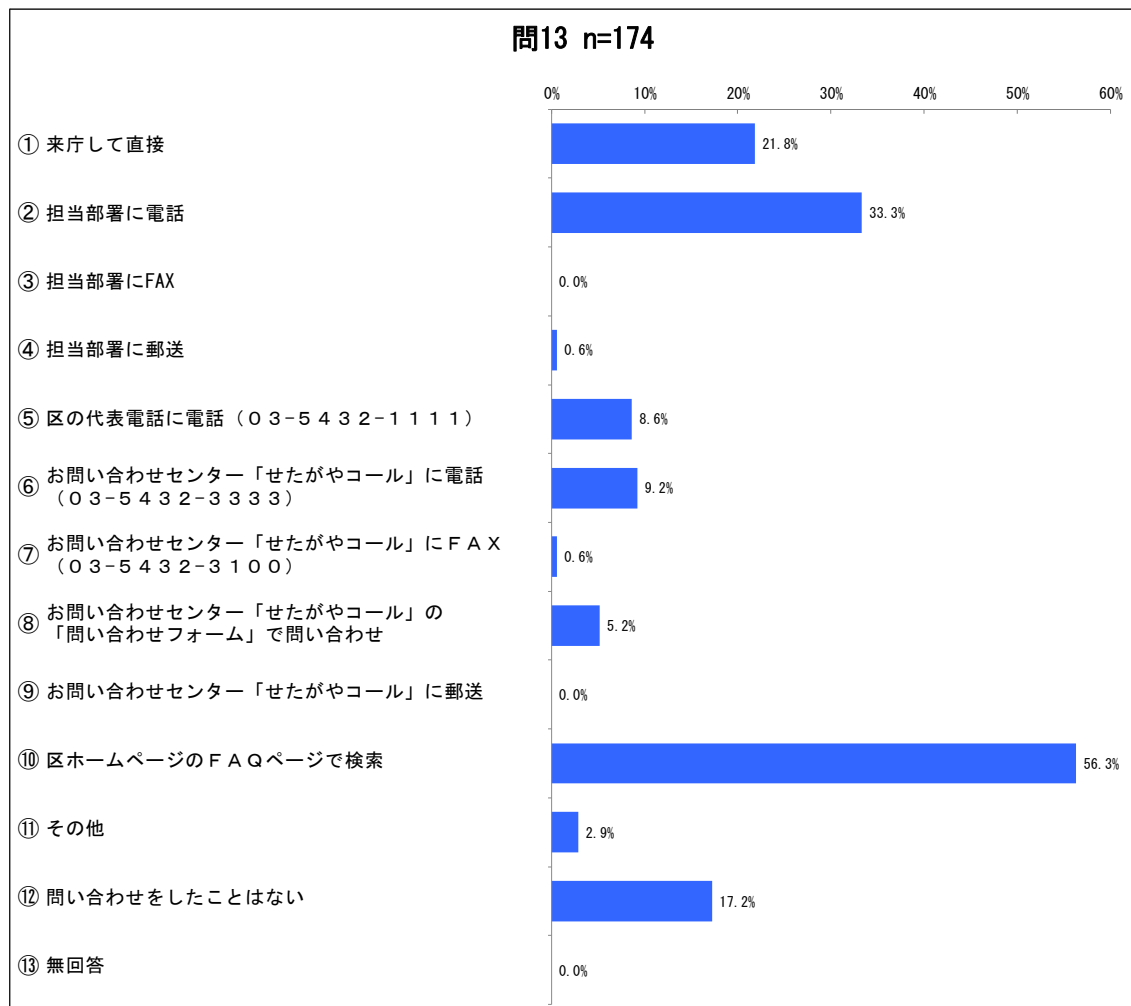
問12.お問い合わせセンター「せたがやコール」では、世田谷区に関する手続きや制度、イベントや施設案内などのお問い合わせに、オペレーターがお答えしています。お問い合わせセンター「せたがやコール」を知っていますか。(○は1つ)



<調査結果>

お問い合わせセンター「せたがやコール」を知っているか聞いたところ、「知らない」(62.1%)が6割を超えている。

問13.世田谷区役所の手続きや制度、施設、イベント等を調べる際、どのような方法で問い合わせ等を行いますか。(〇はいくつでも)

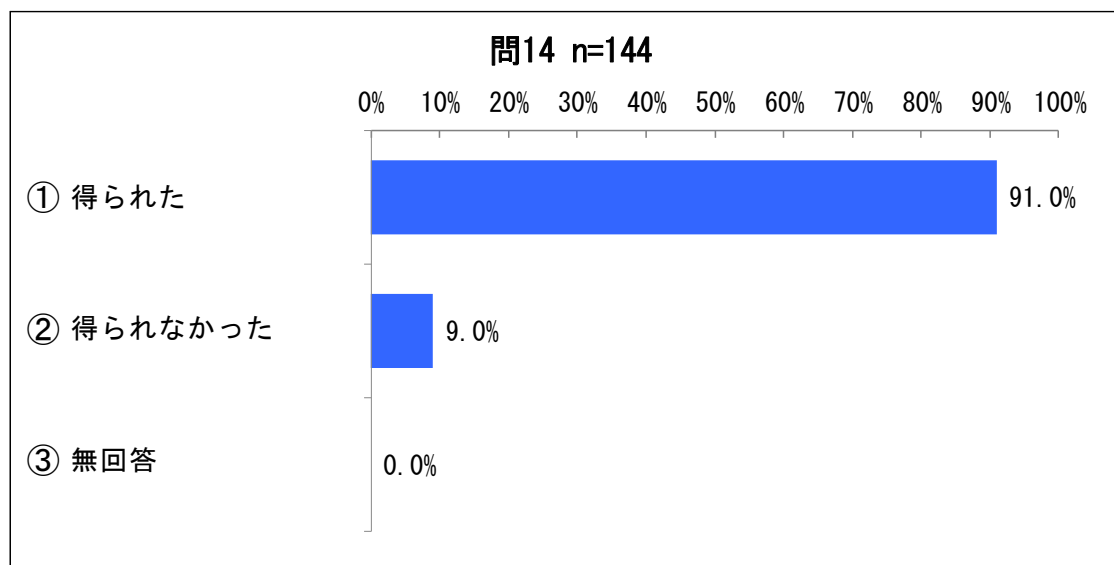


<調査結果>

世田谷区役所の手続きや制度、施設、イベント等を調べる際、どのような方法で問い合わせ等を行うかについて聞いたところ、「区ホームページのFAQページで検索」(56.3%)が5割半ばと最も高く、以下、「担当部署に電話」(33.3%)、「来庁して直接」(21.8%)などと続く。

問14.問 13 で「1～11」のいずれかを選択された方にお聞きします。

お問い合わせに対して、満足な回答を得られましたか。(○は1つ)



<調査結果>

問 13 で世田谷区にお問い合わせをしたことがある方(「1～11」を選択した方)に、お問い合わせに対して満足な回答を得られたか聞いたところ、「得られた」(91.0%)が9割を超えている。

問15.問 14 で「1.得られた」又は「2.得られなかった」を選択された理由をご記入ください。(記述回答)

満足な回答を得られた主な理由 (全 102 件)

(主な意見)

- 的確な回答が得られた。(他 40 件)
- HP で情報が確認できた。(他 29 件)
- 丁寧な対応であった。(他 28 件)
- 対応が迅速だった。(他 5 件)

満足な回答を得られなかった主な理由 (全 22 件)

(主な意見)

- HP で適切な情報が得られなかった・わかりづらい。(他 11 件)
- 対応が丁寧ではなかった。(他 2 件)
- 適切な情報が得られなかった。(他 3 件)
- 時間がかかる。(他 4 件)
- 担当者により対応に差がある。(他 2 件)

その他 (全 12 件)

(主な意見)

- ホームページで検索した場合、自分が必要としている情報がすべて得られているかどうか不明である。検索もれがあるかもしれないと思う。
- こみいった話など、窓口の方がよいと判断した場合は、訪庁するようにしています。

問16.区へのお問い合わせの際の困りごとやご要望等をご記入ください。

(記述回答)

問い合わせの対応について (全 47 件)

(主な意見)

- 電話問い合わせの充実・改善。(他 15 件)
- ウェブ問い合わせの充実。(他 13 件)
- 迅速で丁寧な対応。(他 7 件)
- 対応時間延長、対応場所の充実。(他 5 件)
- 担当部署の連携。(他 5 件)
- 担当部署が分かりにくい。(他 2 件)

広報活動について (全 11 件)

(主な意見)

- 広報、情報発信の充実。(他 6 件)
- HP が分かりにくい。(他 5 件)

その他 (全 13 件)

(主な意見)

- 仕事が終わって区に問い合わせすると終了しているので、せたがやコールは今後も継続して欲しい。

特になし (全 21 件)

第3回区政モニターアンケート結果

令和6年9月実施

1. 調査目的

■「生涯の学びについて」

教育政策・生涯学習部 生涯学習課

区では、実施計画において「常に学ぶ区民意識の涵養※と社会参加の促進」を掲げ、区民が年齢を問わず学び続け、いつでも学び直しができるように、学びの機会の充実を目指すとともに、生涯を通じて主体的に学んだ成果を積極的に生かすことのできる地域づくりを目指しています。

「生涯学習」について意見を伺い、区の施策に反映するため、アンケートを実施しました。

※水が自然に染み込むように、無理をしないでゆっくりと養い育てること。

■「思春期世代のこころとからだの健康について」 世田谷保健所 健康推進課

思春期は、こどもから大人に変わっていく移行期全体を指すことばで、周りの影響を受けながら一人の大人として自分を確立する時期です。令和6年3月策定の健康せたがやプラン（第3次）において、成長期にある子ども・若者世代が基本的な生活習慣を整え、からだやこころの変化に気づき、自分自身を主体的に守ることができることを目標にしています。

区では、思春期世代のこころとからだの健康づくりに関する普及啓発に関する調査のため、アンケートを実施しました。

■「区役所のカフェレストランについて」 庁舎整備担当部 庁舎管理担当課

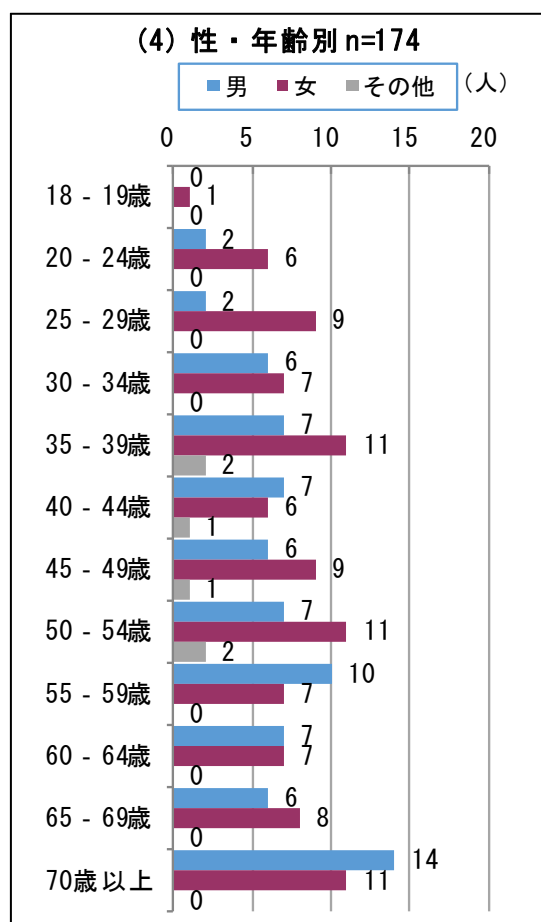
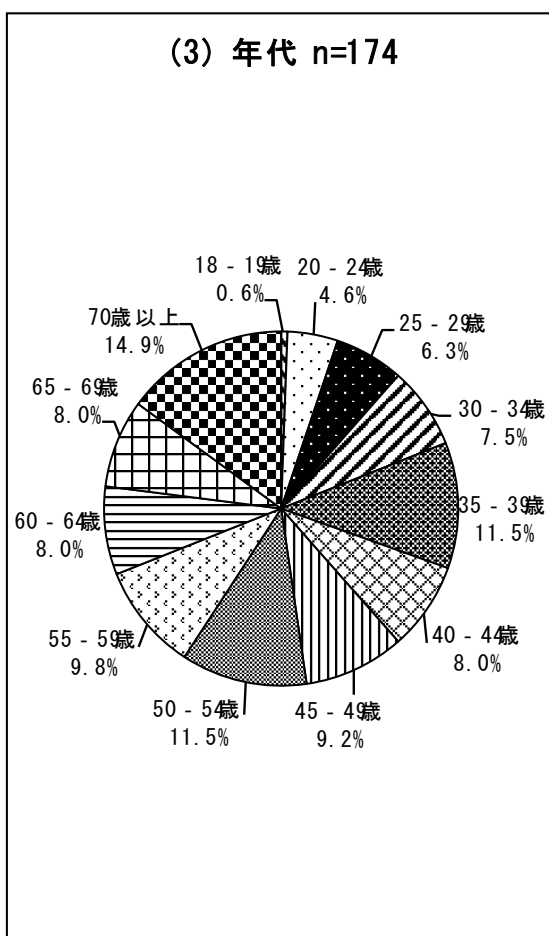
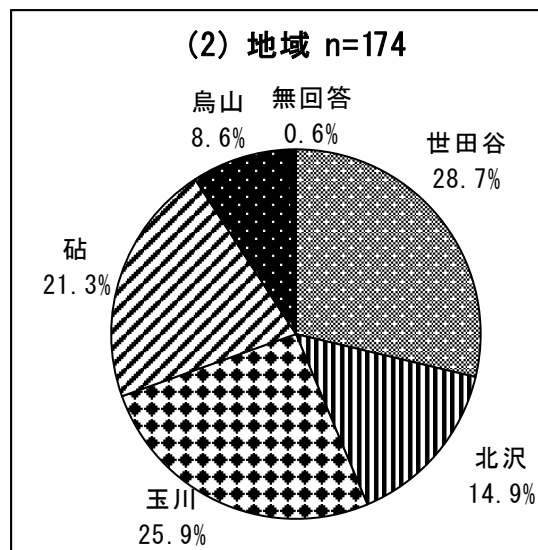
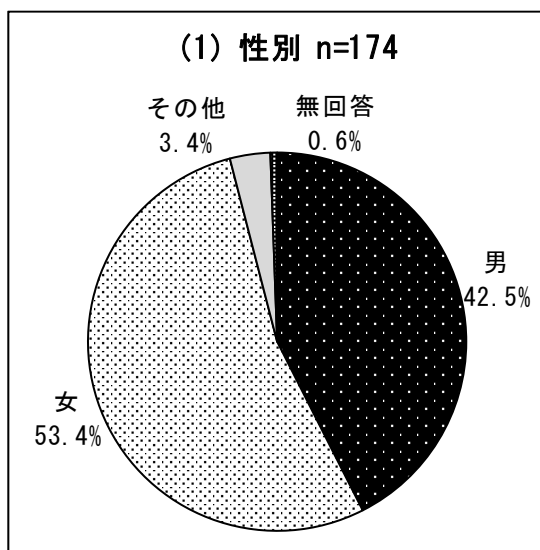
区では、現在、新たな本庁舎の建設を進めており、令和8年中旬に完成予定の第二期棟には、区民交流機能の促進や、職員、来庁者が利用する施設として、カフェレストランを整備します。

今後、運営事業者の選定を進めるにあたり、参考資料とするため、区政モニターアンケートを実施しました。

2. 調査設計

- (7) 調査対象 第20期区政モニター
- (8) 対象数 192人
- (1) 調査方法 郵送配布、郵送回収法及びEメールによる送受信
- (2) 調査期間 令和6年9月4日から9月18日
- (3) 有効回答数 174人（回収率90.6%）
- (4) 数値の見方 特に断りがない場合、すべての設問のn値は174である。
※n値とはサンプル数（アンケート回答件数）

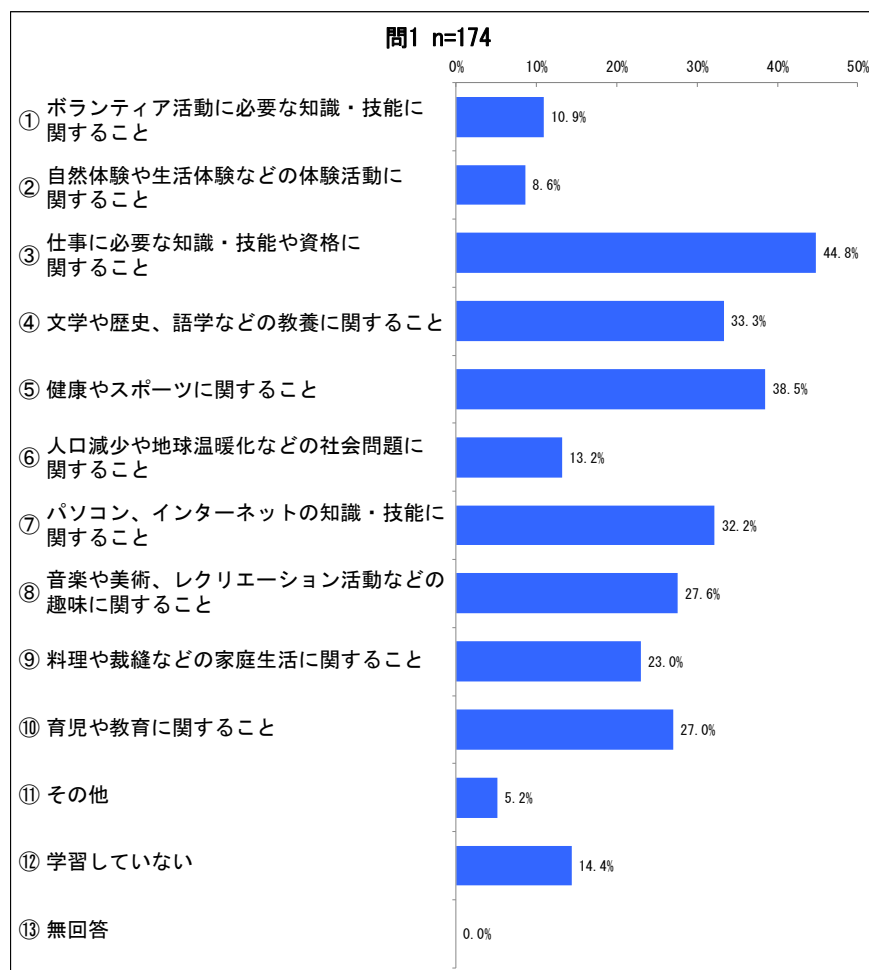
3. 標本構成



4. 質問と回答

■「生涯の学びについて」

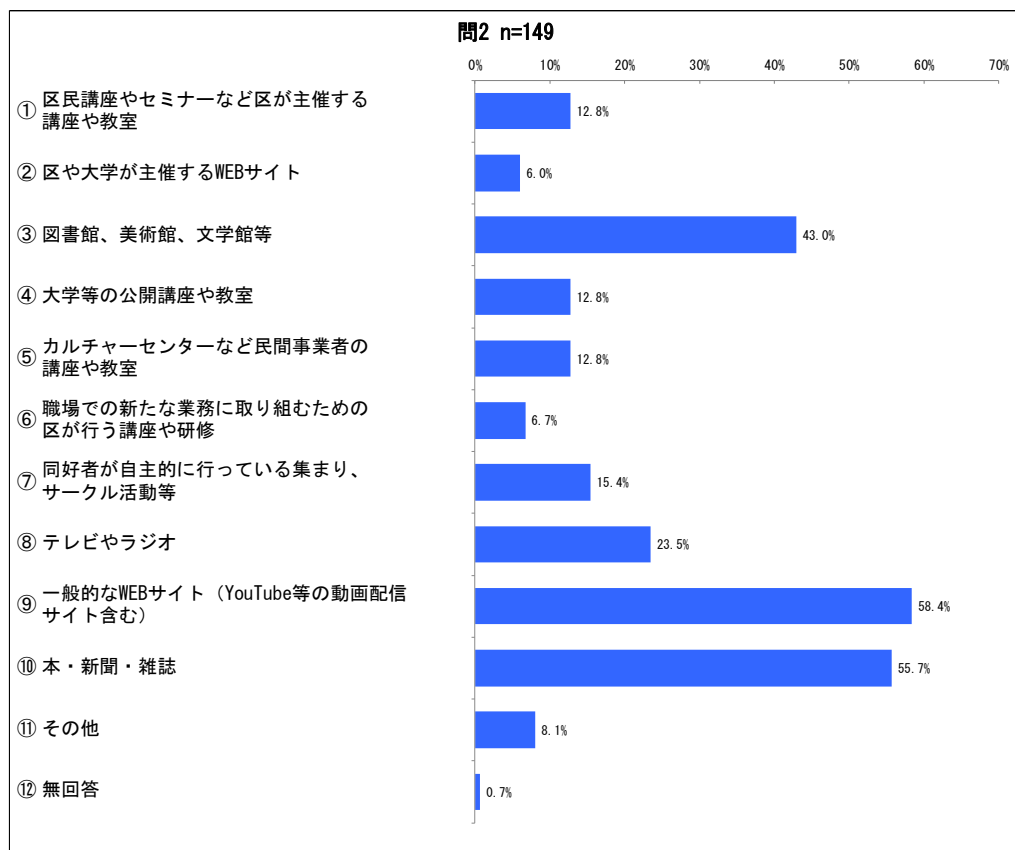
問1.学校教育以外の場において、この1年間に月1日以上の頻度で主にどのようなことを学びましたか。(〇はいくつでも)



<調査結果>

学校教育以外の場において、この1年間に月1日以上の頻度で主にどのようなことを学んだか聞いたところ、「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」(44.8%)が4割半ばと最も高く、以下、「健康やスポーツに関すること」(38.5%)、「文学や歴史、語学などの教養に関すること」(33.3%)などと続く。

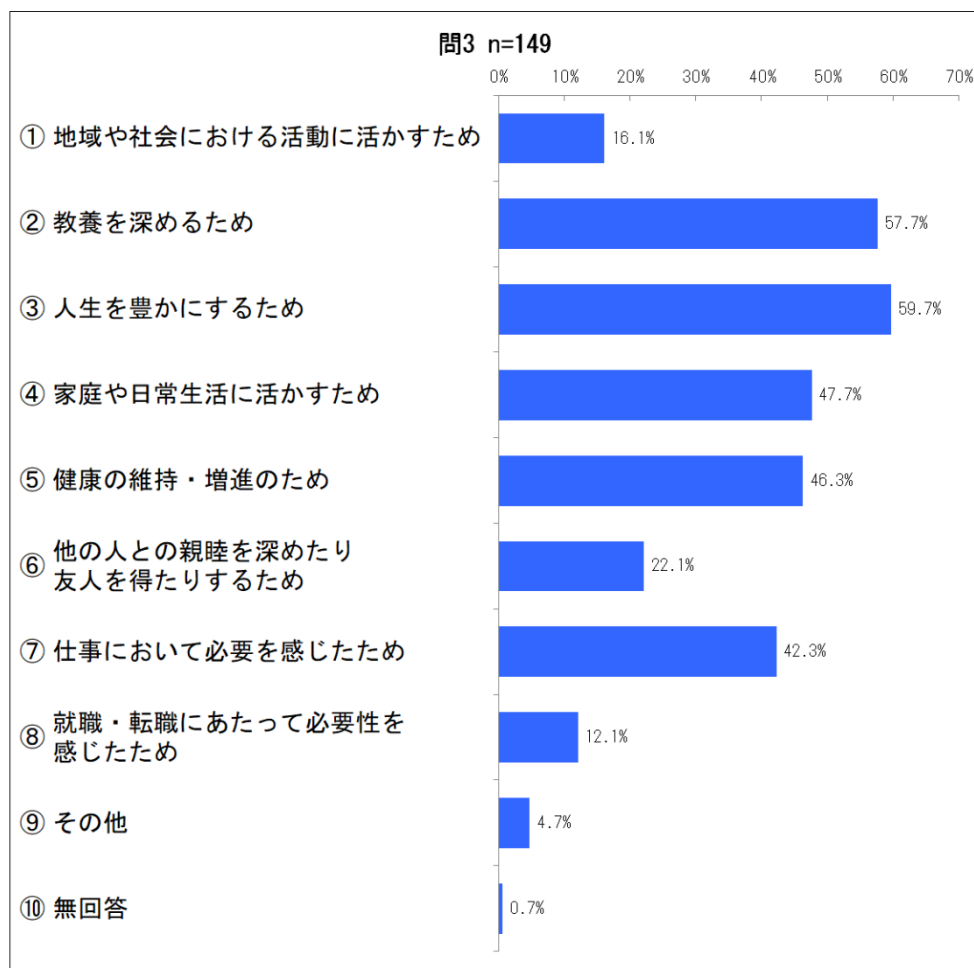
問2.問 1 で「1～11」を選択された方にお聞きします。主にどのような場所や形態で学びましたか。(〇はいくつでも)



<調査結果>

学校教育以外の場で学習経験があった方(149人)に、どのような場所や形態で学んだかについて聞いたところ、「一般的なWEBサイト(YouTube等の動画配信サイトを含む)」(58.4%)が6割近くと最も高く、以下、「本・新聞・雑誌」(55.7%)、「図書館、美術館、文学館等」(43.0%)などと続く。

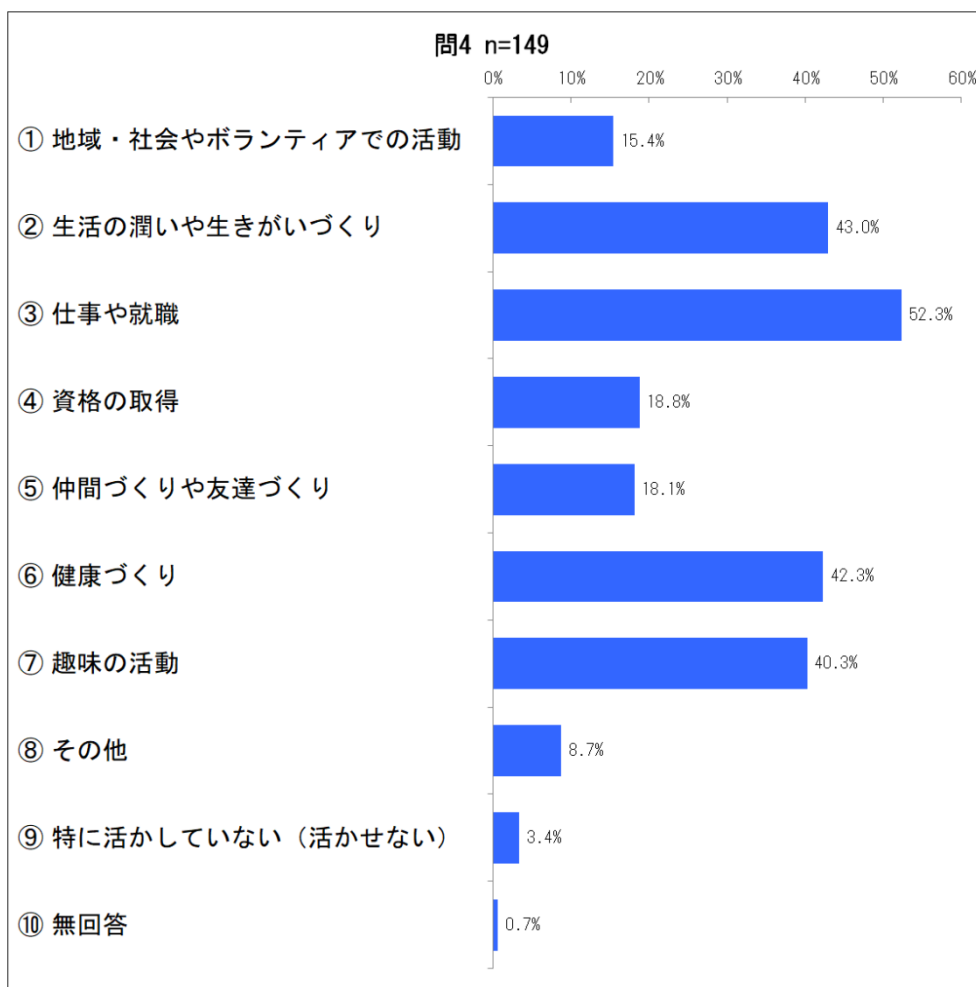
問3.問 1 で「1～11」を選択された方にお聞きします。学習した理由は何ですか。(〇はいくつでも)



<調査結果>

学校教育以外の場で学習経験があった方（149 人）に学習した理由について聞いたところ、「人生を豊かにするため」（59.7%）が6割と最も高く、以下、「教養を深めるため」（57.7%）、「家庭や日常生活に活かすため」（47.7%）などと続く。

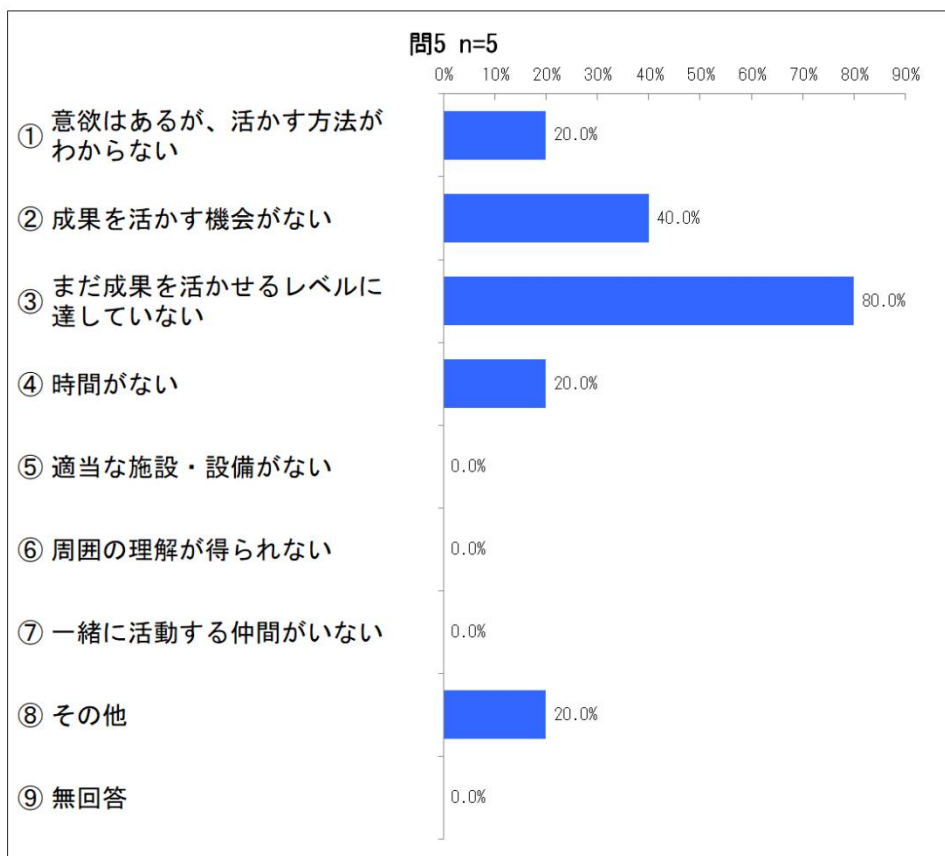
問4.問1で「1～11」を選択された方にお聞きします。学びの成果を主にどのような場面で活かしていますか。(〇はいくつでも)



<調査結果>

学校教育以外の場で学習経験があった方(149 人)に学びの成果を主にどのような場面で活かしているか聞いたところ、「仕事や就職」(52.3%)が5割を超え最も高く、以下、「生活の潤いや生きがいづくり」(43.0%)、「健康づくり」(42.3%)などと続く。

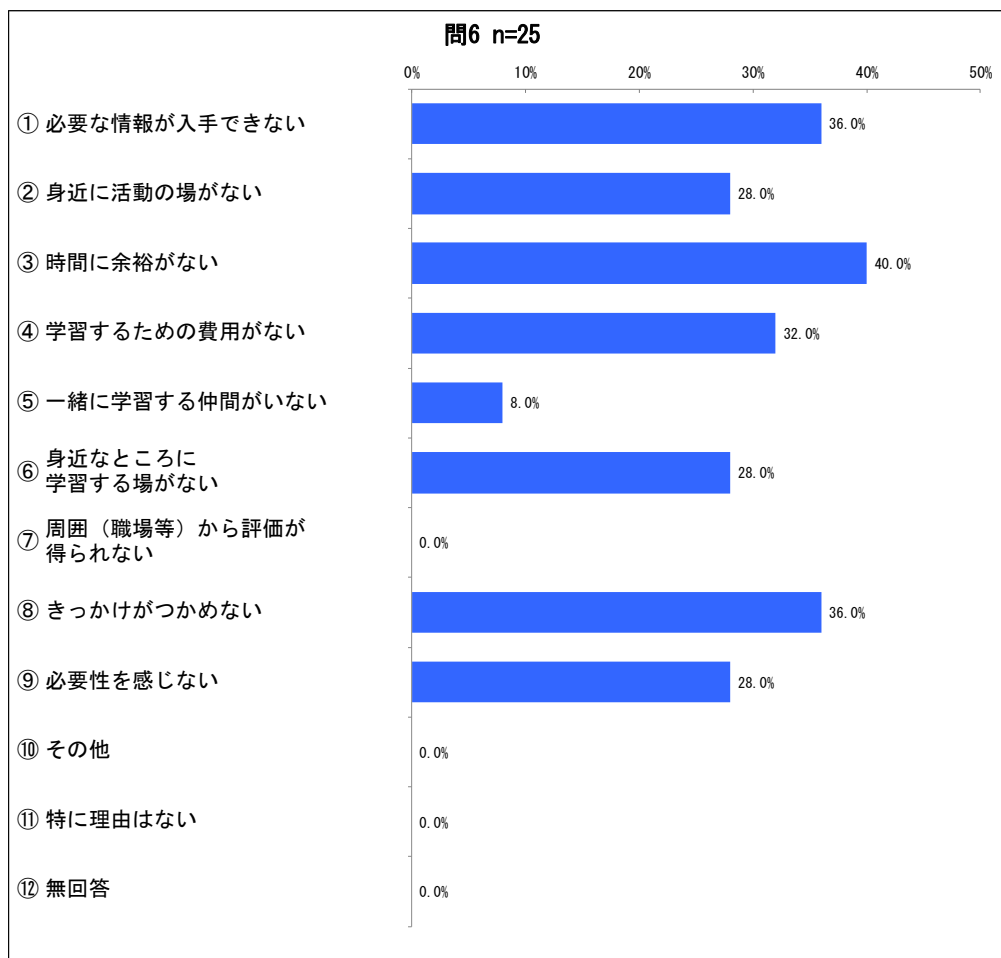
問5.問 4 で「9. 特に活かしていない（活かさない）」を選択された方にお聞きます。学びの成果を活かしていない（活かさない）理由は何ですか。
（○はいくつでも）



<調査結果>

学校教育以外の場での学びの成果を「特に活かしていない（活かさない）」と答えた方(5人)に学びの成果を活かしていない（活かさない）理由を聞いたところ、「まだ成果を活かせるレベルに達していない」(80.0%)が8割と最も高く、以下、「成果を活かす機会がない」(40.0%)、「意欲はあるが、活かす方法がわからない」「時間がない」(20.0%)などと続く。

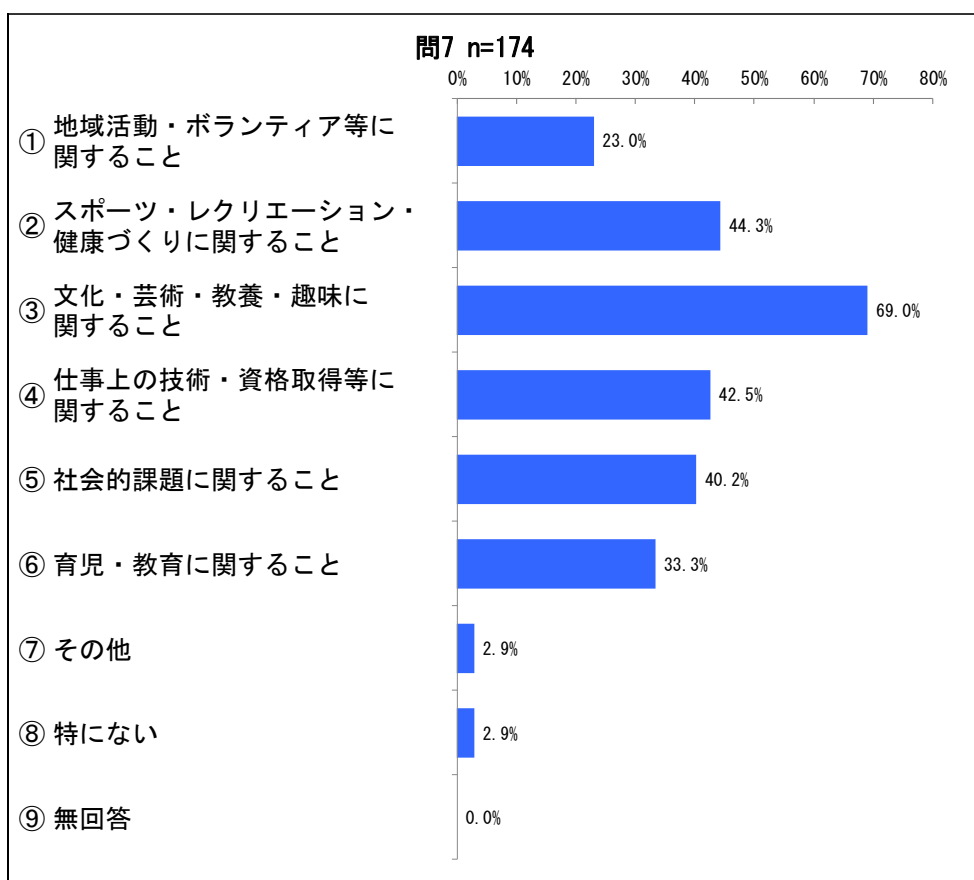
問6.問1で「12.学習していない」を選択された方に伺います。学習していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)



<調査結果>

学校教育以外の場で「学習していない」と答えた方(25人)に学習していない理由を聞いたところ、「時間に余裕がない」(40.0%)が4割と最も高く、以下、「必要な情報が入手できない」「きっかけがつかめない」(36.0%)、「学習するための費用がない」(32.0%)などと続く。

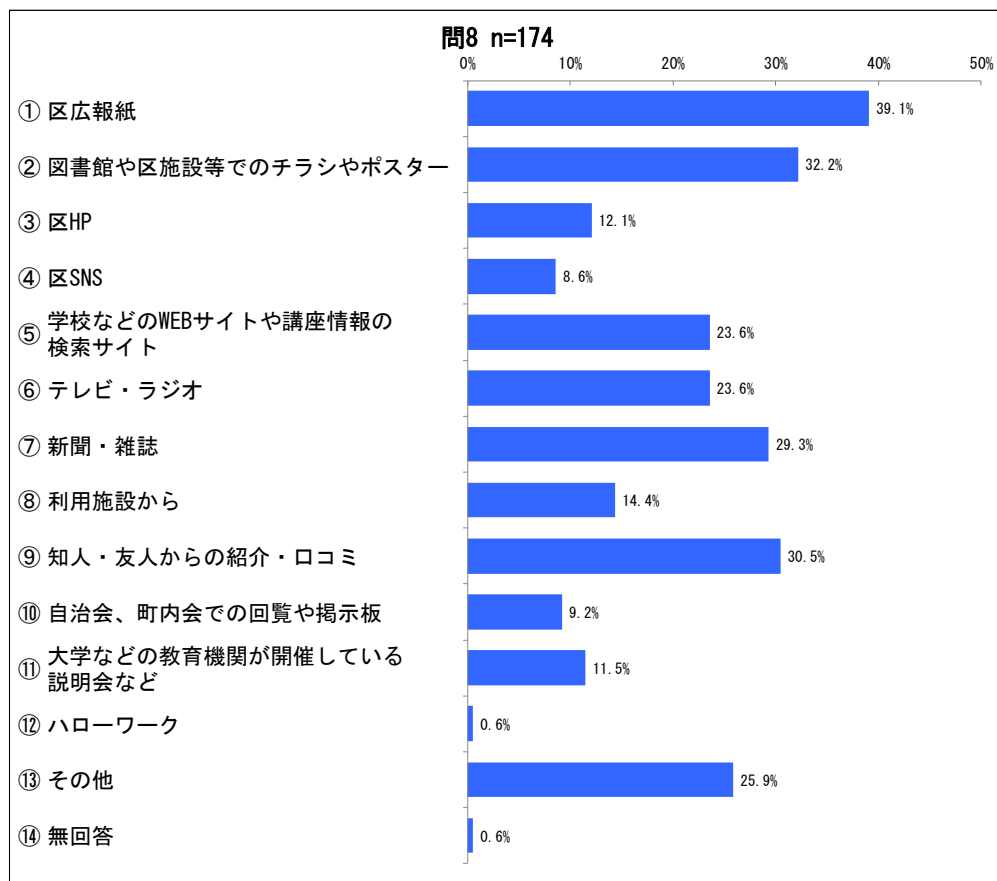
問7.今後学びたい学習の分野はどのようなものですか。(〇はいくつでも)



<調査結果>

今後学びたい学習の分野について聞いたところ、「文化・芸術・教養・趣味に関すること」(69.0%)がほぼ7割と最も高く、以下、「スポーツ・レクリエーション・健康づくりに関すること」(44.3%)、「仕事上の技術・資格取得等に関すること」(42.5%)などと続く。

問8.学習に関する情報を主にどのような手段で入手していますか。
(〇はいくつでも)



<調査結果>

学習に関する情報を主にどのような手段で入手しているか聞いたところ、「区広報紙」(39.1%)がほぼ4割と最も高く、以下、「図書館や区施設等でのチラシやポスター」(32.2%)、「知人・友人からの紹介・口コミ」(30.5%)などと続く。

問9.生涯にわたる学びをより盛んにしていくために、区はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。ご自由にお書きください。(記述回答)

学ぶ環境の整備について (全 60 件)

(主な意見)

- 日時、環境、条件等を改善し、イベント、講座等に参加しやすくする。(全 38 件)
- 施設(図書館、科学館、博物館等)の充実、環境整備。(全 12 件)
- 区内大学との連携。(他 2 件)

講座・イベントの開催について (全 50 件)

(主な意見)

- イベント、講座等を開催し、学習の機会を提供する。(他 41 件)
- オンラインでのイベント開催。(他 9 件)

情報発信、PR について (全 45 件)

(主な意見)

- もっとどんな教室があるのか、積極的に発信して欲しい。
- 区の Web や SNS でもっと積極的に情報を発信すべきかと思います。

金銭的なサポートについて (全 25 件)

(主な意見)

- 学ぶための費用に金銭的な補助を行う。(他 13 件)
- 無料、低価格で講座を実施する。(他 12 件)

高齢者の人材活用 (全 3 件)

(主な意見)

- 知識やスキルを持っているこの方たちを活用する事で、社会共生につながります。

その他の内容 (全 12 件)

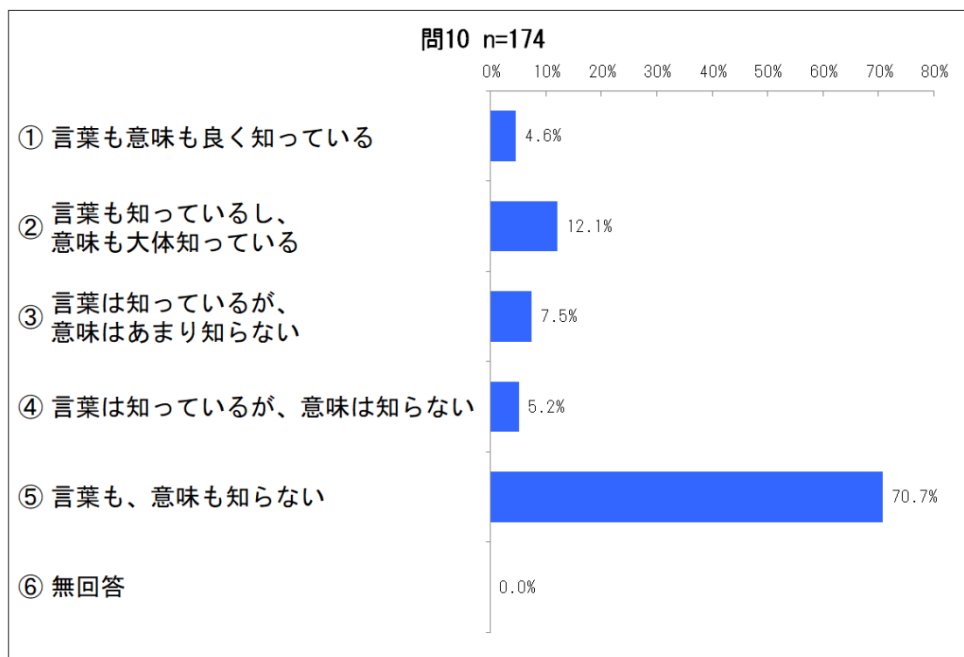
(主な意見)

- 学習しても社会参加になかなか繋がらないので、学んだ後、社会参加に繋がる事業も計画してほしい。

特になし (全 2 件)

■ 「思春期世代のこころとからだの健康について」

問10.リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利）を知っていますか。（○は1つ）

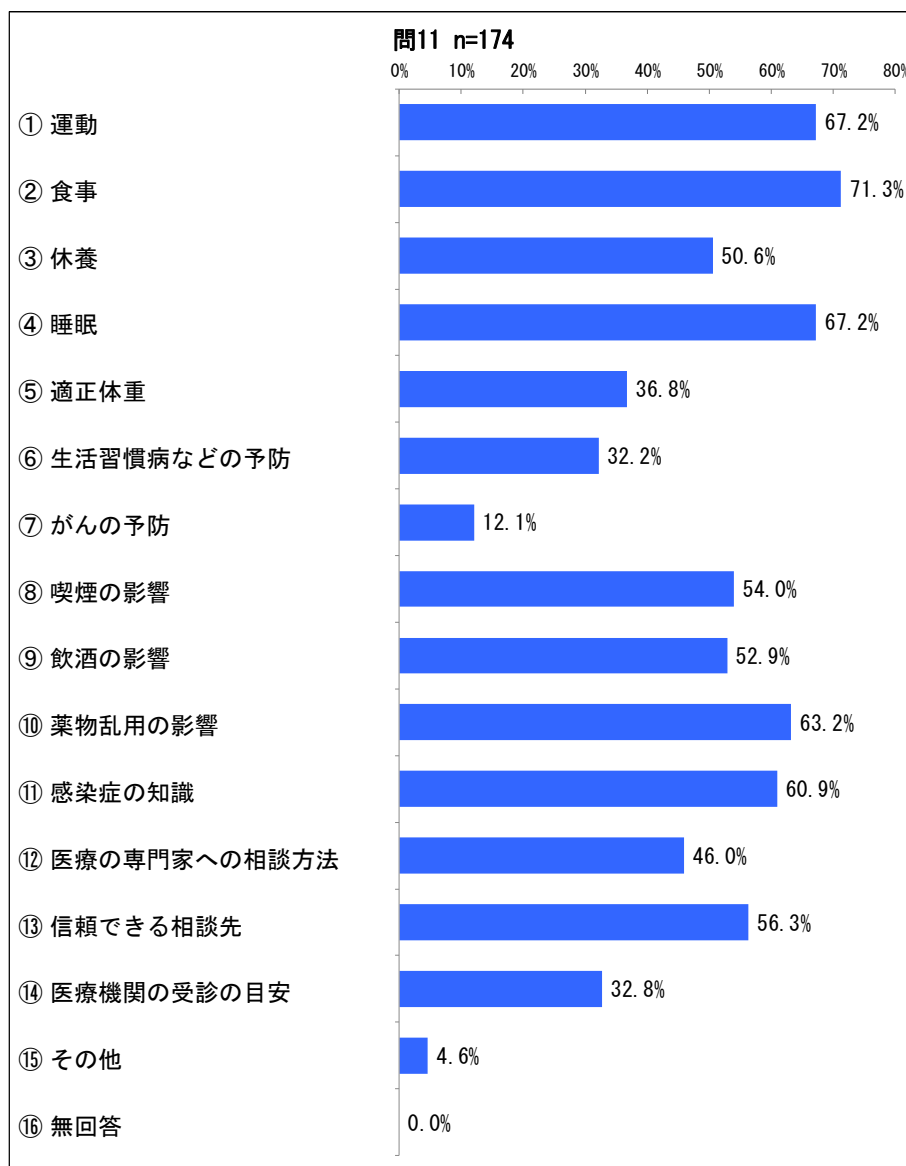


<調査結果>

リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利）を知っているか聞いたところ、「言葉も、意味も知らない」（70.7%）がほぼ7割と最も高く、以下、「言葉も知っているし、意味も大体知っている」（12.1%）、「言葉は知っているが、意味はあまり知らない」（7.5%）などと続く。

問11.思春期世代（※）の「からだの健康」のために、どのような内容の情報や教育が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

（※）思春期世代：個人差はありますが、一般的にはおよそ10歳から18歳までの心身に起こる変化が急激な時期を指します。



<調査結果>

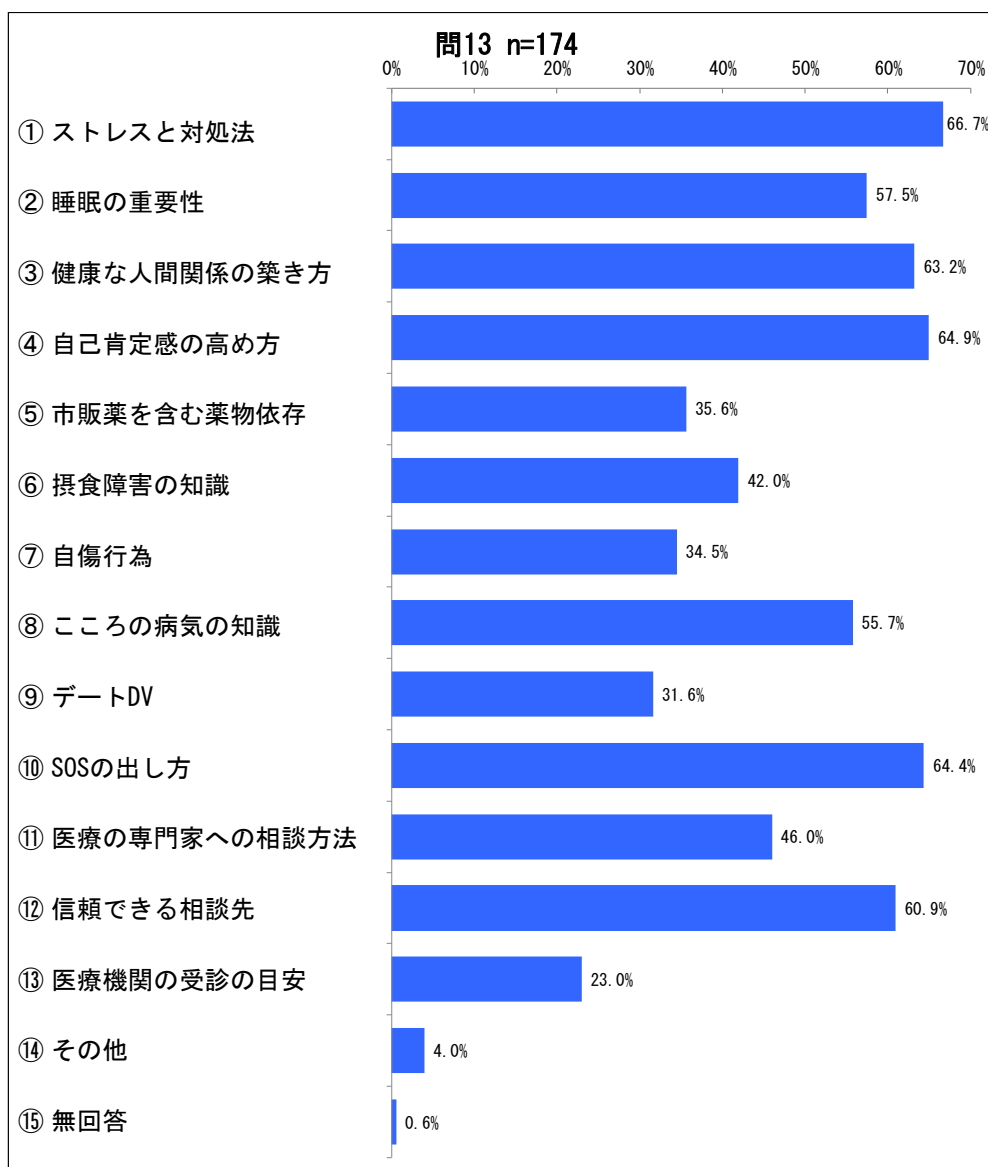
思春期世代の「からだの健康」のためにどのような内容の情報や教育が必要だと思うか聞いたところ、「食事」（71.3%）が7割を超え最も高く、以下、「運動」「睡眠」（67.2%）、「薬物乱用の影響」（63.2%）などと続く。

問12.問 11 で「15.その他」を選択された方にお聞きします。具体的な内容について、ご記載ください。(記述回答)

(主な意見) (全 8 件)

- 思春期にこそ性差なくお互いの性について理解を深めるべきだと考えています。
- 長年の習慣や癖になってしまったことを変えるのはとても困難なのでからだで作られている子どもの頃にプロから指導される機会があるとその後の生涯に大きく影響があるだろうと考えます。
- 救急救命措置を、早い時期から学校の保健体育の時間に教えること。
- 性や家族の多様性に関する具体的な情報の早期提供が重要だと思います。性的少数者の性自認や性的指向も人間の多様な性の一形態であり、性的少数者であっても家族を形成し、子供を持てること、子育てに参加できること(里親制度等)などを積極的に伝え、自己肯定感や将来への希望を育めるようにすることが重要だと思います。

問13.思春期世代の「こころの健康」のために、どのような内容の情報や教育が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



<調査結果>

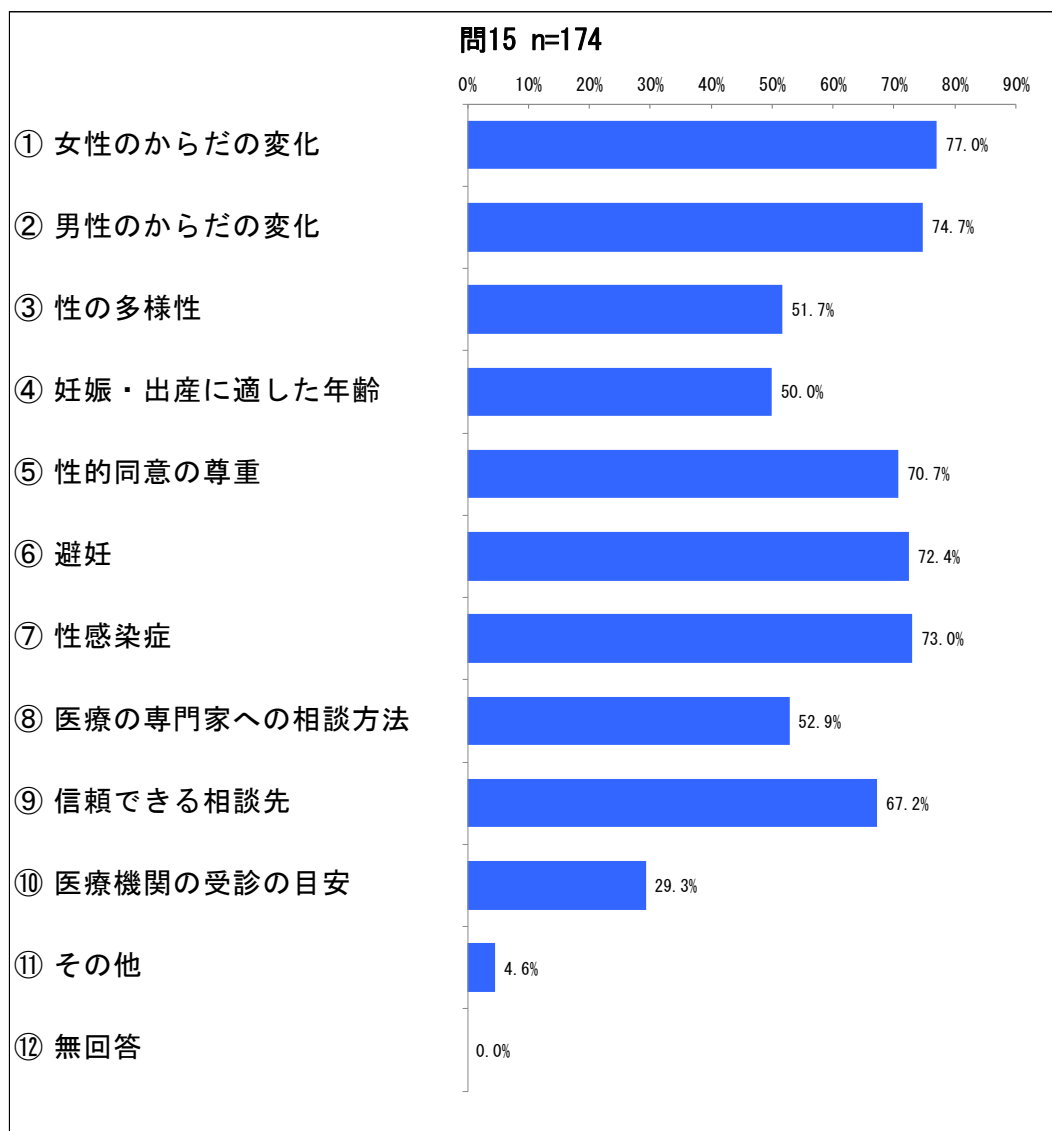
思春期世代の「こころの健康」のために、どのような内容の情報や教育が必要だと思うか聞いたところ、「ストレスと対処法」(66.7%)が7割近くと最も高く、以下、「自己肯定感の高め方」(64.9%)、「SOSの出し方」(64.4%)などと続く。

問14.問 13 で「14.その他」を選択された方にお聞きします。具体的な内容についてご記載ください。(記述回答)

(主な意見) (全 7 件)

- 守秘義務が完全であり、対策のとれる機関の設置と周知が必要です。「相談窓口はこちら」だけでは一部の対象者しか利用しません。また、スマホの保有率は高い訳ですから、相談の窓口はアプリから行い、その返信は即座に返ってくることに、機械的な返信ではなく、担当部門の人が返すことが肝要だと思います。
- 生命と自分を大事にする性教育。
- 学校の教職員や保護者以外に、違う価値観で生きている大人をより多く知るための教育。ネットではなくリアルで、多様な生き方や話を(無料や安価で)聞ける機会や場についての情報。

問15.思春期世代の「性の健康」のために、どのような内容の情報や教育が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



<調査結果>

思春期世代の「性の健康」のために、どのような内容の情報や教育が必要だと思うか聞いたところ、「女性のからだの変化」(77.0%)が8割近くと最も高く、以下、「男性のからだの変化」(74.7%)、「性感染症」(73.0%)などと続く。

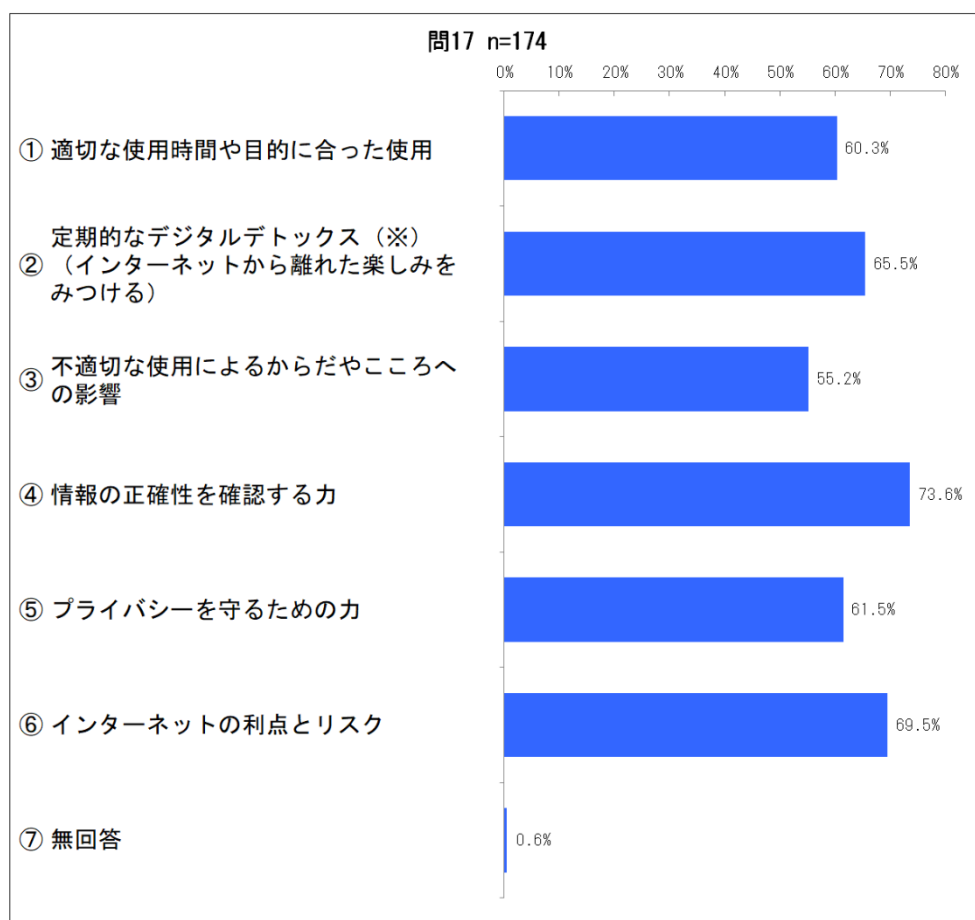
問16.問 15 で「11.その他」を選択された方にお聞きします。具体的な内容について、ご記載ください。(記述回答)

(主な意見) (全 8 件)

- 自己決定、性的な多様性を誰かのこととしてではなく、人はみな多様であること、誰にも SOGI があること、それを自分事として考える機会。
- 性の多様性に関しては、より詳しい情報提供が重要です。たとえば、近年ようやく認知されるようになってきた「アセクシャル」のこと。
- また、トランスジェンダーの当事者が身体に違和感をもち強く苦悩するようになるのは思春期の第二次性徴の頃なので、性別違和に関する説明と相談先等の情報提供は重要です。
- インターセックスに関しても、この時期に知識を伝えておくのが必要と思います。近年のオリ・パラや競技スポーツの場では、トランスジェンダーやインターセックスの人々が、マジョリティの偏見や理解不足のために強いバッシングを受ける事態がしばしば起きています。当事者に限らずマジョリティの子供たちに対しても、正しい知識を伝えておくことは差別偏見の予防策として極めて重要と思います。
- 無理に教える必要は無い。時期が来れば自然と身に着く。

問17.インターネットの普及により、長時間の使用や誤った情報の選択による健康問題が生じています。適切な使用と健康維持のためにどのような知識が必要だと感じますか。(○はいくつでも)

(※) デジタルデトックス：デジタル機器やスマートフォンから一定期間離れて、心身の疲労やストレスを軽減する取り組み。(脱インターネット、脱スマホ)



<調査結果>

インターネットの適切な使用と健康維持のためにどのような知識が必要だと感じるか聞いたところ、「情報の正確性を確認する力」(73.6%)が7割を超え最も高く、以下、「インターネットの利点とリスク」(69.5%)、「定期的なデジタルデトックス (※) (インターネットから離れた楽しみを見つける)」(65.5%)などと続く。

問18.思春期世代は悩みを抱えても相談しないことが課題となっています。
 解決が難しい悩みを抱えたときにどのような対策が有効だと思いますか。
 意見をご記入ください。(記述回答)

相談出来る場所の充実 (全 113 件)

(主な意見)

- 気軽な相談先(チャット、SNS 等)の充実。(他 36 件)
- 安心できる相談先(匿名等)の充実。(他 34 件)
- 多様な相談先(家庭学校以外の相談先、専門家等)の充実。(他 33 件)
- 専門機関につながる仕組み。(他 6 件)
- 専門家の質の向上、待遇改善。(他 4 件)

周囲のサポート等 (全 29 件)

(主な意見)

- 日頃から相談しやすい関係を構築する。(他 13 件)
- 相談は恥ずかしいことではないという意識付け。(他 8 件)
- 家族等に思春期世代の悩みに関わる教育機会を提供する。(他 5 件)
- 家族や周りの変化に気が付く。(他 3 件)

情報発信の充実 (全 24 件)

(主な意見)

- SNS を活用した相談に関する情報発信を行う。

居場所の充実 (全 14 件)

(主な意見)

- 学校、家庭以外の居場所があること。

その他(全 14 件)

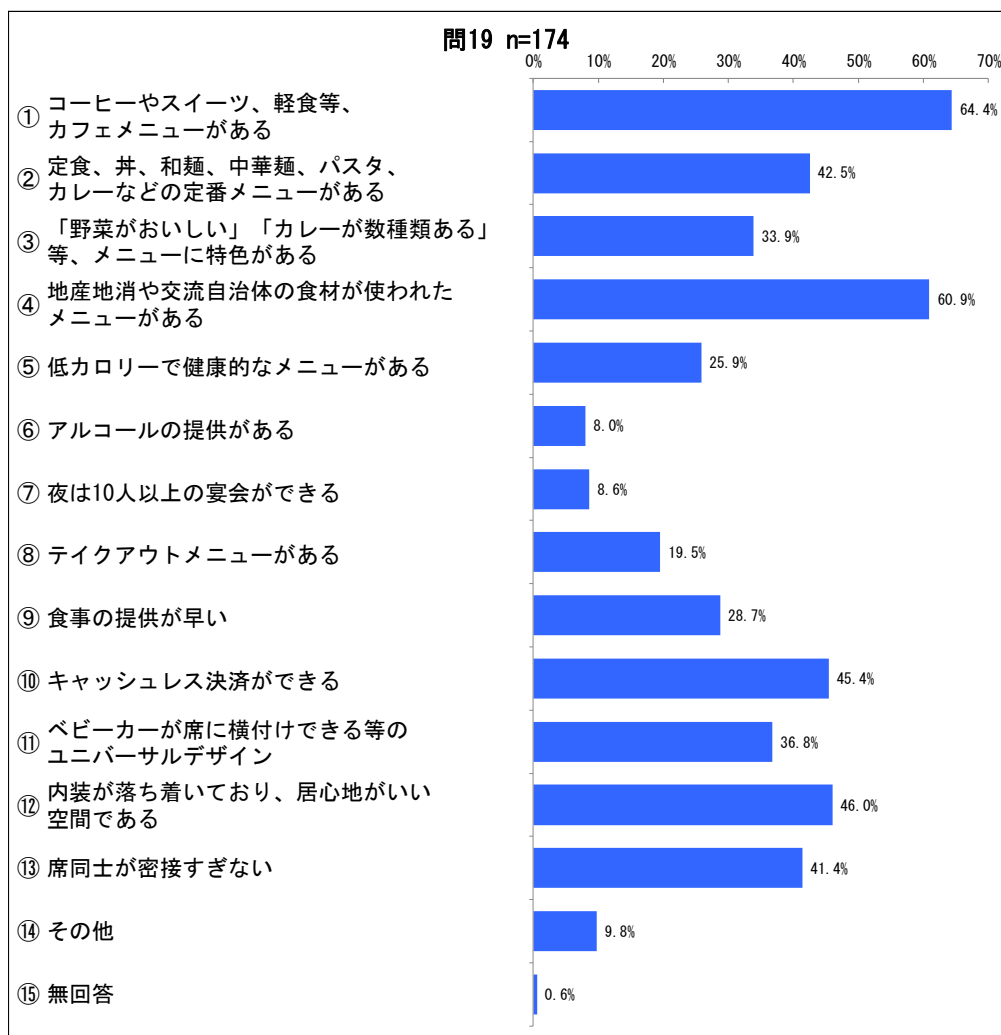
(主な意見)

- スマホに向かう時間ばかり増えた為のマイナス効果のひとつだと思います。
- 他のことにも視野を向ける機会の創出。

特になし・わからない(全 2 件)

■「区役所のカフェレストランについて」

問19.区役所のカフェレストランを利用する際に、評価する点はどれですか。
(○はいくつでも)



<調査結果>

区役所のカフェレストランを利用する際に、評価する点を聞いたところ、「コーヒーやスイーツ、軽食等、カフェメニューがある」(64.4%)が6割半ばと最も高く、以下、「地産地消や交流自治体の食材が使われたメニューがある」(60.9%)、「内装が落ち着いており、居心地がよい空間である」(46.0%)などと続く。

問20.世田谷区の新しい本庁舎に、令和8年度中に開業予定のカフェレストランについて、ご意見やご要望があれば、どのようなことでも構いませんので、ご自由にお書きください。(記述回答)

設備・内装・雰囲気について (全 65 件)

(主な意見)

- 設備、内装(Wi-Fi、席の配置、駐車場等)の充実。(他 29 件)
- 誰でも利用しやすい雰囲気づくり。(他 13 件)
- 子どもに優しい環境である(子ども用椅子・食器、キッズスペース、おむつ替えスペース等)。(他 10 件)
- 憩いの場、コミュニティの場がある。(他 7 件)
- バリアフリーの充実。(他 6 件)

提供される食事・メニューについて (全 51 件)

(主な意見)

- 地産地消のメニュー、コラボメニュー等がある。(他 27 件)
- テイクアウト、スイーツ、お土産等がある。(他 12 件)
- 提供される食事の充実(美味しさ、見た目、栄養バランス)。(他 10 件)
- 栄養素、アレルギー等の表示がある。(他 2 件)

価格について (全 36 件)

(主な意見)

- リーズナブルな価格設定。(他 31 件)
- 割引(区民割引、高齢者割引等)、サービス(駐車場無料等)の設定。(他 5 件)

カフェレストランの運営方法について (全 32 件)

(主な意見)

- (席数、利用時間等) ゆっくり利用できること。(他 19 件)
- 営業時間の充実(早朝、夜間、休日の営業)。(他 6 件)
- キャッシュレス、デジタル通貨等の決済方法の充実。(他 4 件)
- (フードロスや使用するお箸等) 環境への配慮。(他 3 件)

情報発信 (全 7 件)

(主な意見)

- 区報等でメニュー等のレストランの情報を周知してほしい。(他 7 件)

特になし・わからない (全 25 件)

第4回区政モニターアンケート結果

令和6年10月実施

1. 調査目的

■「熱中症予防対策及び災害時医療救護対策について」

世田谷保健所 健康企画課

近年の気温上昇や震災の発生を踏まえ、世田谷保健所において熱中症予防対策、災害時医療救護対策の取り組みを進めています。この熱中症予防対策及び災害時医療救護対策について、区民の皆様がどのような意識を持っているか調査し、区の施策に反映するため、アンケートを実施しました。

■「世田谷区の多文化共生について」

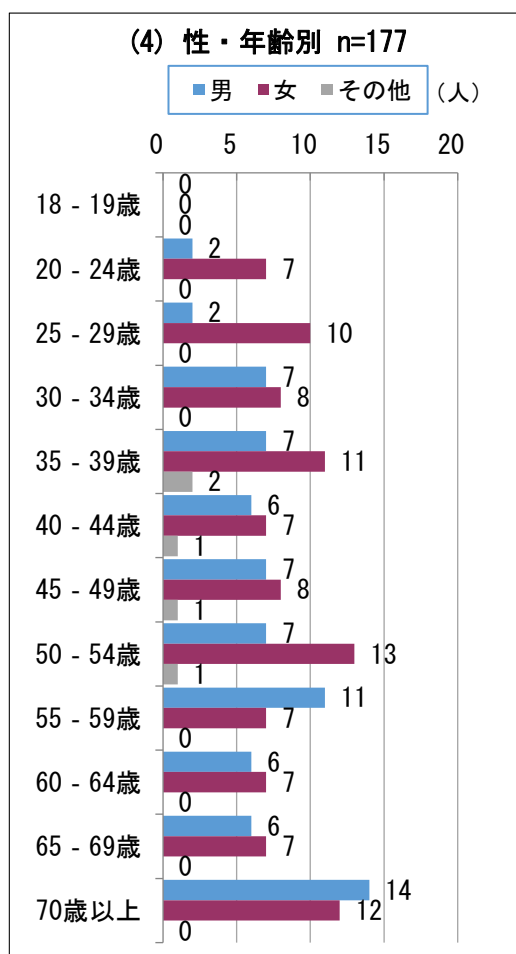
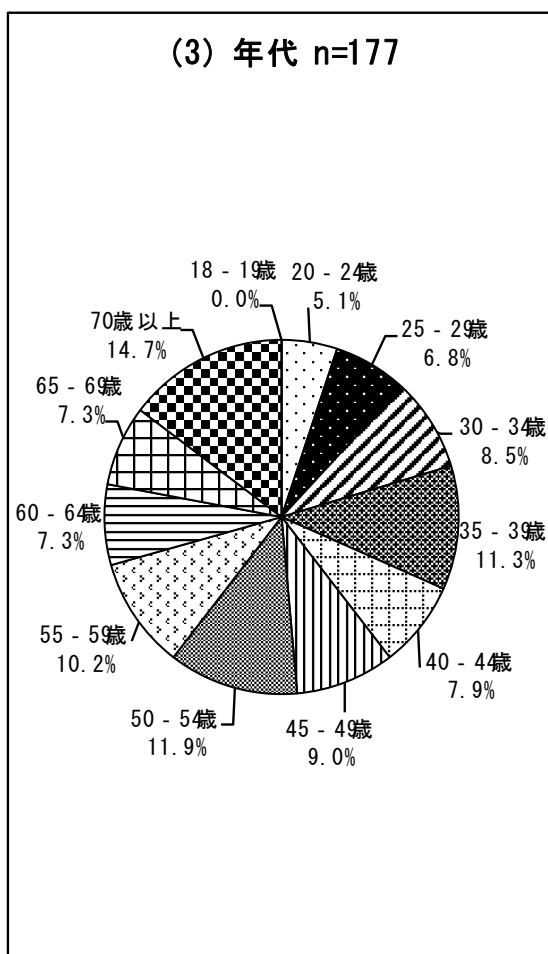
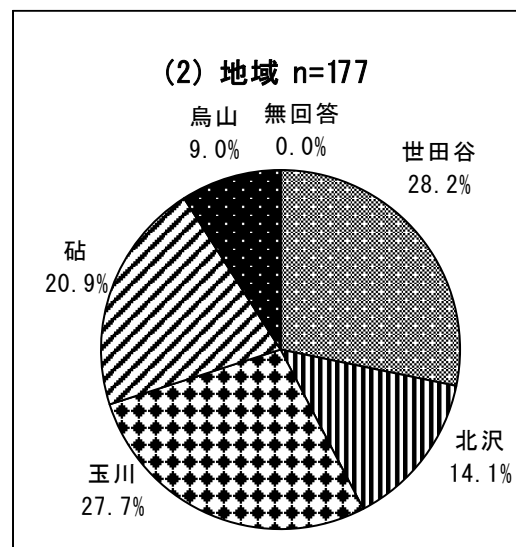
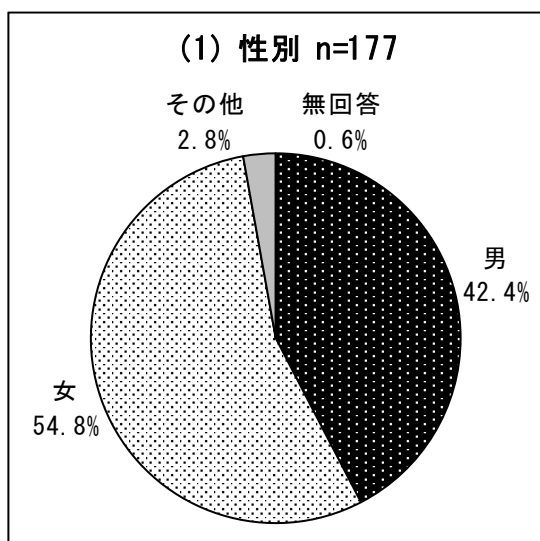
生活文化政策部 文化・国際課

区では、多文化共生施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和 6 年度～令和 9 年度を計画期間とする「世田谷区第二次多文化共生プラン」を令和 6 年 3 月に策定しました。プランの基本理念である「誰もが共に参画・活躍でき、人権が尊重され、安心・安全に暮らせる多文化共生のまちせたがや」の実現に向け、区民の皆様が多文化共生についてどのような認識を持っているか調査し、区の多文化共生施策の参考とするため、アンケートを実施しました。

2. 調査設計

- | | |
|-----------|---|
| (1) 調査対象 | 第 20 期区政モニター |
| (2) 対象数 | 192 人 |
| (3) 調査方法 | 郵送配布、郵送回収法及び E メールによる送受信 |
| (4) 調査期間 | 令和 6 年 10 月 30 日から 11 月 13 日 |
| (5) 有効回答数 | 177 人（回収率 92.2%） |
| (6) 数値の見方 | 特に断りがない場合、すべての設問の n 値は 177 である。
※n 値とはサンプル数（アンケート回答件数） |

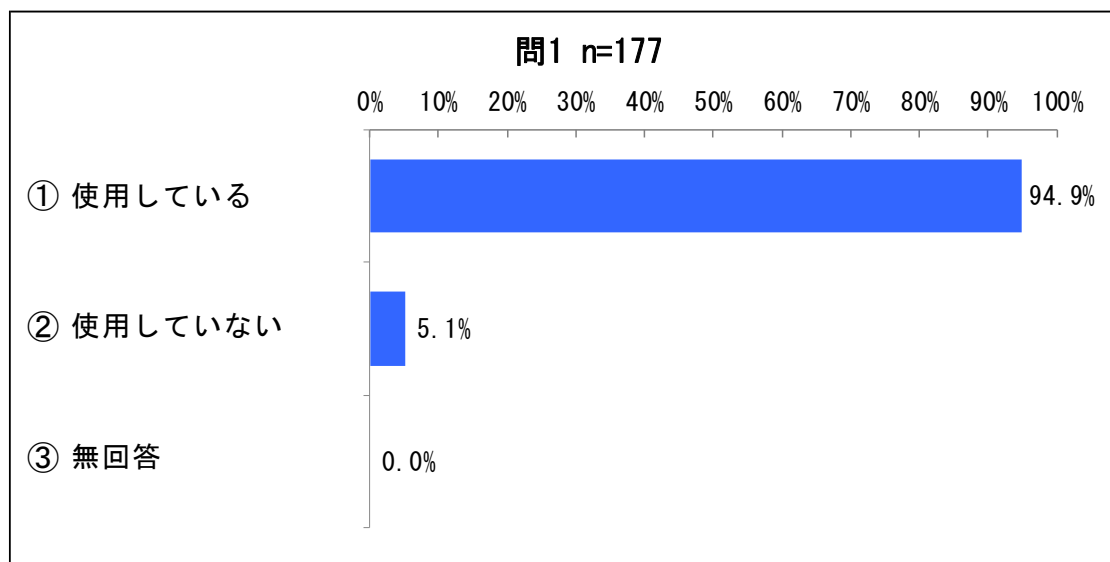
3. 標本構成



4. 質問と回答

■「熱中症予防対策について」

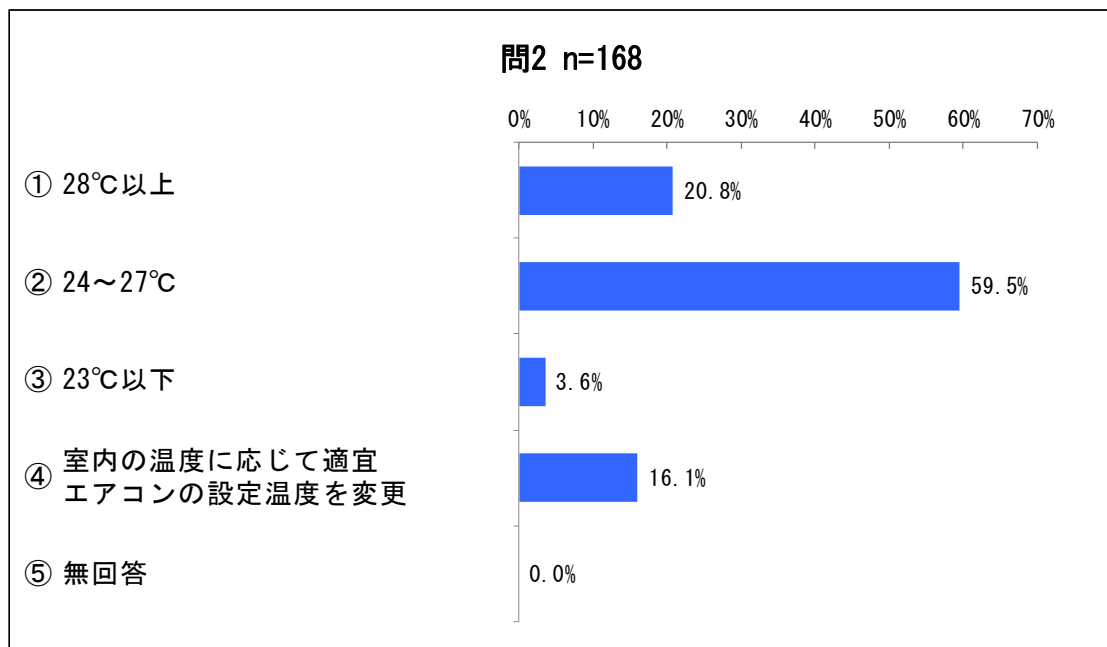
問1.エアコンについて、暑い日は就寝時も使用していますか。(○は1つ)



<調査結果>

エアコンについて、暑い日は就寝時も使用しているか聞いたところ、「使用している」(94.9%)が9割半ばとなっている。

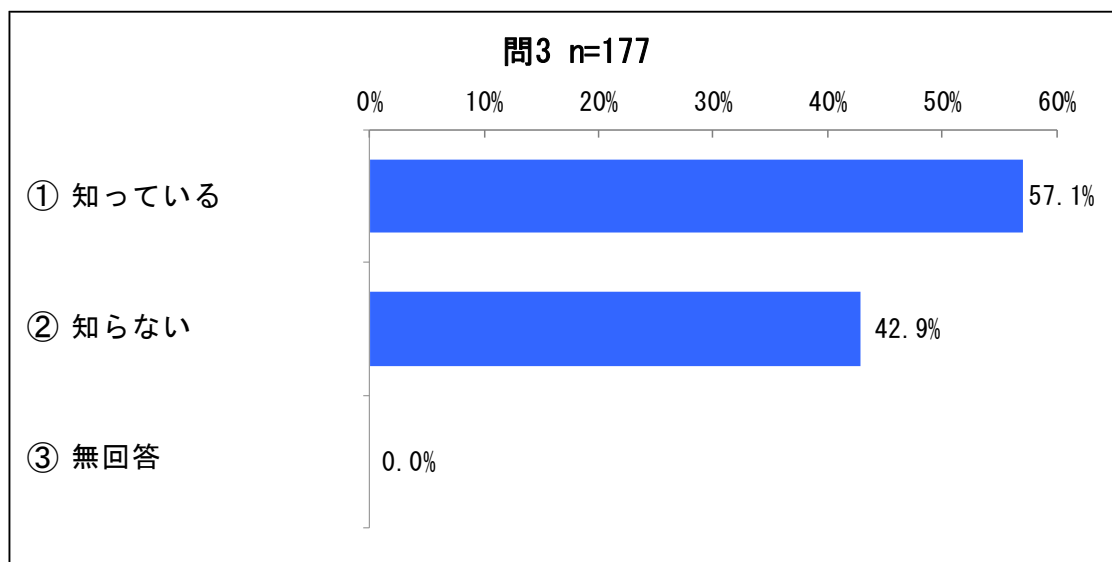
問2.問 1 で「1」を選択された方にお聞きします。エアコンの設定温度は何度にしていますか。(○は 1 つ)



<調査結果>

問 1 で「使用している」と答えた方(168 人)にエアコンの設定温度は何度にしているか聞いたところ、「24~27°C」(59.5%)が 6 割と最も高く、以下、「28°C 以上」(20.8%)、「室内の温度に応じて適宜エアコンの温度設定を変更」(16.1%)などと続く。

問3.世田谷区で実施している「お休み処」（開設時期：6 月中旬～9 月下旬）の取組みを知っていますか。（○は1つ）



<調査結果>

世田谷区で実施している「お休み処」（開設時期：6 月中旬～9 月下旬）の取組みを知っているか聞いたところ、「知っている」（57.1%）が6割近くとなっている。

問4.令和5年の熱中症による死亡者の8割以上が高齢者です。高齢者の方に夜間でもエアコンをつけてもらうためにどのような取り組みを行うことが良いでしょうか。(記述回答)

周知・啓発活動 (全128件)

(主な意見)

- ポスター掲示、新聞、テレビ等による情報発信。(他35件)
- エアコンを使用しない場合の危険性の周知。(他26件)
- 家族、地域住民、かかりつけ医等からの声掛け。(他24件)
- エアコンは電気代が高いというイメージの払拭。(他14件)
- 年齢に伴う気温の感じ方の変化に関する周知。(他8件)

電気代／エアコン購入助成等 (全46件)

(主な意見)

- 電気代下げる、窓を開けて寝ていると空き巣に危険など知らせる。
- 夜間の電気料金の補助や支援があるといいと思います。
- 本人ではなく、AIエアコンの普及が望ましい。あとは電気代の公的補助が有用と考えます。

エアコンの機能改良等 (全24件)

(主な意見)

- 温度計を配布して何度以上になったらつけるように指示する。
- 室内温度に応じて自動でエアコンを稼働するIoT機器・環境への補助
- 設定温度を決めて夜間にエアコンが自動的に入るようになるか、自動音声でエアコンの使用を促すような仕組みを作る。

その他 (全24件)

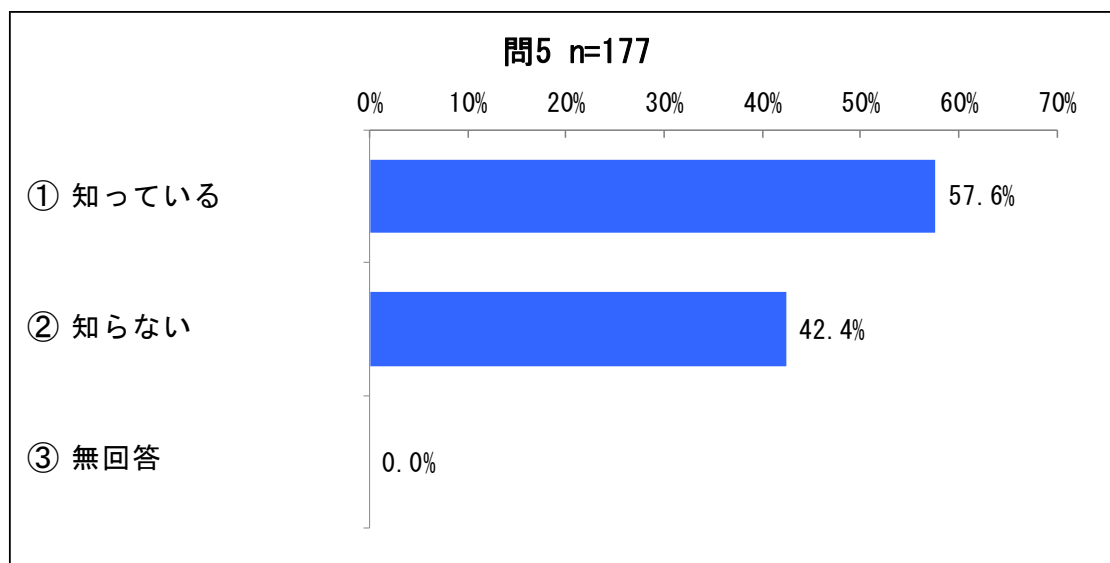
(主な意見)

- エアコンの使用だけでなく、扇風機やサーキュレーターの併用を進めると良いと思う。
- 熱中症対策になるグッズを付けてエアコン推奨のお知らせ(手紙など)を出す。
- メールが使える人には寝る前にエアコン、水分などの確認のメール配信あとお声がけしかないような気がします。

分からない (全2件)

■「災害時医療救護対策について」

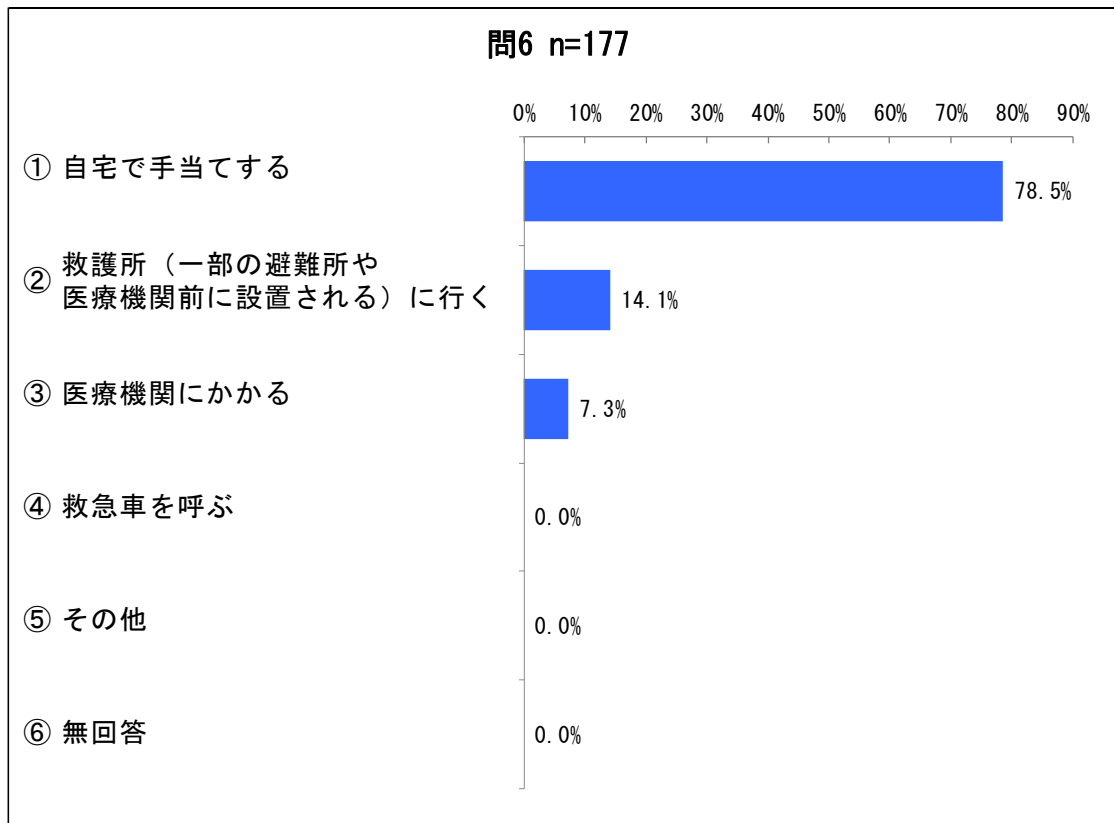
問5.大規模な震災が発生した場合、傷病者の対応を行うため、一部の避難所や医療機関に救護所が設置されることを知っていますか。(○は1つ)



<調査結果>

大規模な震災が発生した場合、傷病者の対応を行うため、一部の避難所や医療機関に救護所が設置されることを知っているか聞いたところ、「知っている」(57.6%)が6割近くとなっている。

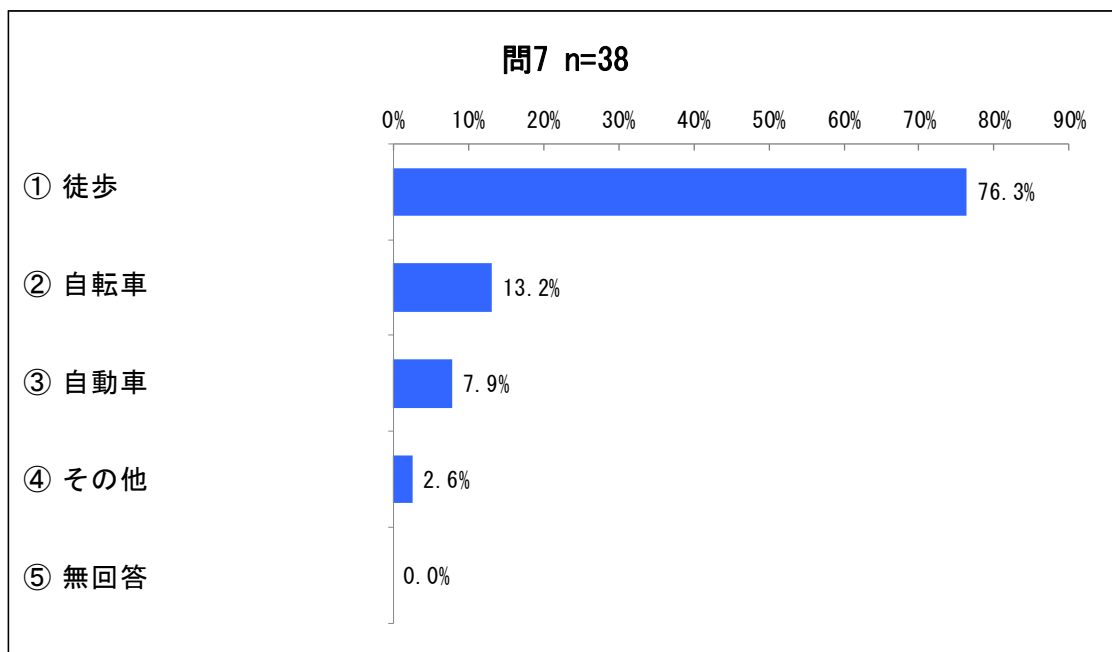
問6.地震が発生し、軽傷（切り傷、擦過傷、挫創、切創など）を負った場合に、どのように行動しますか。（○は1つ）



<調査結果>

地震が発生し、軽傷（切り傷、擦過傷、挫創、切創など）を負った場合に、どのように行動するか聞いたところ、「自宅で手当とする」（78.5%）が8割近くと最も高く、以下、「救護所（一部の避難所や医療機関前に設置される）に行く」（14.1%）、「医療機関にかかる」（7.3%）と続く。

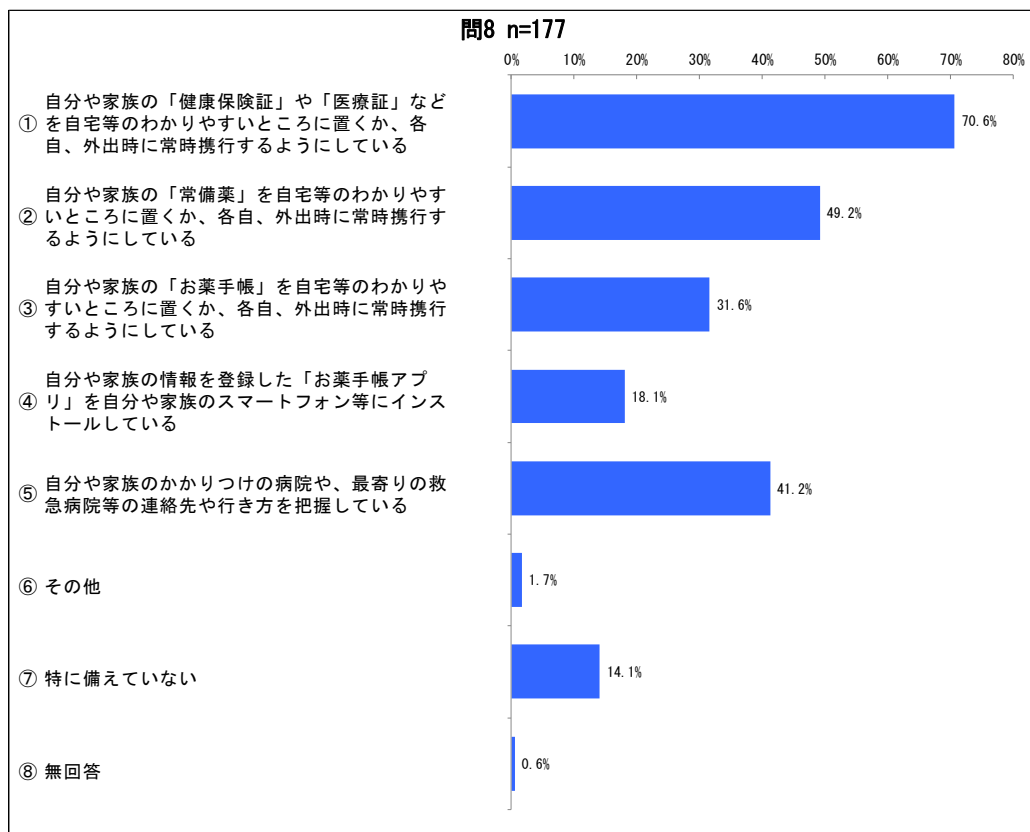
問7.問6で「2」または「3」を選択された方にお聞きします。救護所または医療機関にはどのような移動手段を用いますか。(○は1つ)



<調査結果>

問6で「救護所（一部の避難所や医療機関前に設置される）に行く」または「医療機関にかかる」と答えた方(38人)に救護所または医療機関にはどのような移動手段を用いるか聞いたところ、「徒歩」(76.3%)が7割半ばと最も高く、以下、「自転車」(13.2%)、「自動車」(7.9%)などと続く。

問8.震災発生時により確実に自分や家族の健康維持を図るため、日ごろから備えていることはありますか。(〇はいくつでも)

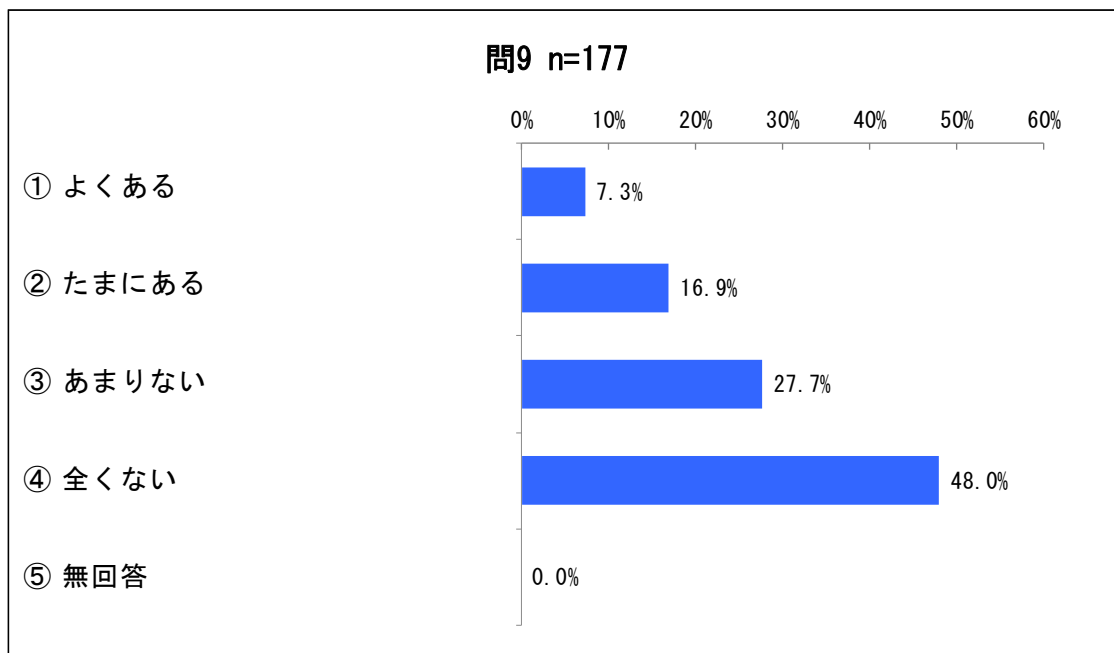


<調査結果>

震災発生時により確実に自分や家族の健康維持を図るため、日ごろから備えていることはあるか聞いたところ、「自分や家族の「健康保険証」や「医療証」などを自宅等のわかりやすいところに置くか、各自、外出時に常時携帯するようにしている」(70.6%)がほぼ7割と最も高く、以下、「自分や家族の「常備薬」を自宅等のわかりやすいところに置くか、各自、外出時に常時携帯するようにしている」(49.2%)、「自分や家族のかかりつけの病院や、最寄りの救急病院等の連絡先や行き方を把握している」(41.2%)などと続く。

■「世田谷区の多文化共生について」

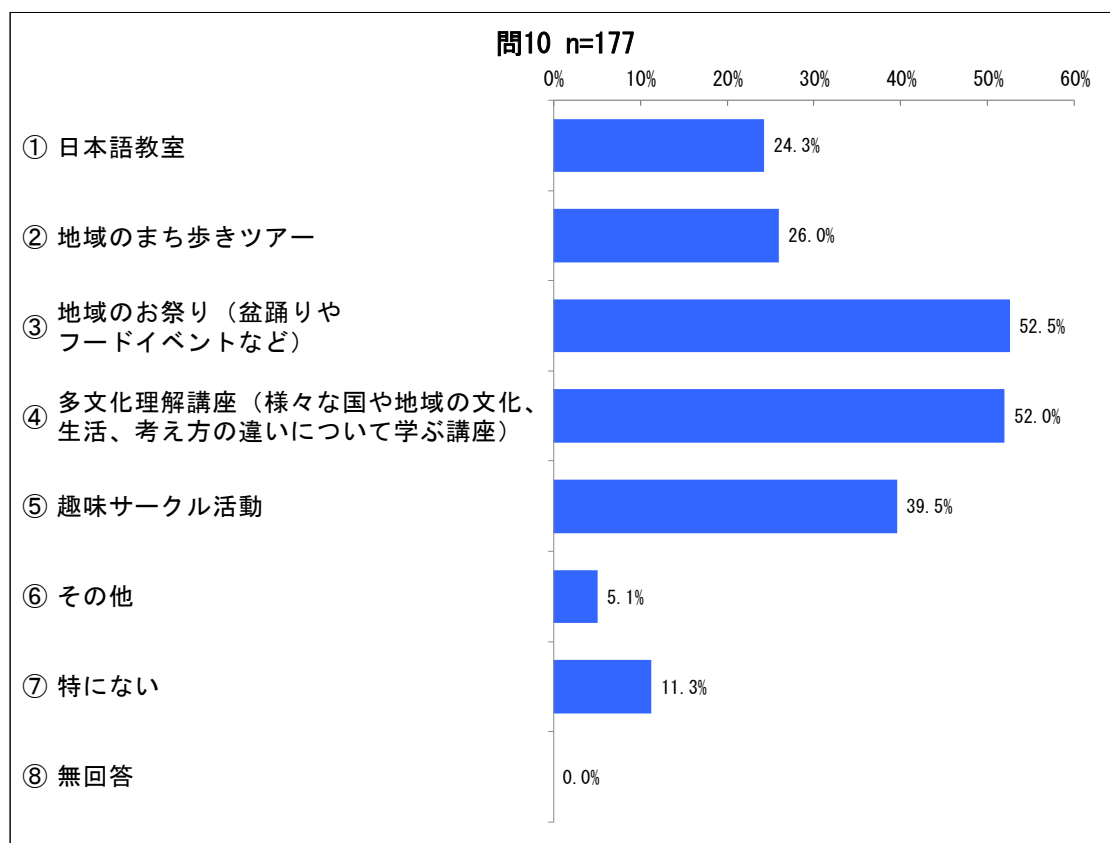
問9.現在、世田谷区では約 2 万 7 千人（約 2.9%）の外国人が暮らしています。あなたは、地域で暮らす外国人と交流する機会がありますか。
（○は 1 つ）



<調査結果>

地域で暮らす外国人と交流する機会はあるか聞いたところ、「あまりない」(27.7%)と「全くない」(48.0%)とあわせて、『ない』は 75.7%と 7 割半ばとなっている。

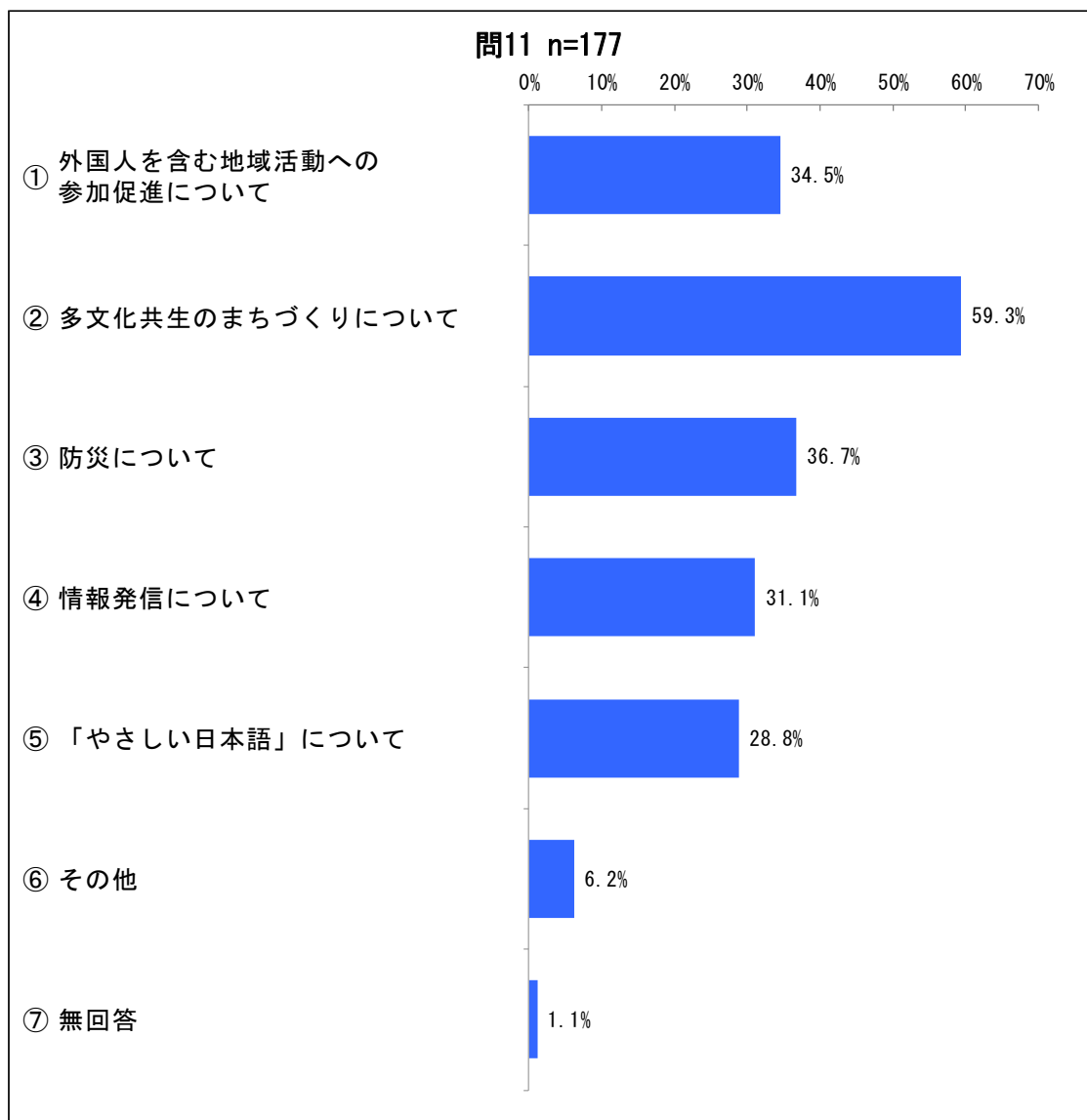
問10.あなたは地域で暮らす外国人と交流できる機会があるとしたら、
どんな交流に参加したいですか。(〇はいくつでも)



<調査結果>

地域で暮らす外国人と交流できる機会があるとしたら、どんな交流に参加したいか聞いたところ、「地域のお祭り（盆踊りやフードイベントなど）」(52.5%)が5割を超え最も高く、以下、「多文化理解講座（様々な国や地域の文化、生活、考え方の違いについて学ぶ講座）」(52.0%)、「趣味サークル活動」(39.5%)などと続く。

問11.区では、日本人と外国人による多文化共生等をテーマとした意見交換会を実施しています。あなたが意見交換に参加する場合、どのようなテーマで意見交換を行いたいと思いますか。(○はいくつでも)



<調査結果>

日本人と外国人による多文化共生等をテーマとした意見交換会に参加する場合、どのようなテーマで意見交換を行いたいと思うか聞いたところ、「多文化共生のまちづくりについて」(59.3%)がほぼ6割と最も高く、以下、「防災について」(36.7%)、「外国人を含む地域活動への参加促進について」(34.5%)などと続く。

問12.問 11 で「6. その他」を選択された方にお聞きします。どのようなテーマで意見交換を行いたいと思いますか。(記述回答)

日本文化への理解、尊重 (全 6 件)

(主な意見)

- 日本の文化や伝統的な価値観の尊重について、外国人が考えなければならない事。
- 自国の文化も大切とは思いますが、日本の習慣に添った生活も尊重してほしい。

子育て、教育 (全 4 件)

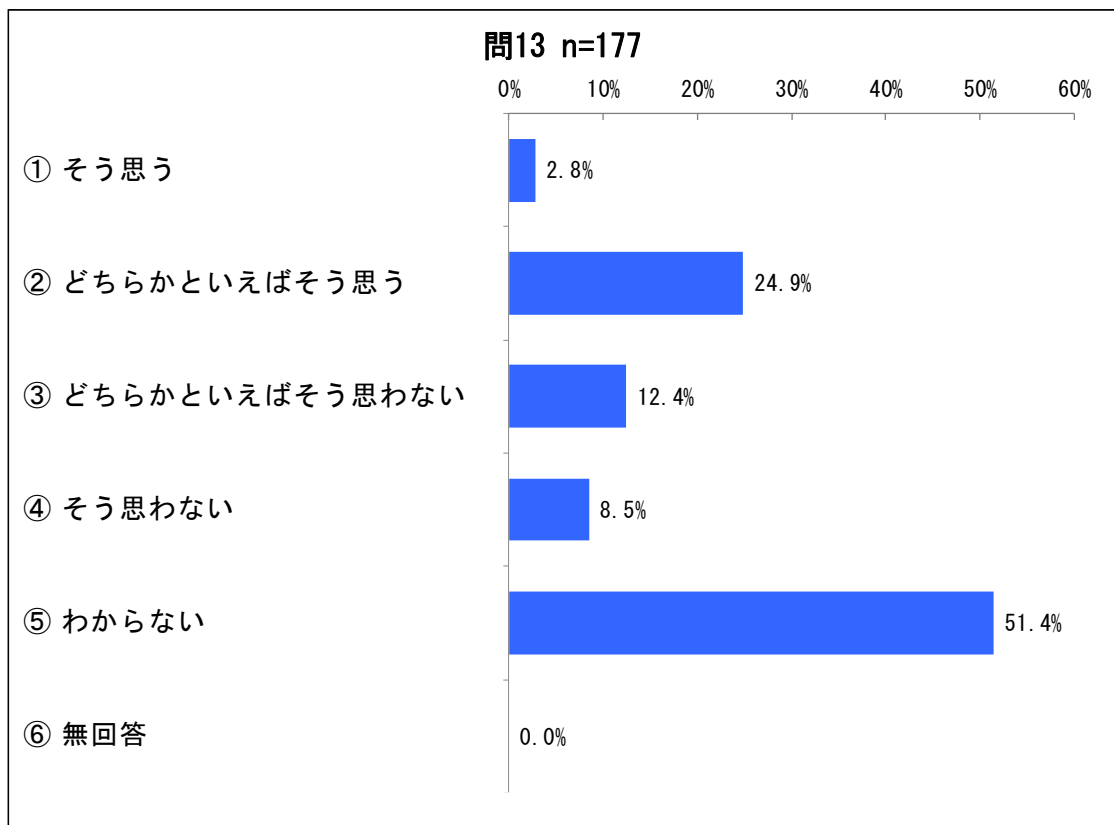
(主な意見)

- 健やかなライフスタイル、健全な教育活動。
- 日本語が第一言語ではない子育て世代の親には子供のための情報が入り難いので、サポートする子育てコミュニティやネットワークづくりの機会があれば参加したいです。

その他 (全 2 件)

- 各国の料理教室開催での交流。 簡単な日本料理も教える。
- 普段困っていることを外国人―世田谷区との対話だけで終わるのではなく、「こういったことを悩む方が多い」等、区民・区内企業にも発信することで文化や考え方の違いを知ることや、今後どういったことが出来るのか、ともに考える良い機会になると思います。

問13.あなたは、世田谷区内において、教育、住宅、就労など、生活全般の外国人に対する支援が充実していると思いますか。(○は1つ)



<調査結果>

世田谷区内において、教育、住宅、就労など、生活全般の外国人に対する支援が充実していると思うか聞いたところ、「わからない」(51.4%)が5割を超え最も高く、以下、「どちらかといえばそう思う」(24.9%)、「どちらかといえばそう思わない」(12.4%)などと続く。

問14.あなたは、外国人に対する生活支援について、どのようなものが「充実している」、もしくは「充実していない」と思いますか。(記述回答)

充実している (全 58 件)

(主な意見)

- 英語を始めとする外国語による案内が充実している。
- 看板等の言語対応している。
- 総合支所等で、英語表記があり分かりやすくなっていると思う。
- 相談窓口を設置しており、リアルでの交流の場の提供も行っていることが「充実している」と思います。

充実していない (全 46 件)

(主な意見)

- 教育など文化的側面の支援が不十分
- 生活支援が必要な経緯などが分からない。区が直接支援するよりも、大使館などと連携した方が良いのではないか
- 区役所窓口のスタッフが英語対応出来ないのを見ると、外国人の方の窓口での手続きが難しいのではと感じる。
- 現在、どのようなどのくらいの生活支援がなされているか? の情報、周知が不足していると思う。

その他 (全 7 件)

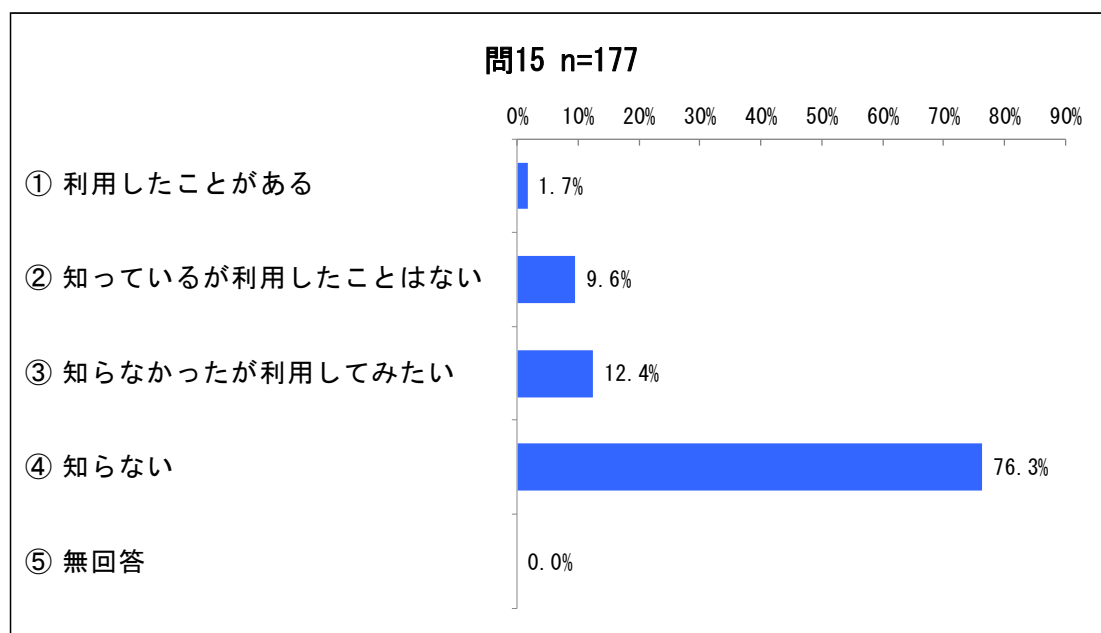
(主な意見)

- 災害時にも対応できる仕組みなどがあると充実していると思います。
- 日本人と同じような保険制度や生活保護などの公的制度が受けられるのであれば、充実していると感じる。

分からない (全 16 件)

特になし (全 16 件)

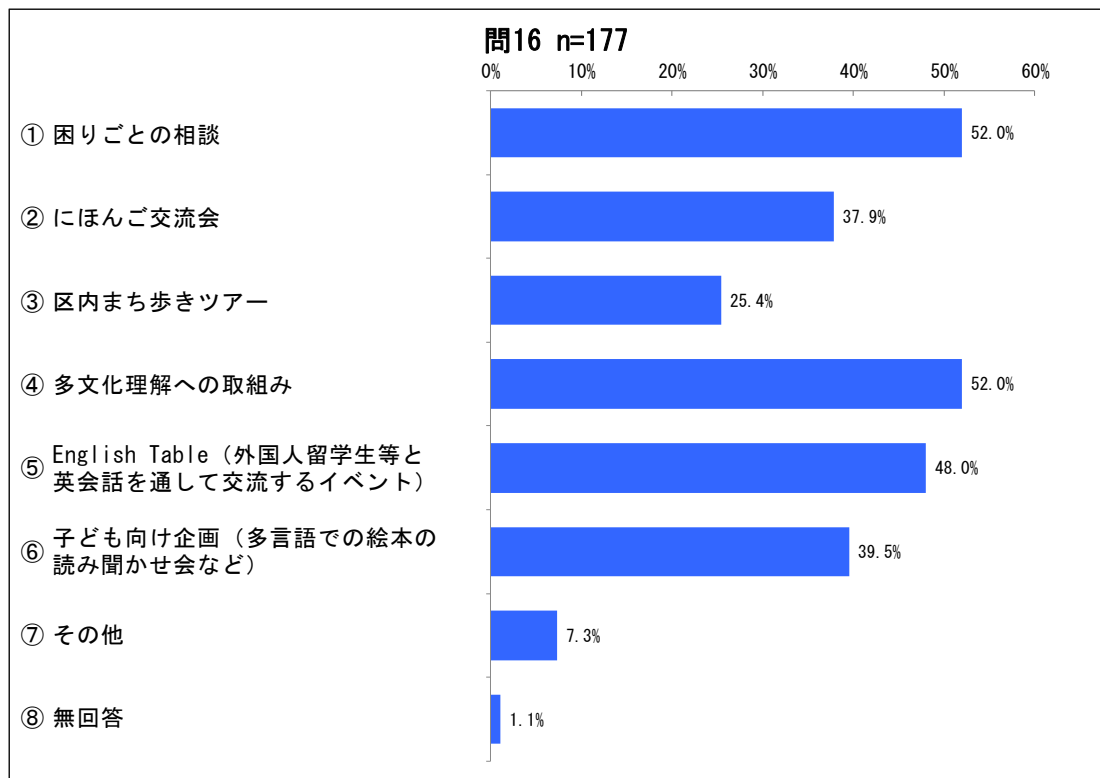
問15.区では、多文化共生に関する交流や情報発信の拠点として、令和2年に
 せたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）を開設しました。
 せたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）では、外国にルーツ
 のある人や、地域で活動している団体、国際交流や多文化共生に興味のあ
 る人に向け、暮らしに役立つ情報提供、地域活動団体の紹介や、暮らしに
 おける困りごとの相談窓口の案内や地域活動団体の紹介を行っています。
 あなたは、せたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）を知って
 いますか。（○は1つ）



<調査結果>

せたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）を知っているか聞いたところ、「知らない」（76.3%）が7割半ばと最も高く、以下、「知らなかったが利用してみたい」（12.4%）、「知っているが利用したことはない」（9.6%）などと続く。

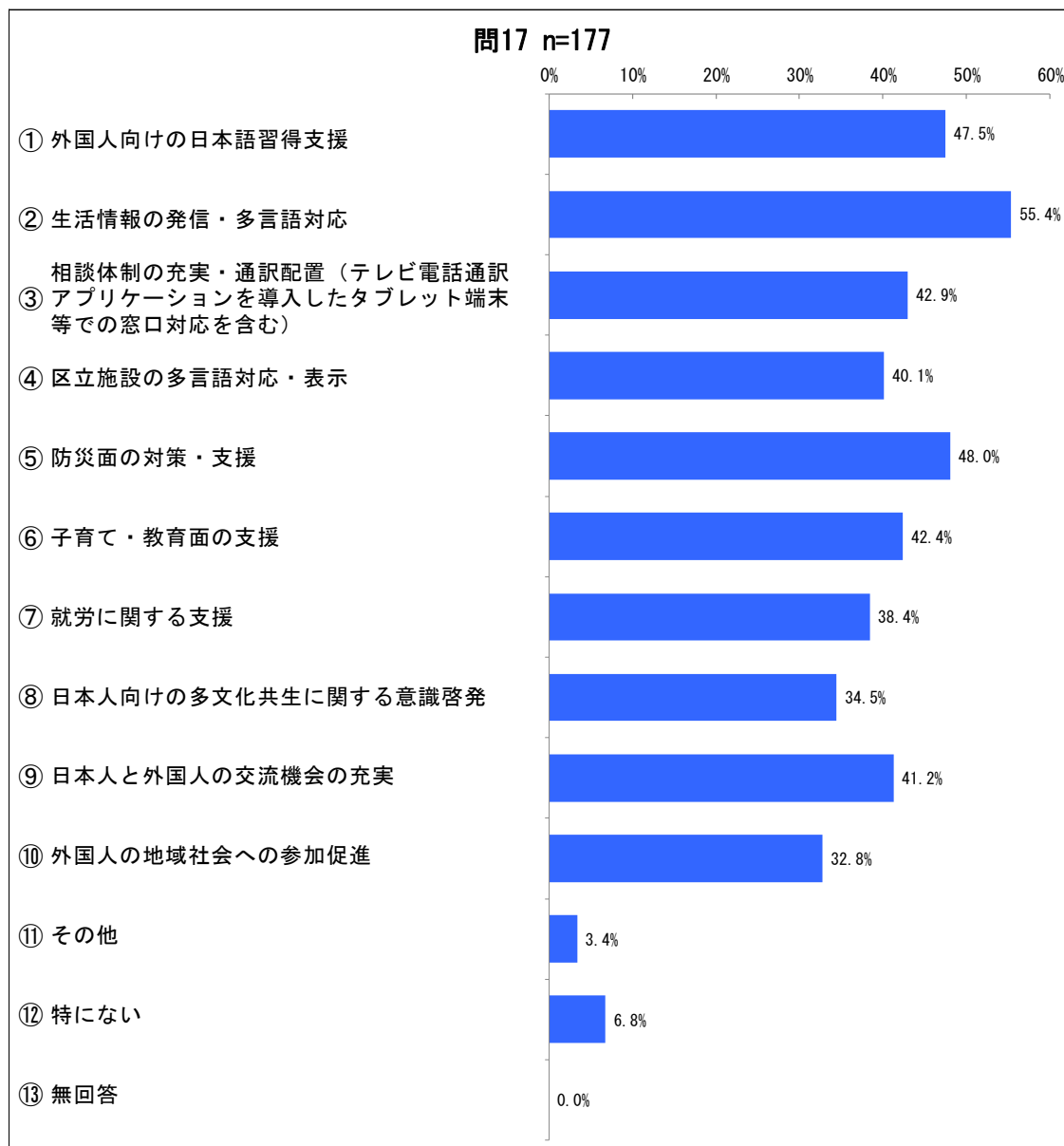
問16.あなたは、せたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）にどのような取組みを進めてほしいですか。（〇はいくつでも）



<調査結果>

せたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）にどのような取組みを進めてほしいか聞いたところ、「困りごとの相談」と「多文化理解への取組み」（52.0%）が5割を超え最も高く、以下、「English Table（外国人留学生等と英会話を通して交流するイベント）」（48.0%）、「子ども向け企画（多言語での絵本の読み聞かせ会など）」（39.5%）などと続く。

問17.あなたは、区が「多文化共生のまち せたがや」を実現するために力を入れるべきことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)



<調査結果>

区が「多文化共生のまち せたがや」を実現するために力を入れるべきことは何だと思うか聞いたところ、「生活情報の発信・多言語対応」(55.4%)が5割半ばと最も高く、以下、「防災面の対策・支援」(48.0%)、「外国人向けの日本語習得支援」(47.5%)などと続く。

問18.多文化共生の推進について、ご意見がありましたらご記入ください。(記述回答)

誰もが安心してくらせるまちの実現に関する意見 (全 12 件)

(主な意見)

- やさしい日本語は当然として、言語表記を多言語化すべき。
- 交流と言ってもそもそも外国人が日本人との交流を望んでいるのかがわからない。防災関連の情報の受け取り方をしっかり伝えることは必要だと思う。
- 海外の方が日本へ来て働くことは大変なことだと思うが、国だけでなく住んでいる区でサポートしてくれる体制があれば海外の方も世田谷区へ転入しやすいのでは。地域の理解もなくしては生活が厳しいと思う。たとえば、ごみの出し方などは各集合住宅でも違うと思うのでそういった際に気軽に相談できる窓口があると良いのでは。

地域社会における活躍の推進に関する意見 (全 39 件)

(主な意見)

- 交流する機会、イベント等がもっとあれば、お互いのことを知るきっかけになると思う。
- 外国人は日本人に比べ、地域社会活動に興味はあると思うので、日本人側の意識変革が重要に思う。地域イベントは良い機会なので、もっとわかりやすく周知し、交流を促進出来ると良いと思う。
- 外国人の社会参加の取り組みを推進してほしい。

多文化共生の意識づくり及び偏見・差別の解消に関する意見 (全 25 件)

(主な意見)

- 学校の行事として扱ったり、学校で参加するボランティア活動なら子どもたちも参加しやすいのではないかなと思う。
- 学校給食や調理実習などで外国の料理、食文化を知る機会を増やしてもいいと思う。
- マジョリティー側の理解が必要だと考えます。外国人もそうですが、別の切り口でのマイノリティはいくつもあります。我々が受容し、同じ目線で生活できるような基盤の整備が必要だと思います。
- 日本人向けに外国語や外国文化の教育があるといいと思います。

その他 (全 20 件)

- 近頃外国人の日本での行動で日本人市民の生活が脅かされるような事件が増加傾向にあり、外国人を住民として受け入れることに大きな不安を感じている。住民として受け入れるには、行政として日本国内で法律、マナーや交通規範についてその人たちを教育する必要があると思う。
- 多文化共生に関して自分でも何か貢献できればと思っているが、どのような機会、ニーズがあるのか情報がない。
- 空き家が多い世田谷区、この空き家をシェアハウスに活用できるような仕組みを提供できると思う。人が増えることで、世田谷区の税収も上がるはず。また、シェアハウスを管理する仕事やリフォームの増加など、雇用が増えることも期待できる

わからない、特に無し (全 12 件)

令和 6 年度 区政モニターアンケート報告書

(令和 7 年 5 月発行)

編集・発行

世田谷区政策経営部広報広聴課

〒154-8504 東京都世田谷区世田谷 4 丁目 21 番 27 号

電話 03-5432-2014 FAX 03-5432-3001

世田谷区広報印刷物登録番号No.2360

再生紙を使用しています